

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読になったあとは大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

転居される時

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電取扱店をご紹介させていただきます。なお、本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

修理を依頼される時(出張修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(10～11ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

なお、ビデオカセットレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責については、ご容赦ください。保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名 ビデオカセットレコーダー
 形名 7B-BS700形 7B-SV500形
 お買い上げ日 年 月 日
 故障の状況 できるだけ具体的に
 ご住所 付近の目印等も併せてお知らせください
 お名前
 電話番号
 訪問ご希望日

● 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検 長年ご使用の本機の点検を!

ビデオカセットレコーダーはカラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、おおよそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

愛情点検



● 長年ご使用のビデオの点検をぜひ!

このようなことは
ありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理のついでに費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

●ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名 電話()

ご購入年月日 平成 年 月 日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。



株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12

電話 (03)3502-2111

再生紙

この取扱説明書は、地球環境に優しい無塩素漂白100%リサイクル紙を使用しております。

取扱説明書

HITACHI

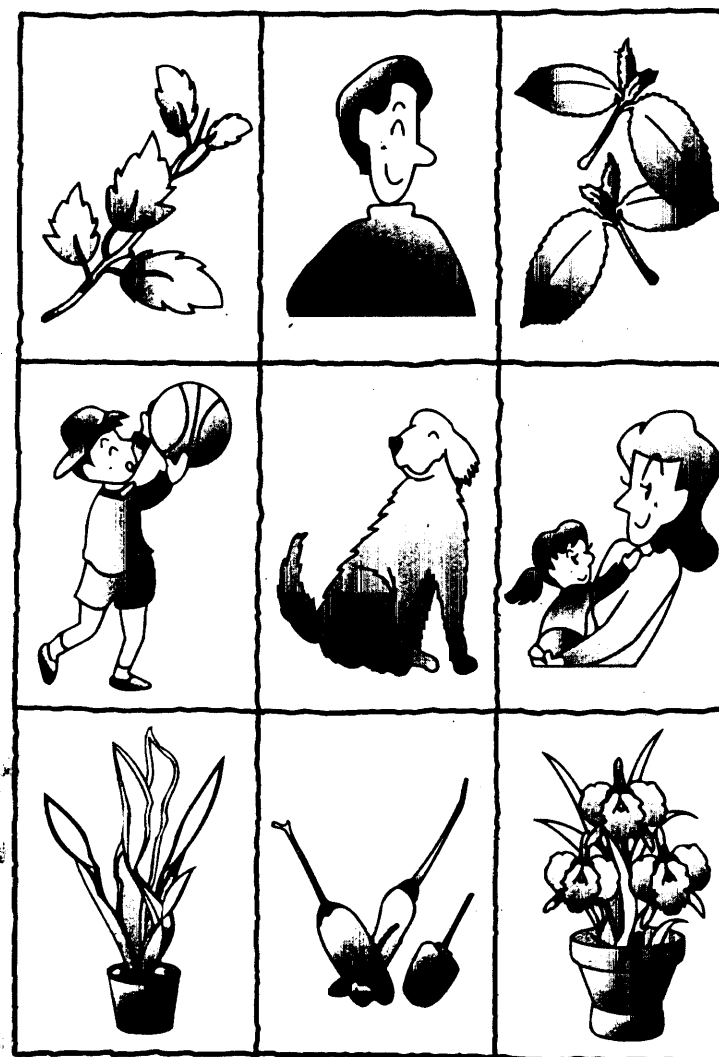
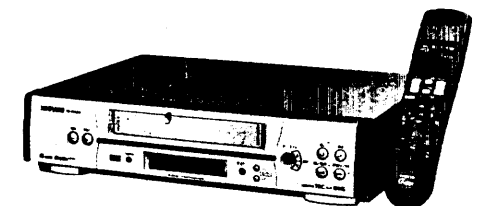
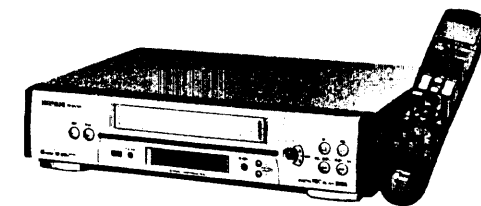
このたびは、日立ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。この取扱説明書は、次の2モデルの操作説明を併記しています。操作説明は、7B-BS700のイラストと画面を使用しています。

日立ビデオカセットレコーダー

ハイファイ
Hi-Fi SVHS G-CODE™
BSチューナー内蔵

7B-BS700形

ハイファイ
Hi-Fi SVHS G-CODE™
7B-SV500形



はじめて

見る

いろいろな再生

録る

いろいろな録画

タイム録画

便利な使いかた

設置・準備

ご参考

このビデオは、SVHS方式のビデオです。
SVHS および **VHS** マークのついたビデオテープ以外は使用できません。

このビデオの特長

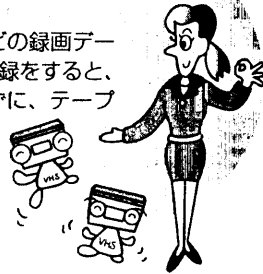
テープナビ (63ページ) タイムナビ (62ページ) オート登録 (67ページ)

録画した日にち、開始時刻、チャンネル、録画時間、録画モードなどの情報がビデオに自動的に登録されます。見たい番組の頭出しや時刻を指定しての場面探しが快適にできます。また、オート登録すると昔のビデオのテープナビデータも使えます。

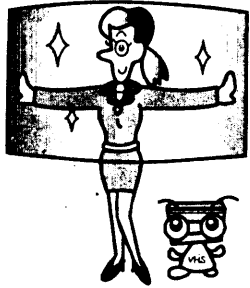


ライブラリ登録 (65ページ)

テープの頭数秒間にテープナビの録画データを記録します。ライブラリ登録をすると、テープナビの登録数を気にせずに、テープナビ・タイムナビが使えます。



デジタル高画質



3次元Y/C 3次元DNR TBC (21ページ)

デジタル処理技術により、高画質の映像を再現します。

S-VHS ET (18ページ)

HG (ハイグレード) タイプのVHSテープにS-VHSの画質で録画・再生できます。



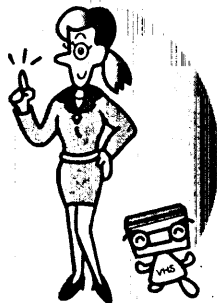
Gコード予約 (39ページ)

Gコードシステム*内蔵により、新聞などに掲載されているGコード予約番号(8桁の数字)を入力するだけで、簡単にタイマー予約できます。
*Gコードはジェムスターコードの略です。Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。



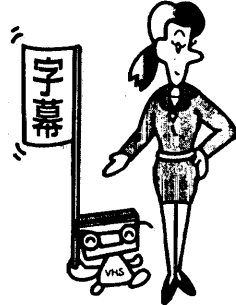
CS簡易予約 (38ページ)

デジタルCSチューナーをつないで番組を予約すると、ビデオ前面のCS予約ボタンを押すだけで、デジタルCS放送がタイマー録画できます。



クローズド・キャプション・デコーダ内蔵 (19ページ)

クローズド・キャプション信号入りのテープを再生すると、英語の字幕を表示できます。



CMとばしワザ (22ページ)

再生中にCMの部分だけ自動的に早送りされます。

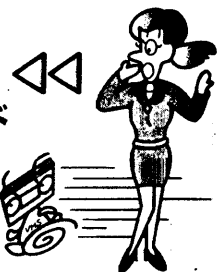
CMオートカット (30ページ)

CMを自動的にカットしながら録画できます。



高速リwind (17ページ)

テープを約260倍速で巻き戻します。



19ミクロンヘッド

3倍モードも標準モードに匹敵する高画質で記録します。



7B-BS700と7B-SV500の違いは、下記の相違表をご覧ください。

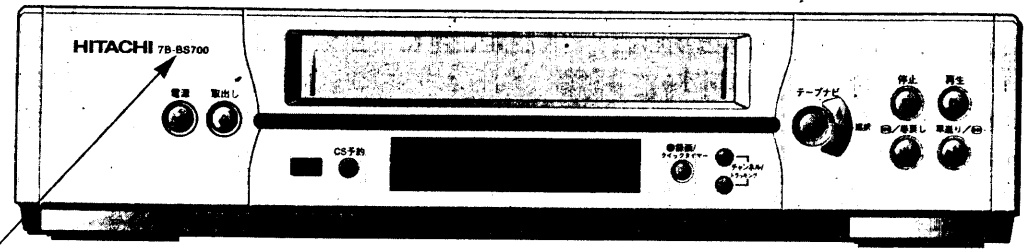
相違表

機能	型名	7B-BS700	7B-SV500
BS放送を見る・録画する		BSアンテナを接続するとBS放送を見たり、録画することができます。	BSチューナー内蔵テレビか、BSチューナーを接続するとBS放送を見たり、録画することができます。(BSチューナー内蔵テレビや、BSチューナーを接続したときはBSアンテナが必要です。)
参照ページ		35、36、65、90	37、91、94

この説明書の見かた

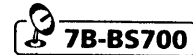
この取扱説明書は、7B-BS700と7B-SV500の操作説明を併記しています。機種によって操作説明の異なるページもありますので、お使いのビデオの機種名を確認し、機種名マークを覚えてからお読みください。

①機種名を確認する



これがお使いのビデオの機種名です。

②機種名マークを覚える



7B-BS700
7B-BS700をお使いの方のための説明が書いてあります。



7B-SV500
7B-SV500をお使いの方のための説明が書いてあります。

重要

操作の前に必ずお読みください。

このページの概要

操作前の準備

操作手順

ボタンを押すことを表します。

おしらせ
このページの操作に関するおしらせです。

ページ

受信チャンネルを合わせる
この機能により、放送局とテレビ、あるいは衛星放送とテレビ、映像で受信するチャンネルが一致します。このため、正しいチャンネルでビデオの録画や再生が行われます。また、チャンネル登録が完了すると、チャンネル登録番号が表示されます。

操作前の準備
1. 電源ボタンを押して、電源を入れます。
2. 電源が入ると、チャンネル登録画面が表示されます。チャンネル登録番号を入力し、決定ボタンを押します。

操作手順
1. メニューボタンを押して、チャンネルボタンを押して、チャンネルを選択します。
2. 決定ボタンを押して「チャンネル登録」を選び、決定ボタンを押します。
3. 決定ボタンを押して「オートチャンネル登録」を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ
このページの操作に関するおしらせです。

リモコン番号は操作手順と対応しています。ビデオ本体に同じ名前のボタンがあるものは、本体のボタンでも同じ操作ができます。

インデックス章ごとに位置を変えてあります。ページを繰り返しながら探すとき便利です。

安全にお使いいただくためのご注意

ご使用になる前によくお読みの上、正しくお使いください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な注意事項を記載しています。

注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示について

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

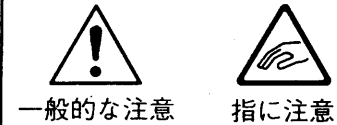
※1 重傷 ……失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害 ……治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

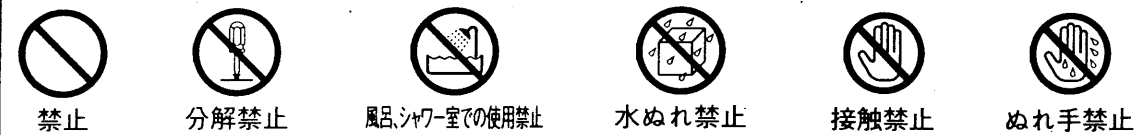
※3 物的損害 ……家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



してはいけない行為を示す記号



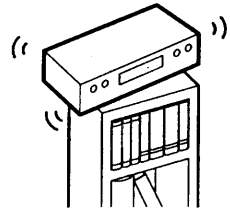
必ず実行していただくことを示す記号



警告

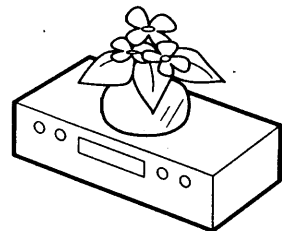
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

頭や足の上などにビデオが落下すると、けがの原因となります。



ビデオの上に、花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器、または小さな金属物を置かない

水がこぼれたり金属物が落ちて内部に入ると、火災・感電の原因となります。

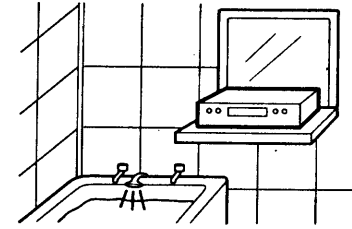


風呂、シャワー室では使用しない

(風呂、シャワー室で使用すると)火災・感電の原因となります。



風呂・シャワー室での使用禁止

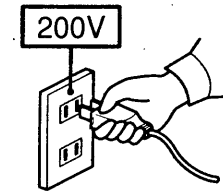


指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使用しない

過電圧により、発熱して、火災・感電の原因となります。



禁止



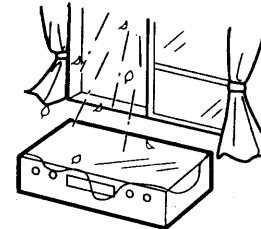
水にぬらさない

内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 屋外や窓辺で使用するときは、ビデオをぬらさないようにご注意ください。



水ぬれ禁止



● 内部に水などが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

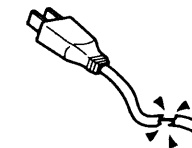
電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ること

- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重い物や角が鋭利なものをのせない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- 束ねない
- 敷物などでおおわない



禁止



破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 電源コードの芯線が露出したリ、断線したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグを抜く

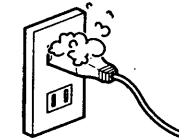
電源プラグや電源プラグの刃にゴミやほこりを付着させない

そのまま使用すると、発熱・火災の原因となります。

● ほこりが付着しているときは、電源プラグを抜いて、ほこりを取り除いてください。



禁止



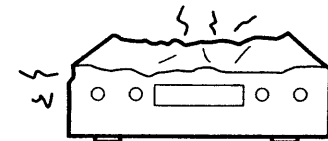
落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 落としたり、キャビネットを破損したときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く



内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない

ビデオテープ挿入口・ビデオの通風孔などから内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止



● 内部に金属物や燃えやすいものが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

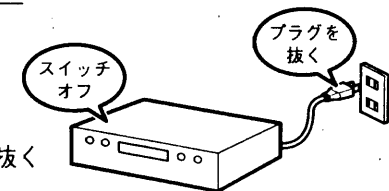
煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。



電源プラグを抜く



警告

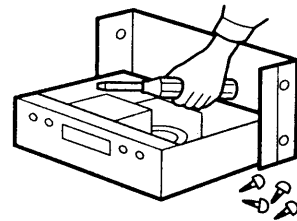
ビデオのカバー、裏ぶたを外さない 分解・修理・改造をしない

分解、修理、改造などで内部の電源部にさわると、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

アンテナ線や電源プラグに触れると感電の原因となります。



接触禁止



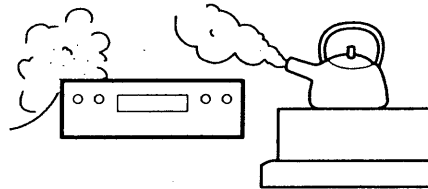
注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、振動が激しい場所に置かない

内部にほこりや水分が入ると、火災・感電の原因となることがあります。また振動により、内部部品が破損すると、発熱し、火災・故障の原因となることがあります。



禁止



ビデオの上に、重い物を置かない ビデオの上に乗らない

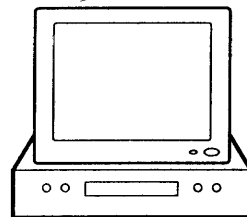
倒れたり、壊れたり、落下などしてけがの原因となることがあります。

また、重みでキャビネットが変形し、内部部品が破損して発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

- 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止



通風孔をふさがない

ビデオの通風孔をふさがないように、設置の際は次の点を守ること

- 横倒し、逆さまにしない
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスを掛けない
- ビデオの後面を壁に押しつけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

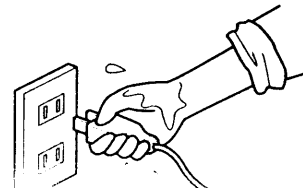


ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれていると、感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



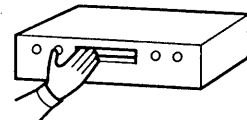
テープ挿入口に手を入れない

内部にふれたり、はさまれたりして、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様にご注意ください。



指に注意

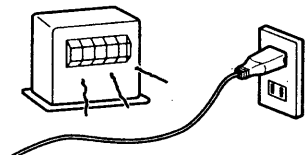


電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止



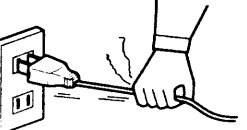
電源コードを持って抜かない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。



禁止



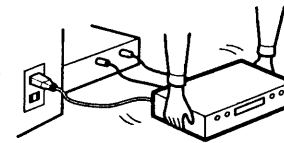
アンテナ線、電源コード、その他のコードを接続したまま移動させない

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- テープ保護のため、ビデオテープは取り出しておいてください。



禁止

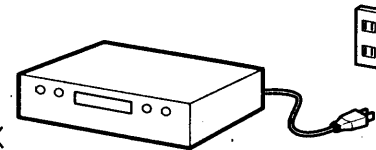


お手入れの際は、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く

電源コードが接続されていると、感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



指定以外の乾電池は使わない

指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

〈乾電池の液漏れについて〉

- 液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明などの事故の原因となります。こすらずに、すぐきれいな水で洗い流してから、ただちに医師の治療をうけてください。



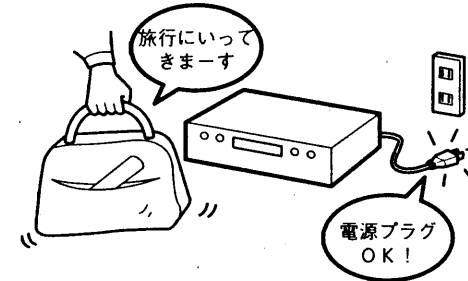
禁止



長期間使わないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



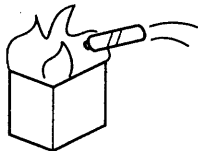
乾電池を取り扱う際は、次の点を守ること

- 火の中に入れない ● 加熱しない
- 充電・分解しない ● ショートさせない
- 鍵などの金属物と接触させない

発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。



禁止



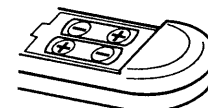
アンテナ工事には、技術が必要です 販売店にご相談ください

アンテナが倒れたり、落下した場合、けがや感電の原因となることがあります。



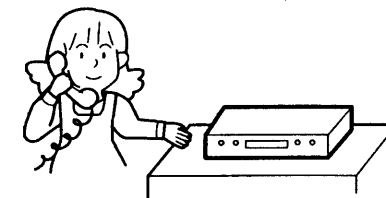
乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)の向きに注意し、機器の指示通り正しく入れる

間違えると、乾電池の発熱・破裂・液漏れなどにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



5年に1度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください

ビデオの内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くことをおすすめします。なお、費用については、ご相談の際にお確かめください。



使用上のご注意

アンテナの立てかたについて

- 妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。
- 金属の多い場所に配線することも避けてください。
- VHFアンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。

アンテナの点検について

- アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは寿命が短くなりますので早めに点検してください。

テレビの映りが悪いときは

- ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。このときはブースター(別売品)をご使用ください。

ビデオの設置場所について

テレビの近くに置かない

- テレビラックやオーディオラックなどをご使用のときは、ビデオをラックの下の段に設置してご使用になることをおすすめします。(本機をラックの上の段でご使用になると、テレビとビデオの位置が近すぎるために、再生中またはテレビ番組を見ているとき、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。)

ラジオの近くに置かない

- ビデオの近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

強力な磁気のあるところに置かない

- テープが磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたり、故障の原因となることがあります。

接続機器の取り扱いについて

- ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくご覧ください。

ヘッド汚れにご注意!

ビデオヘッドが汚れて、画像や音が出なくなることがあります。

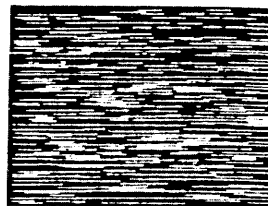
●ヘッドの清掃

(テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になる)

初期



末期



ビデオを使っているとこんな症状が出る場合があります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。

本機ではおそうじヘッドの採用により、ヘッドが汚れにくくなっております。しかし、汚れた場合は別売りのヘッドクリーニングテープをご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

- お使いのビデオにテープナビ機能があり、市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください。

●ヘッドの摩耗



ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

結露にご注意!

※ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいますが、

- 結露したまま使用するとテープが切れたり、ビデオヘッドを傷つけることがあります。
- 結露が生じてしまったら、水滴を急激に蒸発させることはできません。電源プラグを差し込んで、約2時間お待ちください。
- 結露は次のようなときにおきやすいのでご注意ください。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。
 - ・暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。
 - ・夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。
 - ・湿気の多いところや湯気のたちこめているところ。
- 結露がおこりそうなときは、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“入”にしておくと、結露が生じにくくなります。

外国では使わない

- このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- <This video cassette recorder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

標準モード専用のビデオでの再生について

- 本機の「3倍」モードで録画したテープは「標準」モード専用のビデオでは再生できません。

録画内容の補償について

- ビデオ、ビデオカメラおよびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

テープナビ・タイムナビの録画データの保持について

- 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

大切な録画をするときは試し録りを!

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

著作権について

- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

衛星放送について

衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやBSコンバータの故障ではありません。

衛星放送を受信するには、専用アンテナが必要です。設置場所によっては、受信できない場合がありますので、販売店にご相談ください。アンテナの接続については、85ページの「BSアンテナをつなぐ」をご覧ください。



はじめに

このビデオの特長2
 この説明書の見かた3
 安全にお使いいただくためのご注意4
 使用上のご注意8
 テープを入れる・取り出す12
 入れかた12
 取り出しかた12
 テープの「つめ」について(誤消去防止)12
 S-VHSについて13
 テープを見る準備14
 ビデオの電源を自動的に切る14

見る

いろいろな再生

テープを見る(再生)16
 テープを早送りまたは巻き戻したいとき16
 再生画をきれいにする(トラッキング調節)17
 テープを高速(260倍速)で送る17
 聞きたい音声を選ぶ17
 いろいろな再生のしかた18
 ある場面を止めて見る(静止画)18
 画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ)18
 ゆっくりした速さで見る(スロー)18
 英語の字幕を見る(Closed Caption)19
 字幕を止めて見るとき19
 録画した番組の頭出しをする(VISS)20
 映像をクッキリさせる21
 CMをとばして見る(CMとばしワザ)22
 CMとばしワザ22
 CMとばしワザを使うには22
 CMとばしワザでCMをとばす23
 CMとばしワザを解除するには23
 次のCMの終わりまでとばすには23
 とばした部分を見たいときは24

録る

いろいろな録画

テレビ番組を録画する25
 録画しながら別の番組を見る28
 選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー)29
 CMをカットしながら録画する(オートカット)30
 ダビングする32
 ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする32
 本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする33
 ステレオから音声を録音する(オーディオ録音)34
 7B-BS700 BS放送を録画する35
 7B-SV500 BS放送を録画する37
 デジタルCS放送を録画する38

タイマー録画

Gコード予約する39
 Gコードシステムについて39
 Gコード予約する39
 チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する42
 リモコン予約する44
 予約の確認・取り消しをする47
 予約した番組のCMをカットする48
 タイマー予約・録画のご注意49

便利な使いかた

画面表示を見る50
 残り時間・経過時間を表示する51
 テープの残り時間を表示する51
 経過時間を表示する51
 7B-BS700 BS放送の独立音声を聞く52
 テープナビを使う53
 録画データを登録する53
 テープの録画データを見る55
 テープナビ機能とタイムナビ機能を入/切する56
 録画データを使って番組の頭出しをする57
 登録内容を取り消す58
 登録内容を確認する59
 番組のジャンルマークを設定する60
 テープナビのご注意61
 タイムナビで見たい場面を探す62
 ライブラリデータでテープナビ、タイムナビを使う65
 昔のビデオで録画したテープでテープナビを使う67
 リモコンで2台のビデオを操作する69
 リモコンで他社のテレビを操作する70

設置・準備

ご自分で設置するときにお読みください。72~111
 接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたが説明してあります。
 7B-BS700の設置・準備編のもくじ72
 7B-SV500の設置・準備編のもくじ74
 各部のなまえ76
 リモコン(ふたを閉じたところ)76
 リモコンに乾電池を入れる76
 リモコン(ふたを開けたところ)77
 リモコンの操作範囲77
 ビデオ(正面)78
 ビデオ(後面)78
 ビデオの表示窓79
 テープ走行状態表示79
 表示窓のガイド表示80
 リモコンの使いかた81

ご参考

故障かな・・・と思ったら112
 日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表117
 仕様119
 別売品のご紹介119
 用語の解説120
 索引122
 保証とアフターサービス裏表紙

テープを入れる・取り出す……………

電源コードをコンセントにつないでおけば、電源の入/切に関係なく、テープの出し入れができます。

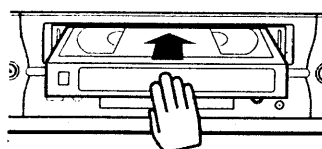


警告

ビデオテープ挿入口から内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

入れかた

テープの中央部を押しながら入れる



- 電源が自動的に入ります。ビデオ前面の「電源」が点灯します。
- ビデオの表示窓に「回」が点灯し、経過時間表示になります。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。

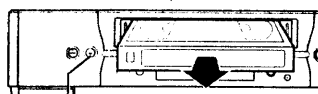
おしらせ

テープを入れると

- ビデオの表示窓が自動的に経過時間表示になります。時計や残り時間表示にするには、画面表示ボタンを押します。

取り出しかた

テープが止まっているとき、取出しボタンを押す



取出し



電源を入れなくてもテープを取り出せます。

おしらせ

テープを取り出すと

- ビデオの表示窓が自動的に時計表示になります。

おしらせ

テープの種類と録画時間

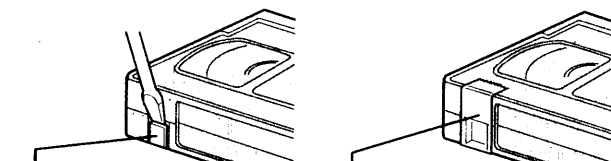
録画モードを「標準」にするとテープの表示と同じ時間、「3倍」にするとその3倍の時間、録画できます。

テープの種類	T-210		T-180		T-160		T-140		T-120		T-90		T-60		T-30	
	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍
録画時間	3時間 30分	10時間 30分	3時間	9時間	2時間 40分	8時間	2時間 20分	7時間	2時間	6時間	1時間 30分	4時間 30分	1時間	3時間	30分	1時間 30分

上記には、当社で販売していないテープも含まれています。詳しくは「別売品のご紹介」を参照してください。

テープの「つめ」について(誤消去防止)

- 録画を誤って消さないために
- ふたたび録画するときのために



1 つめを折り取る

ゼロハンテープをピンと二重に貼る

「つめ」の折れたテープを入れたまま録画ボタンを押したり、タイマー予約後にビデオの電源を切ったりすると、自動的にテープが出てきます。

おしらせ

電源の入・切や再生などの「ビッ」という操作音を消すとき

- 1 ビデオの電源を切る。
- 2 ビデオの停止ボタンを押す。
ビデオの表示窓に「b-off」と出て音が出なくなります。(ただし、タイマー予約や時刻の転送時は音が出ます。)もう1回ビデオの停止ボタンを押すと、「b-on」と出て、音が出るように設定されます。

S-VHSについて……………

S-VHS方式は、従来のVHS方式に比べ、より美しく鮮明な画像が楽しめます。

S-VHS方式の高解像度、高画質を十分にお楽しみいただくためには、S映像入力端子やS1映像入力端子付きのテレビと接続することをお勧めします。これらの端子の付いていないテレビでは、S-VHSの高画質を十分にお楽しみいただけません。

S-VHSテープをお使いになると、良い画質で録画・再生できます。また、長期間保存するためには、S-VHSテープをお使いください。

また、このビデオはS-VHS ETモードで録画・再生できます。S-VHS ETモードは、VHSテープにS-VHSの画質(解像度400本以上)で録画・再生する機能です。S-VHS ETモードの高画質を十分にお楽しみいただくためには、「HG(ハイグレード)」のテープをお使いになることをおすすめします。

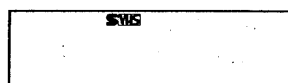
使用するテープと記録方式

「ビデオモード設定2」の画面で「S-VHS」を「オート」に合わせていると、使用するテープの種類に合った記録方式で録画されます。「切」に合わせていると、テープの種類に関係なくVHS方式で録画されます。

S-VHS ETモードで録画するには、VHSテープ(「HG」グレードのテープをおすすめします)を入れて、ビデオ前面のS-ETボタンを押してください。「S-VHS」の設定は関係ありません。

S-VHSの設定	使用するテープ	記録方式	SVHS表示	(S-ET)表示
オート	S-VHS	S-VHS	表示する	消灯
	VHS	S-VHS ET	表示する	点灯
切	S-VHS	VHS	表示しない	消灯
	VHS	S-VHS ET	表示する	点灯

ビデオの表示窓



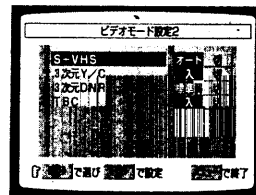
SVHS表示は、S-VHS方式とS-VHS ETモードで録画中と再生中に自動的に表示されます。

おしらせ

- VHSテープの何も録画されていない部分を再生したとき「SVHS」を表示することがあります。
- 「ビデオモード設定2」の「S-VHS」を「オート」に合わせていると、テープを取り出しても「SVHS」が表示されつづけます。ビデオの電源を切ると、SVHS表示は消えます。

「S-VHS」の切り換え

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 「設定2」を選ぶ。
- 3 「S-VHS」の設定を切り換えて、メニューボタンを押す。



おしらせ

S-VHS ETモードは、上記の設定では切り換わりません。

記録したテープの再生

テープを再生するときは、記録方式を自動的に判別し、記録方式に合わせて再生します。

記録したテープ	記録方式	再生できるビデオ	SVHS表示	(S-ET)表示
S-VHS	S-VHS	<ul style="list-style-type: none"> S-VHSビデオ S-VHS ET付きビデオ SQPB*付きビデオ 	表示する	消灯
	VHS	<ul style="list-style-type: none"> S-VHSビデオ S-VHS ET付きビデオ S-VHS ET無しビデオ SQPB*付きビデオ SQPB無しビデオ 	表示しない	
VHS	S-VHS ET	<ul style="list-style-type: none"> S-VHSビデオ S-VHS ET付きビデオ SQPB*付きビデオ 	表示する	消灯
	VHS	<ul style="list-style-type: none"> S-VHSビデオ S-VHS ET付きビデオ S-VHS ET無しビデオ SQPB*付きビデオ SQPB無しビデオ 	表示しない	

* SQPBは、S-VHS Quasi Playback (S-VHS簡易再生)の略です。

おしらせ

S-VHS ETモードについて

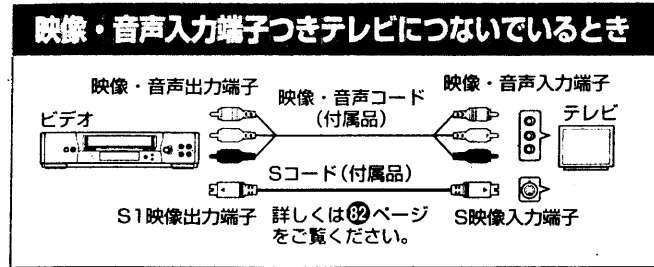
- このビデオのS-VHS ETモードで録画したテープは、本機または、S-VHS ETモード付きビデオでの再生をおすすめします。
- VHSテープの種類によっては十分な画質が得られない場合がありますので、初めて使う場合は、あらかじめ試し録りをして画質を確認してください。
- S-VHS ETモードで録画したテープは、他のS-VHS ETモード付きビデオ、S-VHSビデオ、SQPB付きビデオで再生できますが、ごく一部のS-VHSビデオとSQPB無しビデオでは再生できませんのでご注意ください。

再生できない日立製S-VHSビデオ：VT-Z50
VT-Z70
VT-S610
VT-BS2

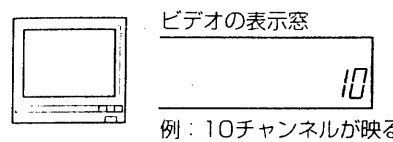
- より高画質を望まれる場合や、他のビデオでの再生、長期間の保存を目的とした録画では、S-VHS記録方式をお勧めします。
- 特殊再生(静止画再生やスロー再生)を行うと、画面にノイズが出たり、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は、避けてください。
- S-VHS ETモードで録画するVHS「HG」テープには、同梱の「Super VHS ET」シールをカセットラベルに貼っていただくと、わかりやすく便利です。

テープを見る準備

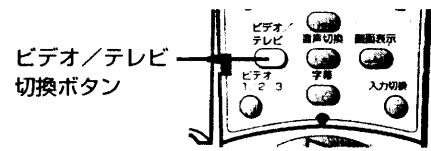
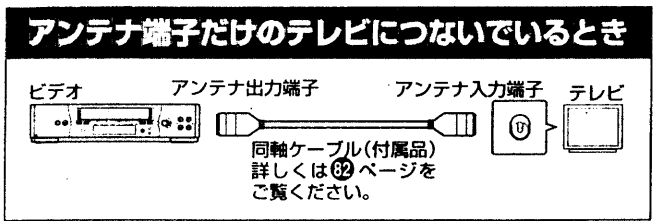
ビデオテープの再生画や録画中の番組をテレビで見るとは、テレビの準備が必要です。テレビとビデオの接続を確かめてから、次のように設定してください。



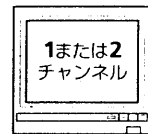
テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする。



テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

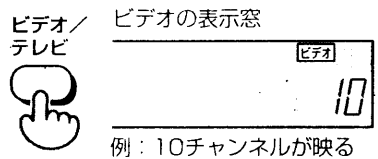


1 テレビの電源を入れ、テレビをビデオチャンネル(1または2)に合わせる



97ページで選んだビデオ専用チャンネルに合わせてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す

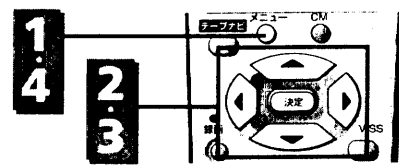


- ビデオの表示窓に「ビデオ」を出します。
- テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

ビデオの電源を自動的に切る

このビデオは、何も操作しないと指定した時間で自動的に電源を切ることができます。この機能をオート電源オフといいます。次のように設定してください。

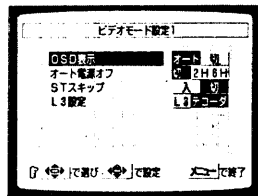
ビデオの電源を自動的に切る(オート電源オフ)



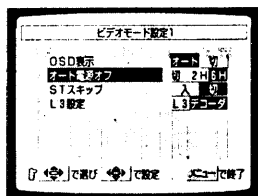
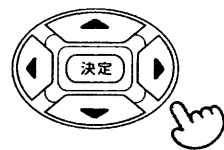
1 メニューボタンを押す



2 ▶ボタンを押して「設定1」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンを押して「オート電源オフ」を選び、◀、▶ボタンで電源を切るまでの時間を選ぶ



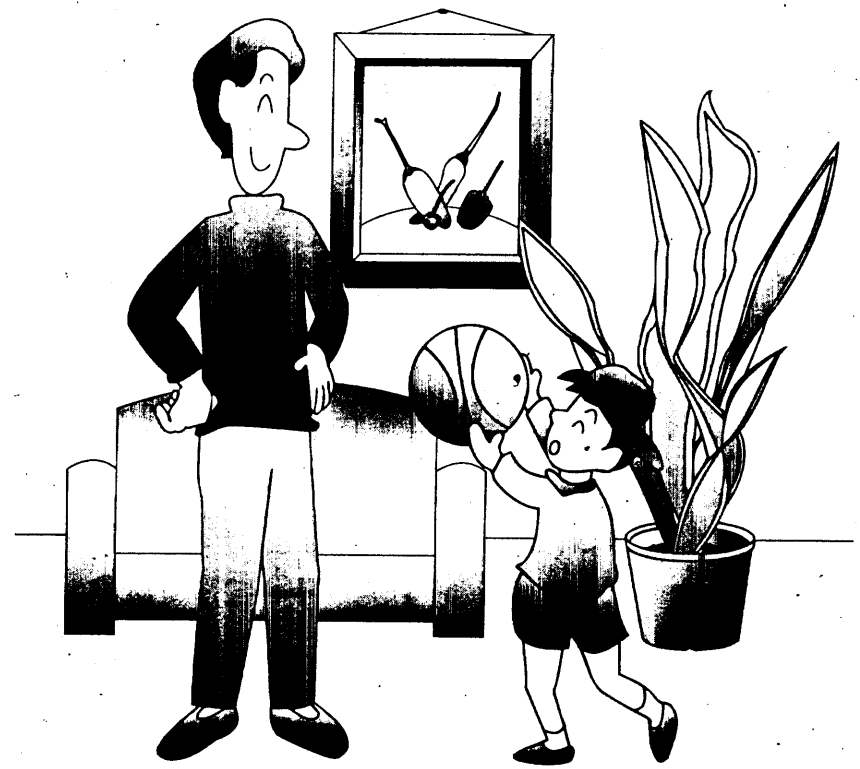
- 「2H」を選ぶと2時間後、「6H」を選ぶと6時間後に自動的に電源が切れます。
- 「切」を選ぶとオート電源オフ機能は動きません。

4 メニューボタンを押す



おしらせ

オート電源オフを設定していて、録画・再生中に他の操作をしないと
 •3分後にビデオの表示窓が自動的に暗くなります。
 •表示窓が暗くなっているときにビデオを操作すると、表示窓が点灯します。
 •オート電源オフを設定してタイマー録画すると、録画のはじめから表示窓が暗くなります。



操作編

見る
いろいろな再生
録る
いろいろな録画
タイマー録画
便利な使いかた

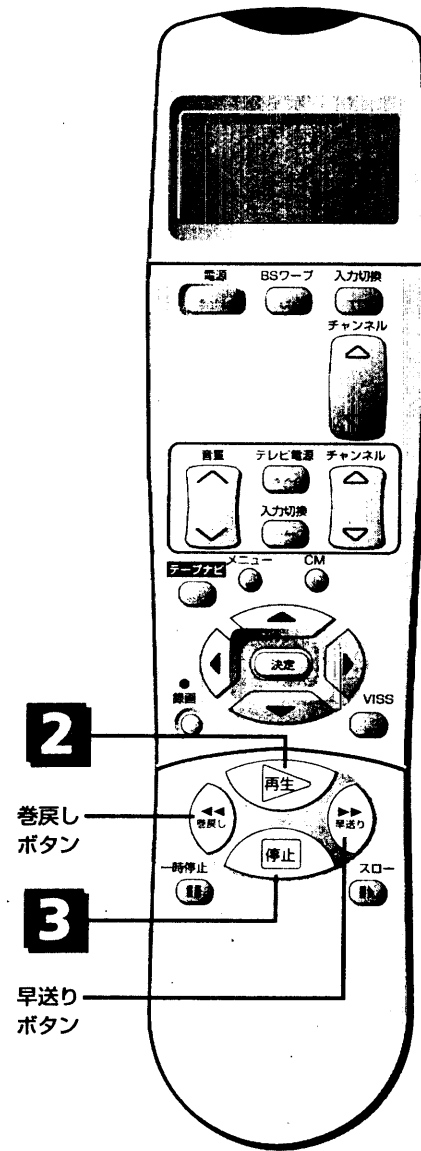


テープを見る (再生)

録画したテープを見ることを、「再生」といいます。

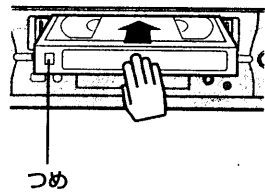
重要

冬など寒い時期は、テープを十分に部屋の温度になじませてから再生してください。テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。



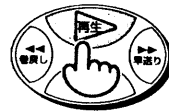
テレビで
 ・テレビの電源を入れる
 ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする
 (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 録画したテープを入れる

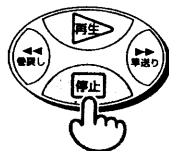


- ・自動的に電源が入ります。
- ・レンタルテープなど「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「再生」が数秒間出ます。

2 再生ボタンを押す

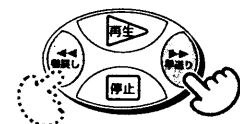


3 再生を止めたいときは、停止ボタンを押す



テープを早送りまたは巻戻ししたいとき

停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す



または

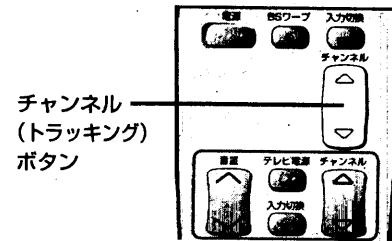
おしらせ

こんな機能があります！

- ・テープを最後まで再生すると、テープの最初まで自動的に巻戻します。(オートリワインド)
- ・テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。(オートリワインドシャットオフ)

再生画をきれいにする(トラッキング調節)

再生を始めると画面がきれいになるように自動的に調節します(オートトラッキング)。再生中にリモコンの再生ボタンを押しても、オートトラッキングが働きます。再生を始めてからしばらくたっても画面がきれいにならないときは、下記の方法で調節してください。



再生中にチャンネル(トラッキング)ボタンを押す



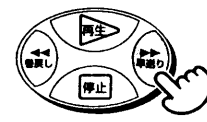
- ・画面がもっともきれいになるところに調整してください。
- ・ビデオのチャンネル/トラッキングボタンでも調整できます。

おしらせ

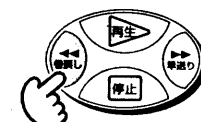
- ・テープによっては、再生を始めてオートトラッキングが働いたとき、一時的に画像や音質が悪くなる(ノイズが入る)ことがあります。
- ・次のようなテープでは、再生を始めても正常に自動調節できないことがあります。
- ・傷がついたテープ
- ・録画状態の悪いテープ
- ・このビデオ以外で録画したテープ

テープを高速(260倍速)で送る

早送りするとき
早送りボタンを2回押す



巻戻すとき
巻戻しボタンを2回押す

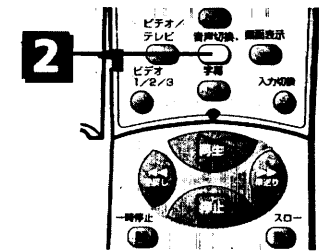


- ・高速の早送りまたは巻戻し中、早送りまたは巻戻しボタンを押すと、ふつうの速さに戻ります。

おしらせ

高速で早送りや巻戻しをしているときは、テープ保護のため停止ボタンを押してからテープが止まるまでに約5秒かかります。早く止めたいときは、ふつうの早送り/巻戻しの速さに戻してから停止ボタンを押してください。

聞きたい音声を選ぶ



1 テープを再生するまたはテレビ番組を見る



テレビ画面に音声表示がしばらく出ます。

2 音声切替ボタンを押して音声を選ぶ



ボタンを押すたびに、ビデオの表示窓の表示が変わります。

表示	表示	
	二重音声番組	ステレオ番組
主音声と副音声 (例: こんにちはとHello)	ステレオ	ステレオ
主音声だけ (例: こんにちはだけ)	左の音声 (Lチャンネル)	左の音声 (Lチャンネル)
副音声だけ (例: Helloだけ)	右の音声 (Rチャンネル)	右の音声 (Rチャンネル)
主音声だけ (例: こんにちはだけ)	モノラル (ノーマルサウンド)	モノラル (ノーマルサウンド)
表示なし		

おしらせ

- ・「表示なし」以外は、Hi-Fiサウンドです。
- ・映像・音声入力端子のないテレビとつないでいるときは、表示窓のどちらかを選んでください。表示窓を出すと左右の音声は混じって聞こえます。
- 再生オートについて
- ・一度音声を選ぶと、次に選び直すまでは前に選んだ音声は聞こえます。日立製の再生オート機能付きビデオで録画したテープを再生すると機能します。

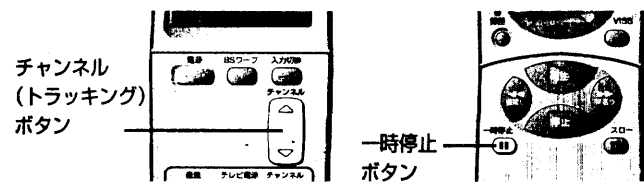
いろいろな再生のしかた

テープに録画した場面を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。

重要

- 静止画、サーチ、CMとばしワザ、スロー再生中は音声が出ません。
- スロー再生や静止画再生中にノイズを調節してもノイズが消えないことがあります。また、静止画、サーチ、スロー再生の切り換わる部分では、画像に乱れやノイズが出たまま消えないことがあります。故障ではありません。
- スロー再生中、テープの録画モード(標準/3倍)が切り換わるころでは、一時的に画像が乱れます。
- S-VHS方式で録画したテープは、静止画、サーチ、スロー再生中はノイズや乱れが出ることがありますが、故障ではありません。

ある場面を止めて見る(静止画)



再生中に、一時停止ボタンを押す



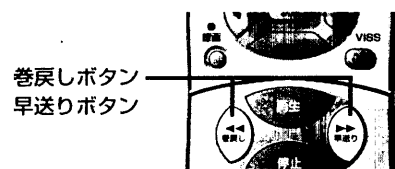
- 一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- 静止画が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

おしらせ

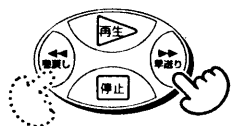
静止画が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、揺れを最小にするように調節してください。
- テレビとの組合せによっては、揺れを抑えられないことがあります。

画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ)

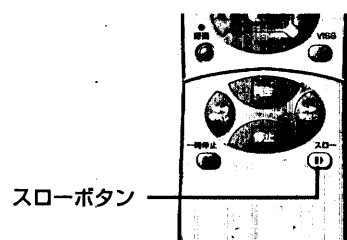


再生中に、早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 見たい場面が出たら、再生ボタンを押します。
- サーチ再生中は、画面に数本のノイズが出ます。
- CMとばしワザを設定していると、CM部分の終わりで再生に戻ります(23ページ参照)。

ゆっくりした速さで見る(スロー)



再生中に、スローボタンを押す



- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- スロー再生が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

おしらせ

スロー再生中や静止画再生中にノイズが出るときは

- スロー再生にしてから、チャンネル(トラッキング)ボタンでノイズが少なくなるように調節してください。スロー再生時のノイズを少なくすると静止画再生時のノイズも少なくなります。

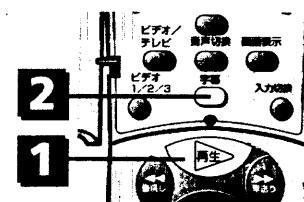
重要

字幕を表示できるのは、 *または マークの付いたクローズド・キャプション信号の入ったテープだけです。これ以外のテープでは表示できません。

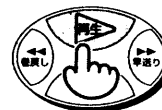
* はナショナル・キャプションング・インスティテュート・インク社のサービスマークおよび商標です。

英語の字幕を見る(クローズド・キャプション)

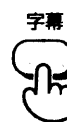
クローズド・キャプション信号の入ったビデオテープを再生したとき、英語の字幕を表示させることができます。



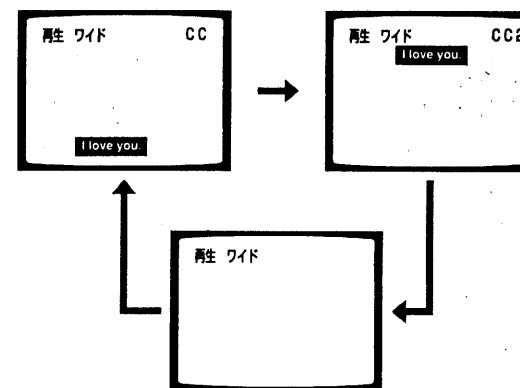
1 クローズド・キャプション信号の入ったテープを再生する



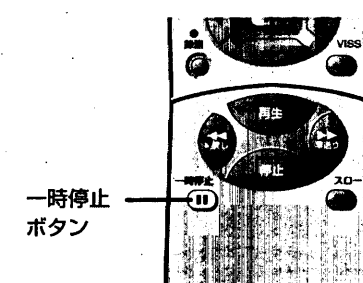
2 字幕ボタンを押す



ボタンを押すたびに、下のように字幕表示が切り換わります。



字幕を止めて見るとき



一時停止ボタンを押す



一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと、再生に戻ります。

おしらせ

字幕が出ないとき

- 早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が消えます。
- テープに傷がついていたり、録画状態の悪いテープでは字幕を正しく表示できないことがあります。

字幕が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンで字幕と画像の揺れを最小に調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては揺れを抑えられないことがあります。

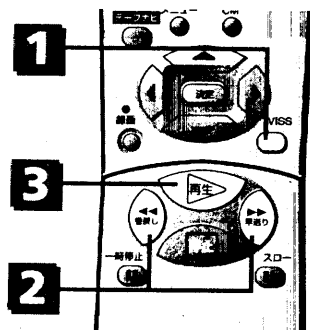
または マークの付いたテープ以外で字幕表示ができるもの

- クローズド・キャプション信号の入ったテープをダビングしたテープ
- 外部入力につないだ、クローズド・キャプション信号の入ったレーザーディスクなど(ただし、デジタルメモリー機能付きのレーザーディスクプレーヤーをお使いのときは字幕表示ができないことがあります)。

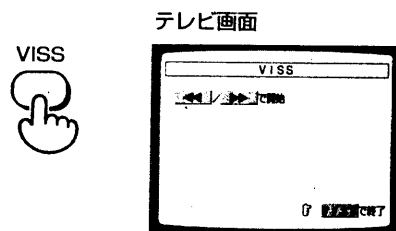
いろいろな再生

録画した番組の頭出しをする(VISS)

テープに記録されている頭出し信号(VISS信号)を使って、見たい番組の頭出しができます。

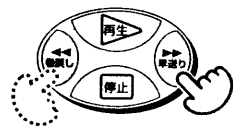


1 停止状態のとき、VISSボタンを押す



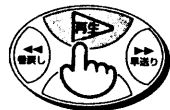
VISS画面が出ます。

2 1の画面が出ている間に、早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 番組の頭(VISS信号の部分)まで早送り、または巻戻されたあと、自動的に約15秒間再生します。
- 番組ごとに、早送り(または巻戻し)と15秒間の再生を繰り返します。

3 見たい番組になったら、再生ボタンを押す



再生になります。

おしらせ

VISS*(頭出し)信号について

- 本機は、録画するたびに、自動的に頭の部分にVISS信号を記録します。
- VISS信号は、録画ボタンを押すと記録されますが、録画一時停止から録画に戻したときは記録されません。ただし音声だけ録音するときやチャンネルを変えたときは、記録されます。

次のような場合、VISS信号が検知されず、頭出しができないことがあります。

- 録画時間が10分以内の番組
- VISS信号が記録されている付近で操作したとき
- 本機以外のVISS機能のないビデオで録画したテープ

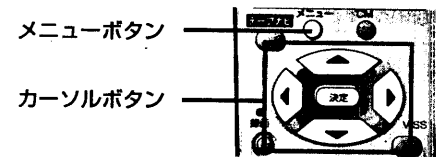
*VISSはVHS Index Search Systemの略です。

重要

- 3次元DNRを「標準」または「弱」にして再生を始めたとき、3次元DNRが働くため画面がガタつくことがあります。故障ではありません。
- テープをダビングするときは、3次元DNRを「切」にしてください(83ページ参照)。

映像をクッキリさせる

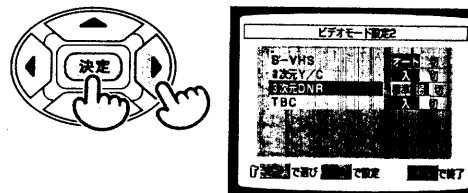
このビデオには高画質な録画、再生映像をお楽しみいただくために、以下の機能があります。次のように設定してください。



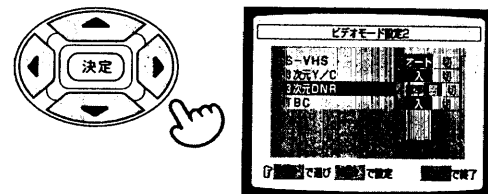
1 メニューボタンを押す



2 ▶ボタンを押して「設定2」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンを押して設定したい項目を選び、◀、▶ボタンで設定を切り換える



例:「3次元DNR」を「弱」に切り換えたとき

3次元Y/C^{フィッシュ}入または切

入	3次元Y/C分離回路が、放送局から送られてくる輝度信号(Y)と色信号(C)を分離し、両信号の混じり合いによって起こるクロスカラーやドット妨害を大幅に改善します。ふつうは入に合わせます。
切	電波の状況や接続したテレビによって、動きの早い場面で残像が出るとき3次元Y/C分離回路を切ると、残像が軽減されます。

3次元DNR^{デジタル}* 標準または弱または切

標準	テープの再生時、3次元DNR(YNR, CNR)が働き、映像を劣化させる輝度ノイズと色ノイズを取り除きます。ふつうは標準に合わせます。
弱	動きの遅い場面で残像が出たり、輪郭がぼけるときの弱にすると症状が軽減されます。
切	3次元DNRはよりきれいな映像をお楽しみいただくための映像処理を行っています。そのためダビングなどを行うとき、またはテレビの組み合わせによっては画質が落ちてしまう場合があります。このようなときは切にしてください。なお、切にすると、TBCは動かなくなります。

*DNRはDigital Noise Reductionの略です。

TBC(タイム・ベース・コレクタ)入または切

入	他のビデオで録画したテープを再生する場合やダビングを繰り返し行った場合などに起こるテープの伸びや走行ムラを原因とする画像の揺れや歪みを抑え、安定した高品位な映像を再生します。記録状態によっては、揺れや歪みを抑えられない場合があります。ふつうは入に合わせます。
切	お使いになるカセットによっては、再生画像が縦方向に揺れる場合があります。このようなときは切にしてください。

4 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

CMをとばして見る (CMとばしワザ)

再生中、CM (コマーシャル) だけを早送り再生でとばして見るができます。

重要

BS、CS放送番組中のCMや、外部入力につないだ機器から録画した番組中のCMは、とばすことができません。

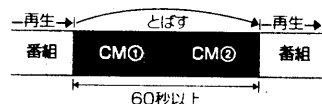
CMとばしワザのしくみ

CMとばしワザは、CMオートとステレオCMスキップの2つの方法でCM (コマーシャル) をとばす機能です。テレビ放送は、ふつう、番組と番組の間に複数のCMが続きます。CMオートは、録画するときに番組とCMの切り換わる点を検出し、再生時にCM部分をとばします。ステレオCMスキップは、ステレオ放送とモノラル/二重音声の違いを検出し、ステレオ放送の部分のみをとばします。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、とばすことができます。

CMオートについて

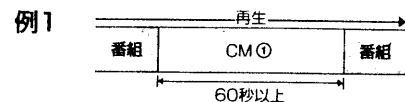
CMオートは、複数のCMが集まった合計60秒以上の部分を「CM部分」と判断してとばします。CMオートでCMをとばせるのは、このビデオでテープナビを「入」に設定して録画した番組だけです。

CMオートで正しくとばされる例

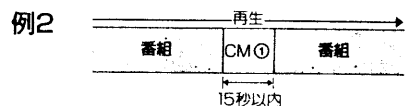


- CMが2本、合わせて60秒以上続くと正しくとばされます。

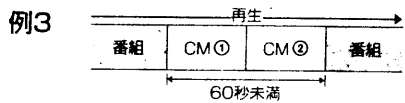
CMオートで正しくとばされない例



- 1本が60秒以上のCMはとばされません。(テレビショッピングなど)



- 1本が15秒以内のCMはとばされません。



- 2本以上続いて60秒未満のCM部分はとばされません。

おしらせ

以下の場合には、CMオートでCMをとばせません。このようなときには、ステレオCMスキップをお使いください。

- 本機以外のビデオで録画したとき
- テープナビ「切」で再生しているとき
- テープナビ「切」で録画したとき
- オート登録したテープを再生したとき

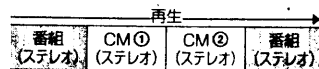
ステレオCMスキップについて

ステレオCMスキップは、ステレオ放送部分を「CM部分」と判断してとばします。他の日立製のステレオ (オート) CMスキップ機能付きビデオで録画したテープでも使えますが、CMの前後の本番組がステレオ放送のときはCM部分がとばされません (24ページ参照)。

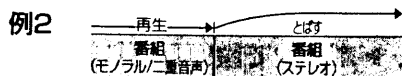
ステレオCMスキップで正しくとばされる例



ステレオCMスキップでとばされない例



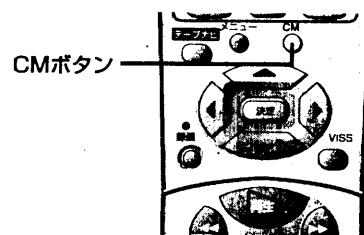
ステレオCMスキップで正しくとばされない例



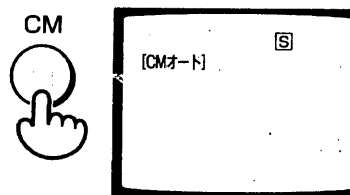
重要

- CMとばしワザでCMをとばせるのは、このビデオでテープナビを「入」にして録画した番組だけです。CMオートでCMをとばすには、録画前にテープナビが「入」に設定されていることを確認してください (66ページ参照)。また、再生時にビデオのテープナビボタンが点灯していることを確認してください。

CMとばしワザでCMをとばす



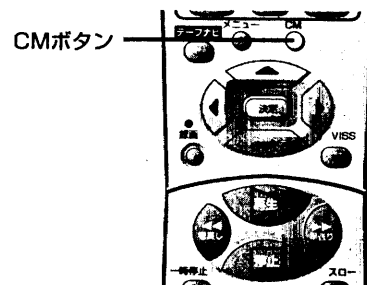
停止中にリモコンのCMボタンを押す



例 CMオートでCMをとばすとき

- CMオートでCMをとばすときは、テレビ画面に数秒間「CMオート」が出ます。
- ビデオ前面の「CM」が点灯します。
- CMが始まると、スキップ (早送り再生) されて、そのCM部分が終わると再生に戻ります。

CMとばしワザを解除するには

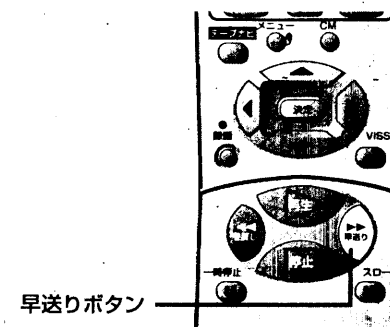


リモコンのCMボタンを押してビデオ前面の「CM」を消す

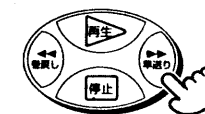


次のCMの終わりまでとばすには

ビデオ前面の「CM」が点灯しているときは、番組の途中から次のCM部分の終わりまで、またCMの途中からそのCM部分の終わりまでをとばすことができます。



再生中に早送りボタンを押す



- 早送り再生が始まります。
- CM部分の終わりまでとばすと再生に戻ります。

いろいろな再生

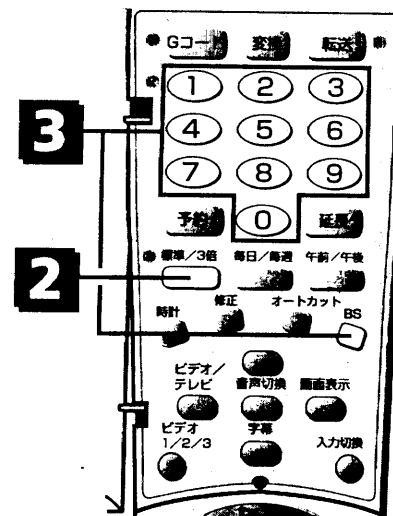
テレビ番組を録画する

テレビで見ている番組をテープに録画します。

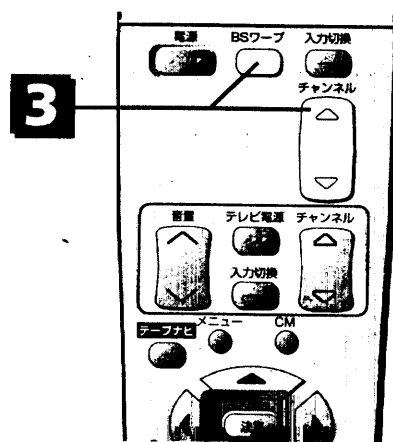
重要

- テープを入れると、ビデオのテープナビボタンが数秒間点滅してから点灯します。点滅している間は録画ボタンや他の操作ボタンを押さないでください。
- S-VHS方式で録画するとき、S-VHSテープを入れたあと、ビデオの表示窓に「SVHS」が出ていることを確かめてください。出ていないときは⑩ページをご覧ください。「ビデオモード設定2」の画面で「S-VHS」を「オート」に合わせてください。

ふたを開けたところ

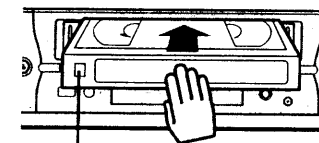


ふたを閉じたところ



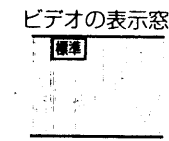
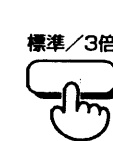
- テレビで
- テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 「つめ」の折れていないテープを入れる



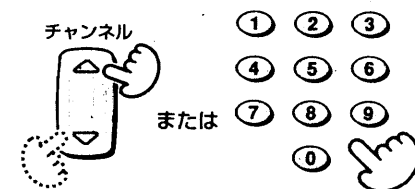
自動的に電源が入ります。

2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ



- ボタンを押すたびにビデオの表示窓に「標準」と「3倍」が交互に出ます。
- 画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。

3 録画したいチャンネルを選ぶ

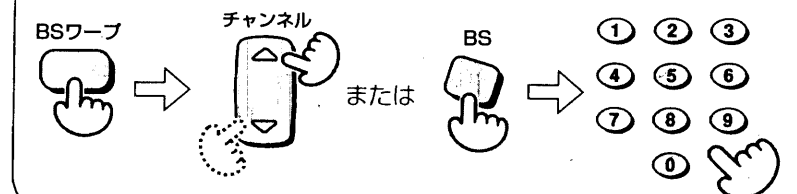


0~9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください (たとえば6チャンネルは0、6と押します)。

BS放送を選ぶとき

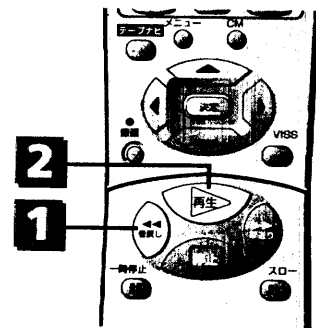
7B-BS700 をお使いの方と 7B-SV500 で AV-BUSⅢ機能をお使いの方

先にBSワープボタン、またはBSボタンを押してください。

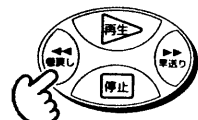


とばした部分を見たいときは

CMオートでCMをとばしたときは、とばした部分に戻って再生できます。

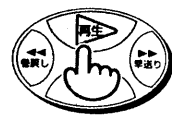


1 巻き戻しボタンを押す



巻き戻し再生でとばした部分の頭まで巻き戻します。

2 再生ボタンを押す



おしらせ

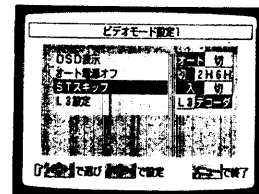
CMオートのご注意

- 録画開始部分や終了部分では、正しくとばせないことがあります。
- 番組によっては、CMオートが正しく動作しないことがあります。
- CMによっては、CMの途中からとばしたり、CMの途中で再生に戻ることがあります。
- 番組予告がとばされることがあります。
- 番組および電波の状態によっては、番組の一部がとばされることがあります。
- 録画中に電源コードが抜かれたり、停電が起きたりすると、CMオートは正しく動作しません。

CMとばしワザでCMがとばせないときは

1 メニュー画面で「設定1」を選ぶ

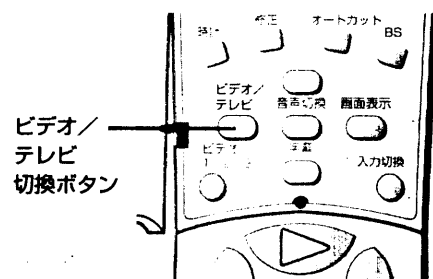
2 「ビデオモード設定1」の画面で「STスキップ」を「入」に切り換えて、メニューボタンを押す



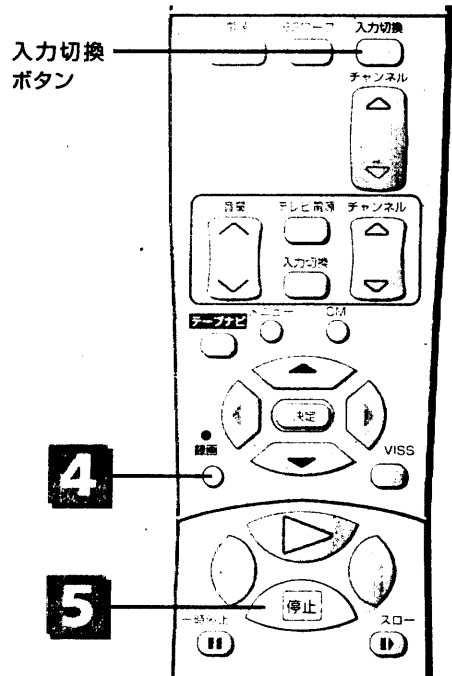
3 停止中にリモコンのCMボタンを押して、ビデオ前面のCMを点灯させる



ふたを開けたところ



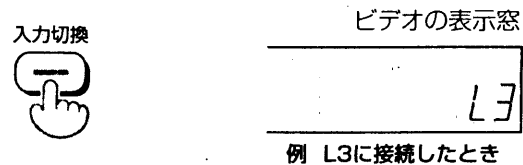
ふたを閉じたところ



BS放送を選ぶとき

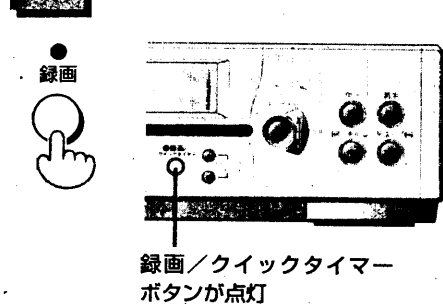
7B-SV500 でAV-BUSⅢ機能をお使いにならない方

- 1 BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビで、録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2 ビデオの入力切換ボタンを押して、1でチャンネルを選んだ機器を接続した外部入力(L1~L3)を表示させる



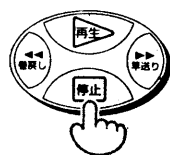
デジタルCS放送を選ぶとき
⑳ページを参照してください。

4 録画ボタンを押す



- ビデオの録画ノックタイマーボタンが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、ビデオの表示窓に「Tab」が数秒間点滅し、自動的にテープが出てきます。
- テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

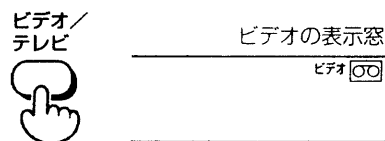


録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

おしらせ

テレビチャンネル1または2を選んでいるとき

- 録画したいチャンネルがテレビに出ないときは、ビデオ/テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させてください。



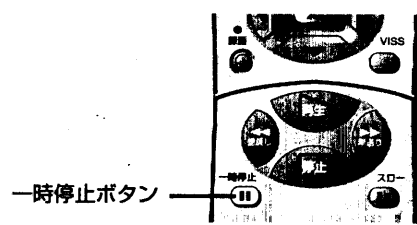
オート機能について

- テープの最後まで録画すると自動的に巻戻されます(オートリワインド)。

音声について

- ステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(英語など)が自動的に録音されます。
- 録音中は、録音される音声には影響なく、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(⑰ページ参照)。
- オートカット機能について
- CMをカットしながら番組を録画することができます。(⑳ページ参照)。

録画中に不要な場面をとばすには



1 録画中に一時停止ボタンを押す



テープ走行が一時止まります。

おしらせ

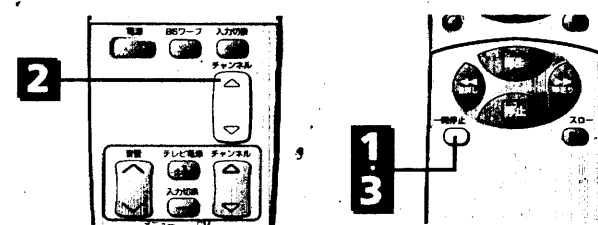
録画一時停止を約5分間続けるとテープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

2 録画したい場面になったら、もう1回一時停止ボタンを押す



録画が再開します。

録画中に別の番組に切り換えるには



1 録画中に一時停止ボタンを押す



テープ走行が一時止まります。

2 チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶ



3 一時停止ボタンをもう1回押す



録画が再開します。

CMをカットしながら録画する (オートカット)

録画の途中で、CM(コマーシャル)の部分だけカットすることができます。

重要

- 番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ、何も録画することができません。ステレオ放送の番組はオートカット機能を使わないでください。
- 外部入力(L1、L2、L3*)で見ている番組およびBS、CSチャンネルは、オートカット機能が動きません。
*7B-SV500をお使いの方と、7B-BS700で「ビデオモード設定1」の「L3設定」を「L3」に設定したときだけ切り換わります。

オートカット機能とは

テレビ放送の音声には、二重音声放送・モノラル放送・ステレオ放送があります。この音声の違いを利用して、二重音声放送とモノラル放送を録画し、ステレオ放送を自動的にカットすることをオートカット機能といいます。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、CMを自動的にカットしながら録画することができます。

オートカット機能についてのご注意

- 「オートカット機能を使ったら、録画できなかった」などの誤りを防ぐために、録画する番組の音声(放送)を確認してからオートカット機能を使うことをおすすめします。
- NHK総合テレビ、NHK教育テレビを録画するときはオートカット機能を使わないでください。オートカット機能を使うと録画されない番組があります。
- 文字多重放送(☒と表示)は、番組が二重音声放送やモノラル放送のときは録画されますが、ステレオ放送のときは録画できません。
- 番組表によっては、ステレオ放送の番組でも[S](ステレオ放送)の表示がないことがあります。ご注意ください。
- 電波の弱い地域では、オートカット機能が正しく働かないことがあります。

番組の音声を知る方法

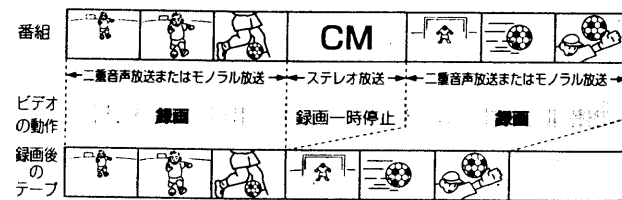
番組の音声は、新聞などでご確認ください。

番組表の例

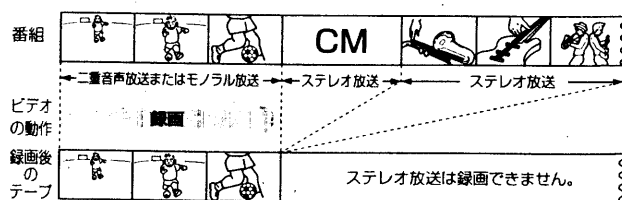
7	00	☒	HITACHIニュース	☒	二重音声放送 解説などを聞くことができます。
8	05	☒	海外スペシャルドラマ 「HITACHI street」	☒	二重音声放送(二か 国語放送) 日本語と英語を聞く ことができます。
9	00	S	ヒットソングタイム ゲスト:H&H	S	ステレオ放送
	30		トークショー		表示なし:モノラル放送

番組表の例は、説明のためのもので実際のものとは異なります。

■ オートカット機能で正しく録画される例



■ オートカット機能で正しく録画できない例

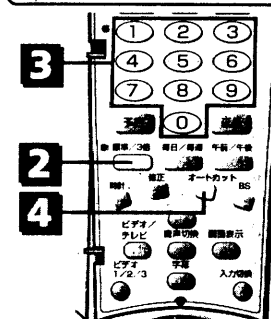


重要

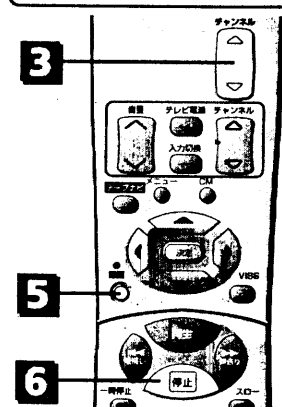
- オートカット機能を使って録画しているときは、一時停止ボタンを押しても録画一時停止にはできません。
- オートカット機能でCMをカットした部分には、わずかにCMが録画されることがあります。
- CMカット「一時停止X」の状態が6分以上続くと、ビデオ内部でテープ保護動作が働くため、録画を再開した部分の画が少し乱れることがあります。

- テレビで
- テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

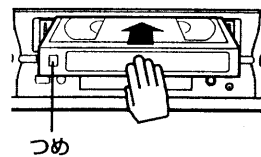
ふたを開けたところ



ふたを閉じたところ

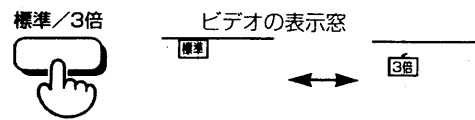


1 「つめ」の折れていないテープを入れる



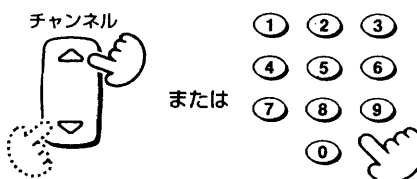
自動的に電源が入ります。

2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ



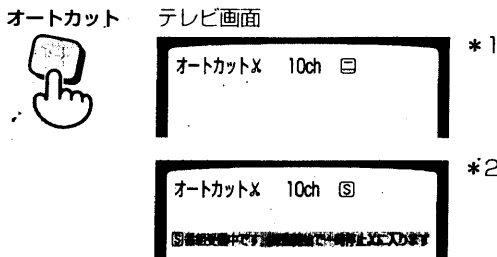
- ボタンを押すたびにビデオの表示窓に「標準」と「3倍」が交互に出ます。
- 画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。

3 録画したいチャンネルを選ぶ



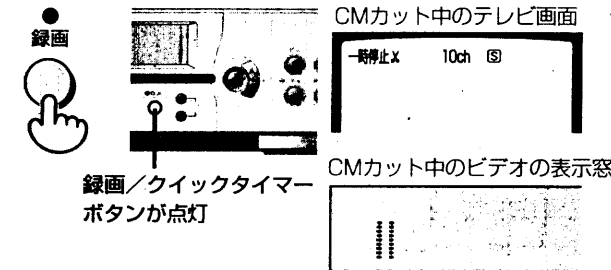
0~9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください(たとえば6チャンネルは0、6と押します)。

4 オートカットボタンを押して「オートカットX」を出す



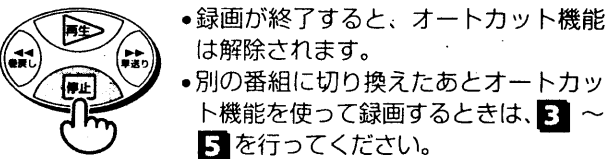
ステレオ番組を見ているときは*2の表示が出て、オートカット機能が使えないことを知らせます。

5 「オートカットX」表示中(8秒以内)に録画ボタンを押す



- ビデオの録画/クイックタイマーボタンが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- ステレオ放送のCMを自動的にカットしながら録画します。
- ステレオ放送のCMをカットしているとき、「一時停止X」が出ます。

6 録画をやめるときや、別の番組に切り換えるときは停止ボタンを押す



- 録画が終了すると、オートカット機能は解除されます。
- 別の番組に切り換えたあとオートカット機能を使って録画するときは、3~5を行ってください。

おしらせ

オートカット機能を解除するとき
 ・停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。
 ・CMカット中に「一時停止X」が表示されているときは、一時停止ボタンを押すとオートカット機能を解除できます。

いろいろな録画

ダビングする

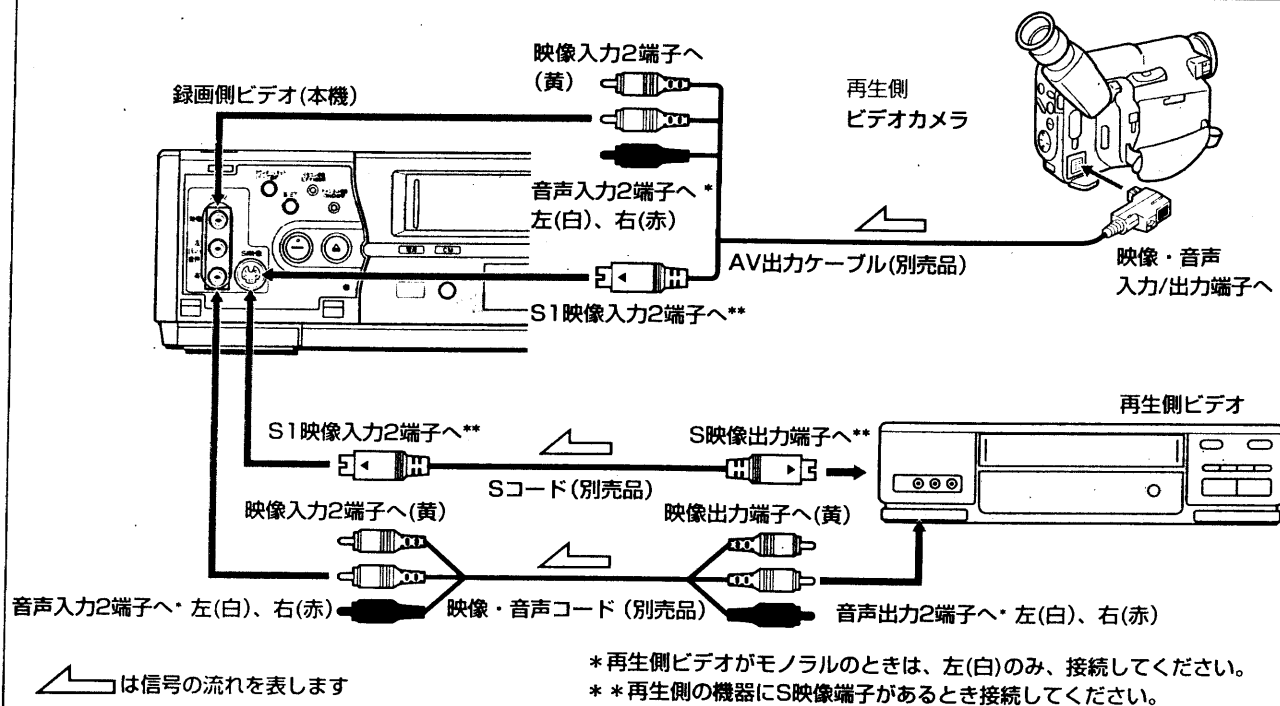
このビデオと他のビデオ(またはビデオカメラ)を接続して、テープを複製することができます。

重要

- 再生側のビデオに画面表示機能がある場合は、画面表示を消してください。消していないと、画面表示まで録画されます。
- 外部入力[L1]、[L2]、[L3*]を飛ばして設定していると、チャンネルボタンを押しても[L1]、[L2]、[L3*]を表示できません。⑩ページの「チャンネルを飛ばす/元に戻す」をご覧ください。⑪ページ「L1」、⑫ページ「L2」、⑬ページ「L3*」を元に戻してください。
- 7B-SV500をお使いの方と7B-BS700で「ビデオモード設定1」の「L3設定」を「L3」設定したときだけ切り換わります。

ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする

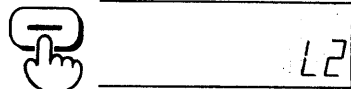
接続



ダビングする

1 (本機で) リモコンの入力切換ボタンを押して「L2」を表示させる

入力切換



ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→L3*→チャンネル番号と切り換わります。

*「L3設定」を「L3」に設定したときだけ切り換わります。

2 (再生側で)再生を始める

3 (本機で)録画/クイックタイマーボタンを押す

録画/クイックタイマー



おしらせ

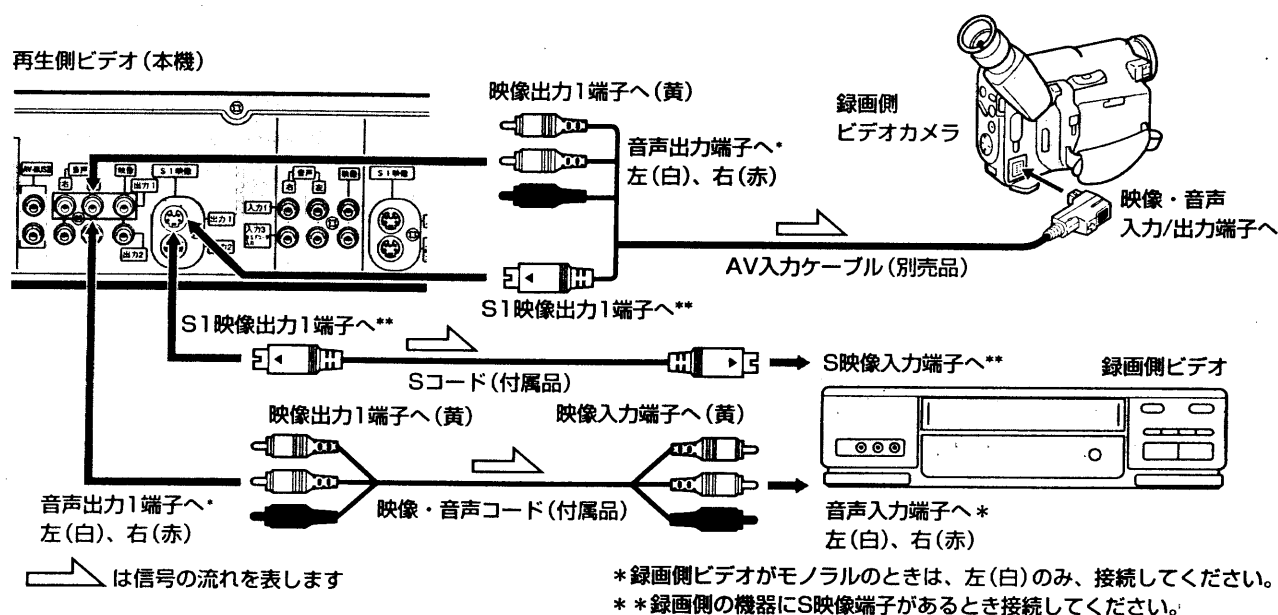
- 画質を重視するときは、本機の録画モードを「標準」にすることをおすすめします。
- 本機にテレビをつなぐと、ダビングの画像を確認することができます。
- 再生側ビデオは本機の後面の入力1端子につなぐこともできます。このときは入力切換ボタンで「L1」を選びます。
- Sコードを接続したときは、S1映像入力が映像入力より優先します。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ⑦B-BS700 L3設定について
- 工場出荷時は「デコーダ」に設定されています。L3に他の機器をつないでダビングするときには、「ビデオモード設定1」の「L3設定」を「L3」にしてください(⑬ページ参照)。

重要

本機を再生側ビデオにしてダビングするときは、3次元DNRを「切」にしてください(⑫ページ参照)。3次元DNRを「切」にしないでお使いになると、接続する機器によっては、画面が乱れたり色が抜けることがあります。

本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする

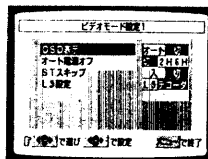
接続



ダビングする

1 (録画側で)入力切換で「外部入力」を選ぶ

2 (本機で)OSD表示モードを「切」にする



設定のしかたは、⑤⑩ページ「画面表示を入/切する」をご覧ください。

3 (本機で)3次元DNRを「切」にする

設定のしかたは、⑫ページ「映像をクッキリさせる」をご覧ください。

4 (本機で)再生ボタンを押す

再生



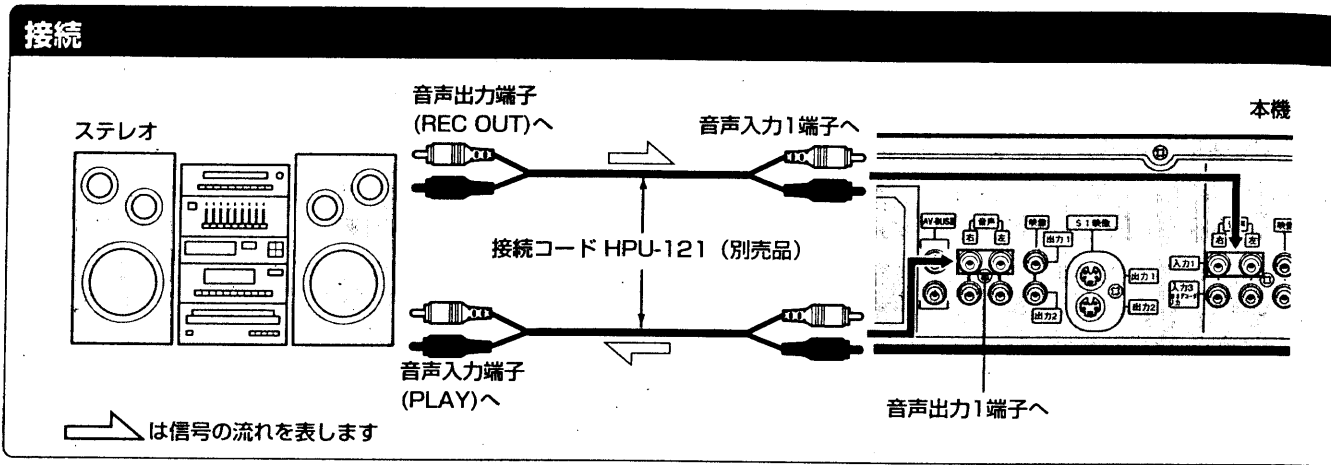
5 (録画側で)録画を始める

おしらせ

- 画質を重視するときは、録画側ビデオの録画モードを「標準」にすることをおすすめします。
- 録画側ビデオにテレビをつなぐと、ダビングの画像を確認することができます。
- 本機で記録したテープを他のビデオでダビングすると、テープナビのデータも同時に記録されます。このため、これらのテープでテープナビ操作をすると、記録されている内容とテープナビ画面の表示が一致しないことがあります。

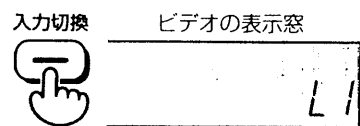
ステレオから音声を録音する (オーディオ録音) ……

ビデオをステレオのテープデッキの代わりに使って、音声を録音することができます。



オーディオ録音する

1 (本機で) リモコンの入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる



ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→L3*→チャンネル番号と切り換わります。
*「L3設定」を「L3」に設定したときだけ切り換わります。

2 (本機で) 録画/クイックタイマーボタンを押す



録音が始まります。
Hi-Fi サウンドとノーマルサウンドの両方が録音されます。

おしらせ

録音した音声を聞くとき

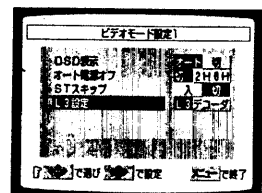
- ステレオの入力切換を「音声入力」にして、テープを再生します。
- リモコンの音声切換ボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます(17ページ参照)。
- 音声だけを録音するときは、テープナビ機能は働きません。

音声出力2端子について

- 音声出力2端子から出力される音声は、音声出力1端子から出力される音声と同じです。

7B-BS700 L3設定について

工場出荷時は「デコーダ」に設定されています。L3にステレオをつないで録音するときには、「ビデオモード設定1」の「L3設定」を「L3」にしてください。BSデコーダとつなぐときには、「デコーダ」にしてください。



設定の切り換えかた

1. メニューボタンを押す。
2. ▶ボタンを押して「設定1」を選び、決定ボタンを押す。
3. ▼ボタンを押して「L3設定」を選び、◀、▶ボタンで設定を切り換える。
4. メニューボタンを押して終了する。

7B-BS700 BS放送を録画する ……

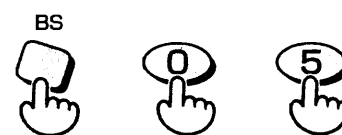
BS放送を録画する前に、BSチューナー、BSデコーダなどの接続と設定を確認してください(接続は65～67ページ、設定は106～108ページを参照)。

重要

「ビデオモード設定1」の「L3設定」が「デコーダ」になっていることを確認してください(34ページ参照)。

WOWOW (BS5チャンネル) を見る・録画する

1 ビデオの電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ



2 BSデコーダの電源を入れる
BS5チャンネルが映ります。

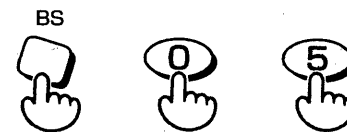
3 録画するときはビデオの録画ボタンを押す



セントギガ St.GIGAを聞く

St.GIGAは、SDAB(衛星デジタル音楽放送(株))の有料独立音声放送です。St.GIGAを聞くにはSDABとの受信契約が必要です。

1 BS5チャンネルを選ぶ



2 BSデコーダの電源を入れる

3 BSデコーダの音声選択ボタンで「独立音声」を選ぶ

BS5チャンネルをタイマー録画する

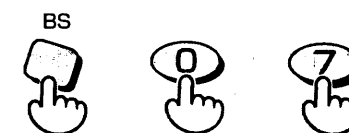
1 39～46ページの操作でBS5チャンネルをタイマー予約する

2 BSデコーダの電源を入れたままにする

BS放送を録画しながらWOWOW (BS5チャンネル) を見る

たとえば…BS7チャンネルを録画しながら、WOWOW (BS5チャンネル) を見る (BSチューナー内蔵テレビをお使いの方のみ)

1 BS7チャンネルを選ぶ



2 ビデオの録画ボタンを押す

3 BSデコーダの電源を入れる

4 BSチューナー内蔵テレビでBS5チャンネルを選ぶ
BS5チャンネルが映ります。

おしらせ

ビデオの電源を入れずにBS5チャンネルをご覧になるときは、3、4の操作をしてください。

おしらせ

BSデコーダの取扱説明書もよくお読みください。

重要

「ビデオモード設定1」の「L3設定」が「デコーダ」になっていることを確認してください(64ページ参照)。

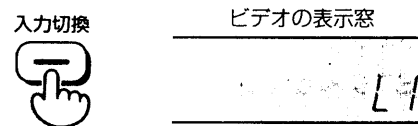
ハイビジョン放送を見る・録画する

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをお使いのとき

1 テレビでBS9チャンネルを選ぶ

2 テレビの入力切換を「ビデオ」にする
(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

3 ビデオで外部入力1を選ぶ



- ハイビジョン放送の画面がテレビに出ます。
- ビデオの表示窓に「L1」表示が出ます。

4 録画するときは、録画ボタンを押す



ハイビジョン放送を見る・録画する

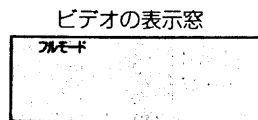
MUSE-NTSCコンバータをお使いのとき

1 テレビの入力切換を「ビデオ」にする
(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

2 ビデオでBS9チャンネルを選ぶ



3 MUSE-NTSCコンバータで画面モードを選ぶ(69ページ参照)



- フルモード画面を選んだときやその画像を記録したテープを再生すると、自動的にワイドテレビの画面(16:9)に引き延ばされた画像が映ります。
- このときビデオの表示窓に「フルモード」表示が出ます。

4 録画するときは、録画ボタンを押す



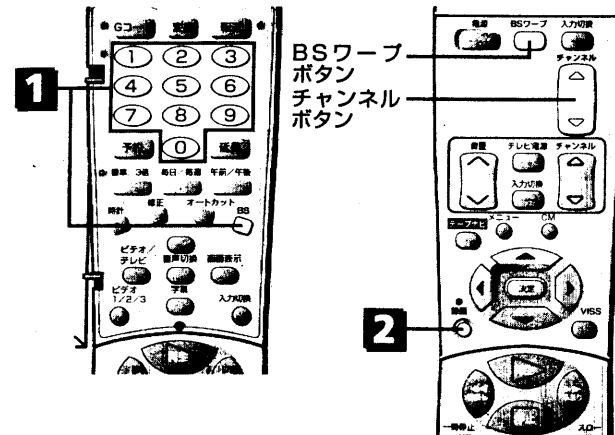
- テープに記録される画像はMUSE-NTSCコンバータで選んだ画面となります。
- MUSE-NTSCコンバータの取扱説明書もよくお読みください。

AV-BUSⅢ機能を使ってBS放送を録画する

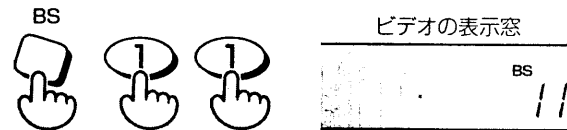
日立製のBSチューナー内蔵テレビやBSチューナーと、AV-BUSⅢ(AV-BUS)端子をつないだときは、AV-BUSⅢ機能を使って、ビデオからテレビやBSチューナーをコントロールすることができます。

ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ



1 BSボタンと数字ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ



BSワープボタンとチャンネルボタンで選ぶこともできます。

2 録画ボタンを押す



録画中はBSチューナーのボタン操作はできません。

おしらせ

- BS放送の音声は、自動的に主音声と副音声を左右のチャンネルに録音します。
- 録画中にビデオのリモコンの音声切換ボタンを押すと、BS放送の音声を切り換えて聞くことができます。
- BS録画中でも、テレビのチャンネルを切り換えると、VHF/UHF放送を見ることができます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

AV-BUSⅢ機能を使ってBS放送をタイマー録画する

1 ビデオでタイマー予約する

Gコード予約→69ページ
リモコン予約→64ページ

録画チャンネルを予約するときは、BSボタンを押してから、数字ボタンを押してください。(例：BS7チャンネルのときは、BS、0、7と押します。)

2 テレビのBS電源スイッチを正しく合わせる

テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 テレビの電源を「スタンバイ」にする

BSチューナー内蔵テレビのとき、テレビの電源を「切」にすると、タイマー録画できません。

AV-BUSⅢ機能を使わないでBS放送を録画する

AV-BUSⅡ(AV-BUS)端子のないBSチューナー内蔵テレビやBSチューナーをつないだときは、ビデオの操作でBSチューナーやテレビをコントロールすることはできません。

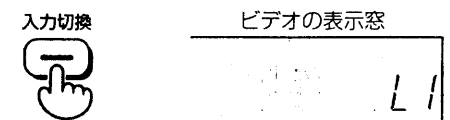


1 BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビで、録画したいBSチャンネルを選ぶ

おしらせ

録画中にBSチューナーまたはテレビのチャンネルを切り換えると、選んだチャンネルが録画されます。

2 ビデオの入力切換ボタンを押して「L1」(外部入力)を表示させる



3 録画ボタンを押す



いろいろな録画

デジタルCS放送を録画する.....

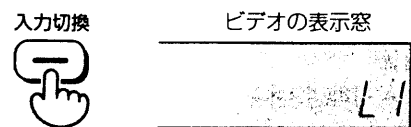
デジタルCSチューナーをつなぐと、デジタルCS放送を録画することができます。
デジタルCS放送を録画する前に、デジタルCSチューナーとの接続を確認してください。(95ページ参照)

重要

デジタルCSチューナーを外部入力1「L1」に接続しておいてください。

デジタルCS放送を見る・録画する

1 ビデオの電源を入れ、入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる



2 デジタルCSチューナーの電源を入れ、チャンネルを選ぶ

デジタルCS放送のチャンネルが映ります。

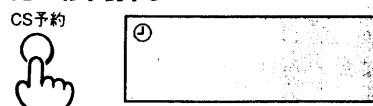
3 録画するときはビデオの録画ボタンを押す



デジタルCS放送をタイマー録画する

1 デジタルCSチューナーでタイマー予約の設定をして、予約の待機状態にする

2 ビデオ本体前面のCS予約ボタンを、約2秒間押す

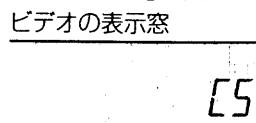


- CS予約ボタンが点灯します。
- ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。

3 ビデオの電源を切る



開始時刻になると、デジタルCSチューナーが予約していた番組を受信し、ビデオの電源が入り、録画が始まります。ビデオの表示窓に「CS」と出ます。

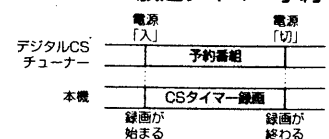


終了時刻になると、デジタルCSチューナーの電源が切れて、ビデオの録画が停止し、電源が切れます。

おしらせ

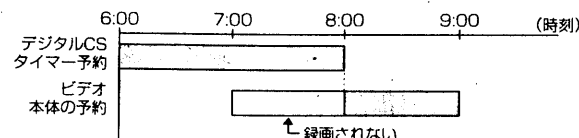
- ビデオをデジタルCS放送の予約の待機状態にしているときは、デジタルCSチューナーの電源を入れないでください。デジタルCSチューナーの電源を入れると、自動的にビデオの録画が始まってしまいます。もし誤ってデジタルCSチューナーの電源を入れてしまった場合は、ビデオ本体前面のCS予約ボタンを約2秒間押ししてください。このビデオのデジタルCS放送タイマー予約が取り消されます。
- デジタルCS放送の予約を解除したいときはビデオ本体前面のCS予約ボタンを約2秒間押ししてください。または、テープを取り出してもデジタルCS放送タイマー予約が解除されます。
- デジタルCS放送の予約と他の予約が重なったときは先の予約が優先して録画されます。
- デジタルCSチューナーの電源の入るタイミングにより、ビデオの録画開始が遅れて、番組の最初の部分が録画されません。

〔デジタルCS放送タイマー予約のしくみ〕

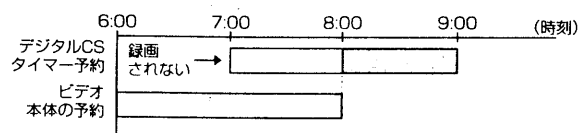


〔予約の優先順位〕

例1：デジタルCSタイマー予約が優先されます。デジタルCSタイマー予約が最後まで録画されたあと、ビデオ本体の予約が途中から録画されます。



例2：ビデオ本体の予約が優先されます。ビデオ本体の予約が最後まで録画されたあと、デジタルCSタイマー予約が途中から録画されます。



Gコード予約する.....

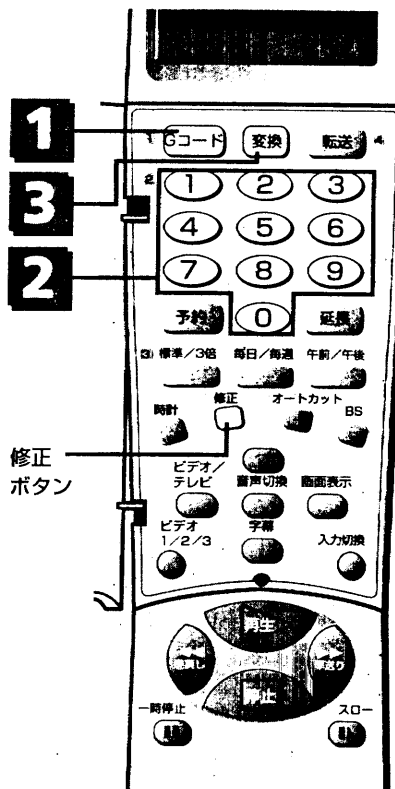
タイマー録画予約をしておくと、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。
Gコード予約は、新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード予約番号をリモコンに入力するだけで、簡単に録画予約ができます。現在より1カ月先までの番組を予約することができます。

重要

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは100ページ参照)。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。Gコードボタンを押してやり直してください。

おしらせ

付属のリモコンは当社製ビデオ専用です。当社製以外のGコード対応の機器には使えません。



Gコードシステムについて

- このビデオは、現在掲載されているGコード予約番号、および将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

Gコードの掲載例

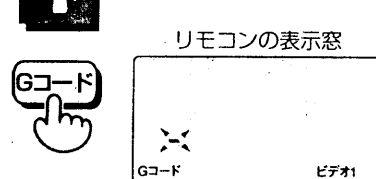
4	00	昼下がりのサスペンス	
	55	「乱心」[再]	458182
		楽しいクッキング	83521
5	00	ぼくの旅日記[再]	サン
	30	ゴの海から(前)	347
		鉄腕アトム[再]	

Gコード
80057

ビデオで 「つめ」の折れていないテープを入れる

Gコード予約する

1 Gコードボタンを押す



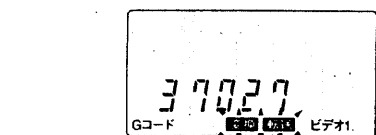
表示窓で「-」が点滅します。

2 Gコード予約番号を入力する

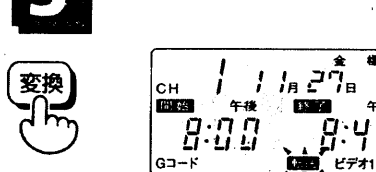


例えば、Gコード予約番号「37027」を入力します。

数字を間違えたときは、修正ボタンを繰り返し押し、間違えたところまで数字を消して、入れ直してください。



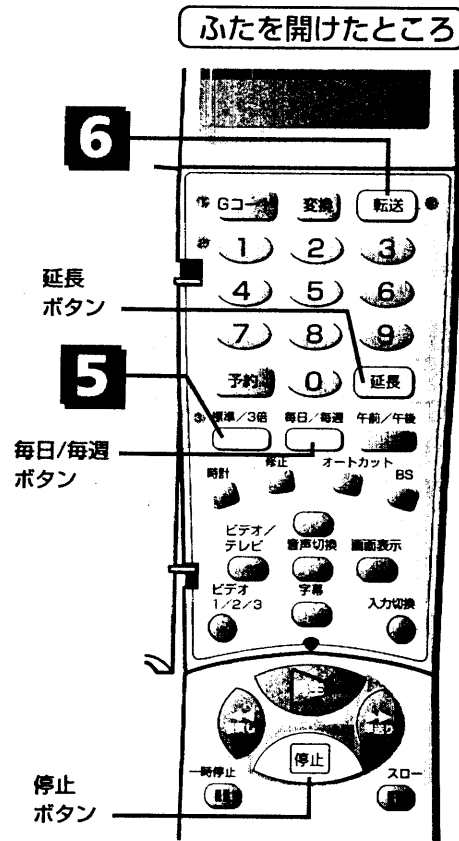
3 変換ボタンを押す



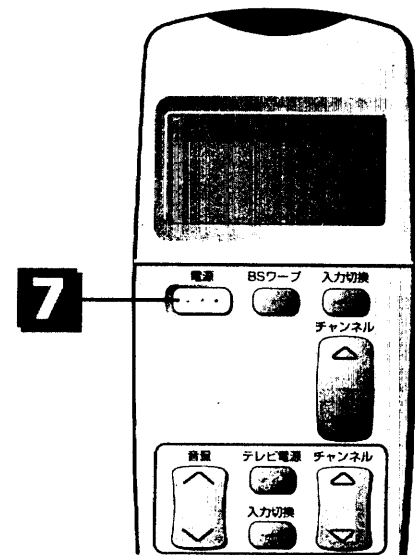
- リモコンの表示窓に予約内容が出ます。
- 「Error」が出たら、テレビ欄などのGコード予約番号をもう一度確かめて、やり直してください。

重要

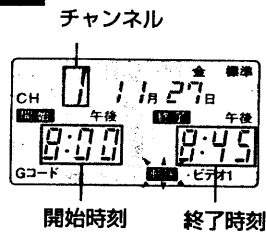
タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。



ふたを開けたところ



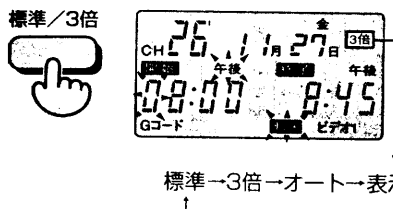
4 表示窓の予約内容を確認する



次のようなときは④、⑤ページを見て、予約内容を修正してください。

- 録画したいチャンネル、開始時刻、終了時刻が違っているとき→⑤ページ
- 終了時刻を延長したいとき→④ページ
- 毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画したいとき→④ページ

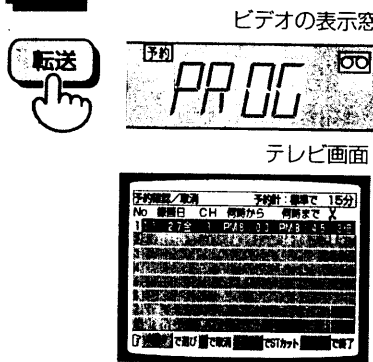
5 録画モードを合わせる



ボタンを押すたびに左のように切り換わります。

- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(④ページ「録画モードをオートに合わせたとき」参照)。
- 「表示なし」にすると、ビデオの表示窓に出ている録画モードで録画されます。

6 転送ボタンを押す



「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。

- テレビ画面に予約内容が出ます。
- 続けて別の番組を予約するときは、①～⑥を繰り返してください。

おしらせ

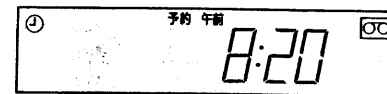
途中でGコード予約をやめるとき

- Gコードボタンを押してください。

予約内容について

- 番組により、録画時間が実際より長め、または短めに設定されることがあります。
- 放送が終了した番組のGコード予約番号を入力すると、まったく違った予約内容か、または「Error」が表示されます。

7 ビデオの電源を切る

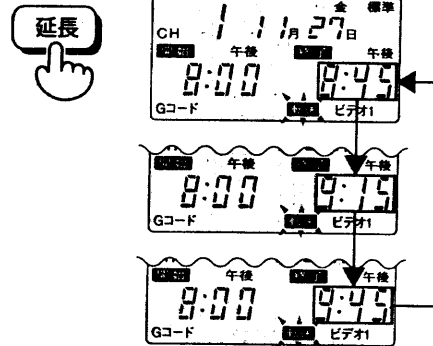


開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

- ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「④」(タイマー録画表示)が出ます。
- テープが入っていないと、「タイマー」と④が点滅してお知らせします。

終了時刻を延長するには

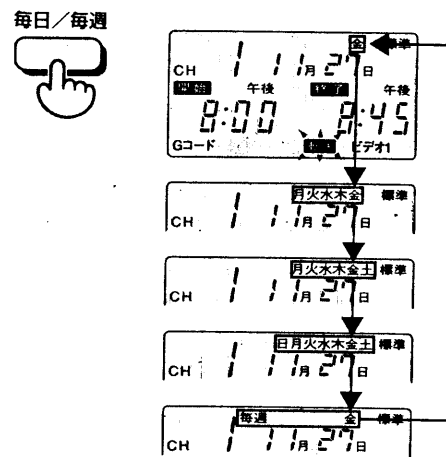
③9ページの手順③のあとで、延長ボタンを押して希望の終了時刻を選ぶ



- ボタンを押すたびに、終了時刻が30分、60分と延長されます。
- 希望の終了時刻を選んだら、④0ページの⑤へ進んでください。

毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

③9ページの手順③のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ



- ボタンを押すたびに、左のように切り換わります。
 - 希望の終了曜日から、④0ページの⑤へ進んでください。
 - 曜日表示の見かた
- | | |
|-----|----------------|
| 金 | この日だけの1回録画 |
| 月～金 | 月曜日から金曜日 |
| 月～土 | 月曜日から土曜日 |
| 日～土 | 日曜日から土曜日 |
| | まで毎日同じ時間に録画 |
| 毎週金 | 毎週同じ曜日のこの時間に録画 |

おしらせ

タイマー録画予約をしたあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

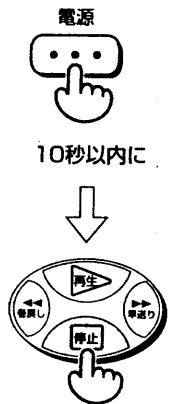
オートカット機能について

CMをカットしながら番組を録画することができます(④8ページ参照)。

⑥で予約をビデオに転送したときに、テレビ画面に予約の内容が約1分間出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

タイマー録画を途中でやめるとき

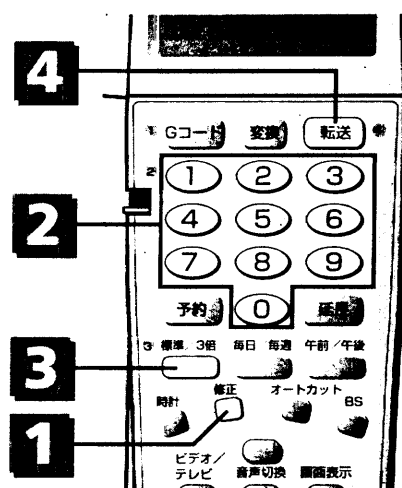
- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



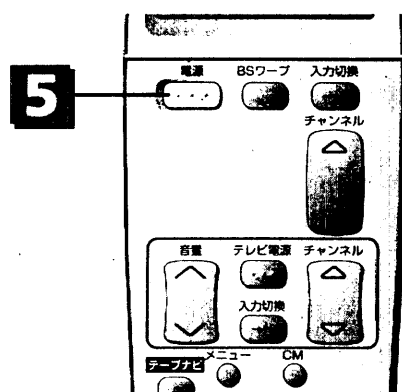
毎日、または毎週予約を転送して、ビデオの表示窓にエラーが出たときは

- ④6ページを参照して修正してください。

ふたを開けたところ



ふたを閉じたところ



おしらせ

- ・「0」で始まるGコード(Gコード・インフォ)の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。開始時刻や終了時刻は修正できません。
- ・「L3」のタイマー録画はできません。

チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する

Gコード予約番号を入力して変換ボタンを押したとき、リモコンの表示窓に出る予約内容のチャンネルが違っていることがあります。これは、各地のテレビ局の番組編成によるものです(たとえば26チャンネルの番組をGコード予約したら、1チャンネルが表示されたなど)。また、一部の地域では、異なる放送局の番組に同じGコード予約番号が掲載されている場合があります(たとえば、静岡県の一部の地域で、テレビ静岡と中京テレビの番組が同じGコード予約番号で掲載されることがあります)。

④ページの④で、26チャンネルを予約したはずなのに1チャンネルが表示されたとき(1チャンネルから26チャンネルに修正したい)

1 修正ボタンを繰り返し押し、修正する部分を点滅させる



リモコンの表示窓
開始時刻や終了時刻を修正したいときも、同様に修正する部分を点滅させます。

例：チャンネルの10桁の0を点滅させる

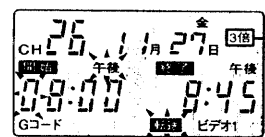
2 0~9ボタンを押してチャンネルを修正する



例：チャンネルを26に修正

- ・修正したチャンネルはリモコンに記憶されます。予約のたびにチャンネルを合わせ直す必要はありません。
- ・外部機器からタイマー録画するときは、入力切替ボタンを押して、チャンネル番号の代わりに「L1」または「L2」を出してください。

3 録画モードを合わせる



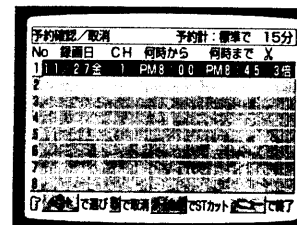
標準→3倍→オート→表示なし

- ・ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- ・「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(詳しくは④9ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」)。
- ・「表示なし」にすると、ビデオの表示窓に出ている録画モードで録画されます。

4 転送ボタンを押す

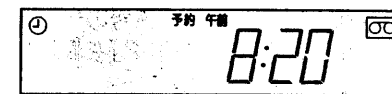


テレビ画面



- ・「ビッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。
- ・テレビ画面に予約内容が出ます。
- ・続けて別の番組を予約するときは、③9、④0ページの①~⑥を繰り返してください。

5 ビデオの電源を切る



- ・ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。
- ・テープが入っていないと、「タイマー」と①が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

おしらせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

- ・ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。
- ・「つめ」の折れたテープを入れたとき
- ・ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。
- ・「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

オートカット機能について

- ・CMをカットしながら番組を録画することができます(④9ページ参照)。

④で予約をビデオに転送したときに、テレビ画面に予約の内容が約1分間出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

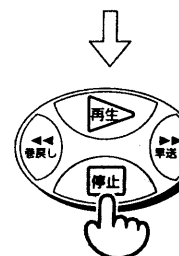
タイマー録画を途中でやめるとき

- ・電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

電源



10秒以内に

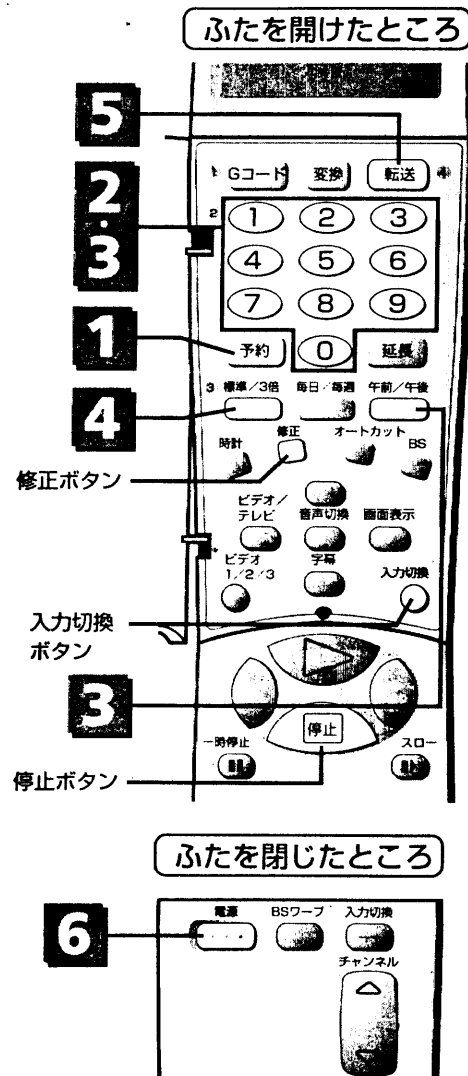


リモコン予約する

録画したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などをリモコンで予約します。
Gコード予約番号がわからない場合などにご利用ください。現在より1年先までの番組を予約することができます。

重要

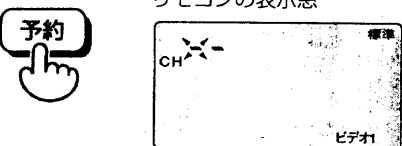
- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは10ページ参照)。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。予約ボタンを押してやり直してください。
- デジタルCS放送のタイマー録画については、38ページを参照してください。



4チャンネルを、午後9時00分から午後10時55分まで、11月6日に、3倍モードで録画するとき

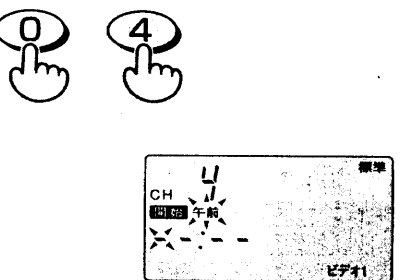
ビデオで 「つめ」の折れていないテープを入れる

1 予約ボタンを押す



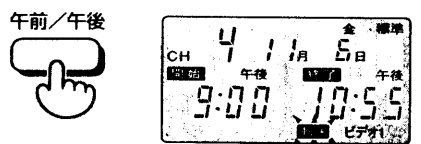
表示窓で「-」が点滅します。

2 録画したいチャンネルを合わせる



- ひとけたのチャンネルを合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- BS放送を選ぶときは初めにBSボタンを押してください(たとえばBS7チャンネルはBS、0、7と押します)。
- 外部機器からタイマー録画するときには、入力切換ボタンを押してチャンネル番号の代わりに「L1」または「L2」を表示させてください。

3 開始時刻、終了時刻、日にちの順に合わせる



- 先に開始時刻の午前か午後を選びます。終了時刻の午前/午後は自動的に表示されます。
- 昼の12時は「午後00:00」、夜の12時は「午前00:00」に合わせてください。
- 日にちを合わせると曜日は自動的に表示されます。

0900
1055
1106

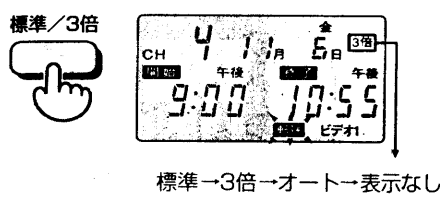
おしらせ

- 「L3」のタイマー録画はできません。予約している途中で修正するとき
- 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻して行ってください。
- 途中で予約をやめるとき
- 予約ボタンを押してください。

重要

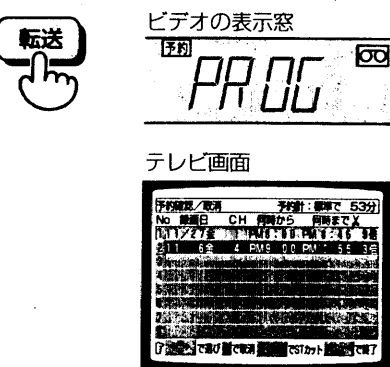
タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。

4 録画モードを合わせる



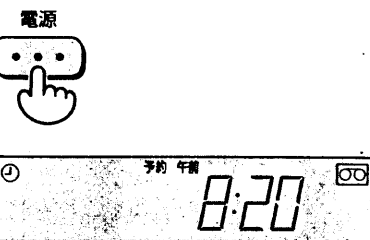
- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが自動的に切り換わります(49ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」参照)。
- 「表示なし」にするとビデオの表示窓に出ている録画モードで録画されます。

5 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。
- 続けて別の番組を予約するときは、1～5を繰り返してください。

6 ビデオの電源を切る

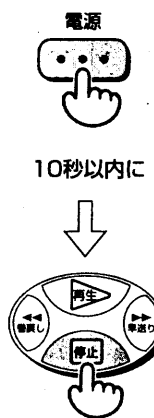


- ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。
- テープが入っていないと、「タイマー」と①が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

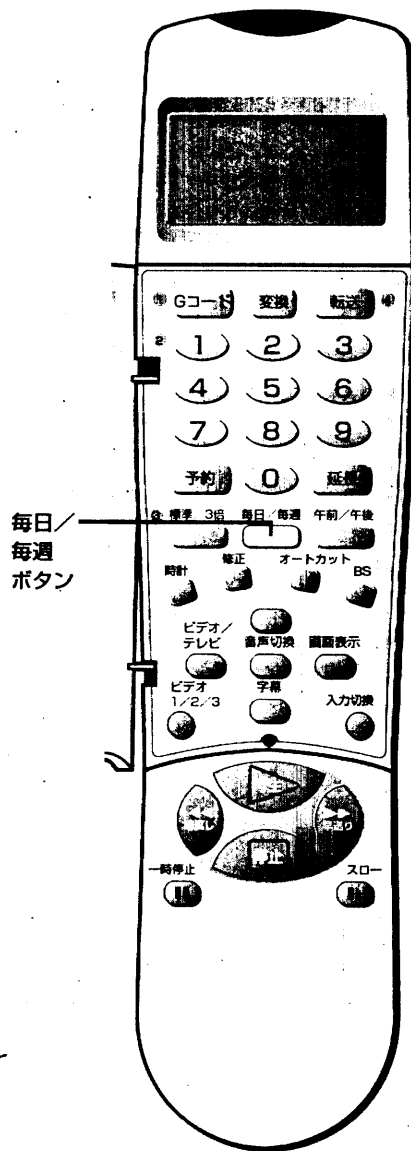
おしらせ

- タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき
- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。
- 「つめ」の折れたテープを入れたとき
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。
- オートカット機能について
- CMをカットしながら番組を録画することができます(48ページ参照)。
- 5で予約をビデオに転送したときに、テレビ画面に予約の内容が約1分間出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。
- タイマー録画を途中でやめるとき
- 電源ボタンを押したあと、10秒以内



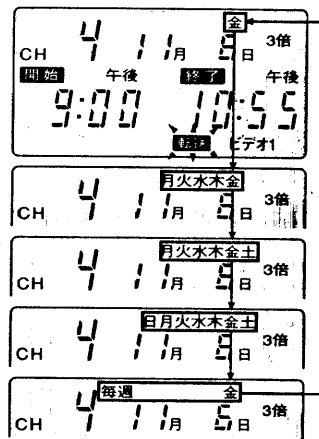
予約の確認・取り消しをする……

Gコード予約した内容も、リモコン予約した内容も次の方法で確かめたり、取り消したりできます。



毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

44ページの手順 3 のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ



- ボタンを押すごとに左のように切り換わります。
- 曜日表示の見かた
金……この日だけの1回録画
月～金…月曜日から金曜日
月～土…月曜日から土曜日
日～土…日曜日から土曜日まで
毎日同じ時間に録画
毎週金…毎週同じ曜日のこの時間に録画
- リモコンに表示されている曜日以外の毎週同じ曜日に録画するには、44ページの手順 3 で希望の曜日になるように、日にちを合わせてください。

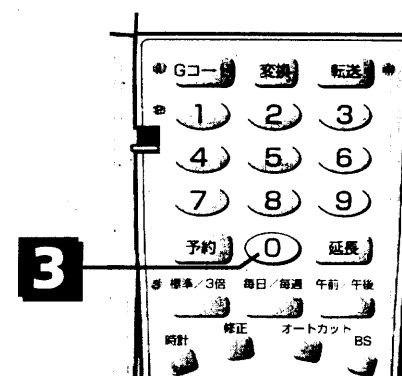
毎日、または毎週予約を転送して、ビデオの表示窓にエラーが出たときは

現在の時刻より前の時刻(過去)の録画を転送すると、ビデオの表示窓に「Err」と出ます。

現在の時刻より前の時刻の番組を予約する場合は、44ページの手順 3 の日にちを合わせるときに、日にちを次に録画される曜日の日にちに合わせてから、毎日/毎週ボタンを押してください。

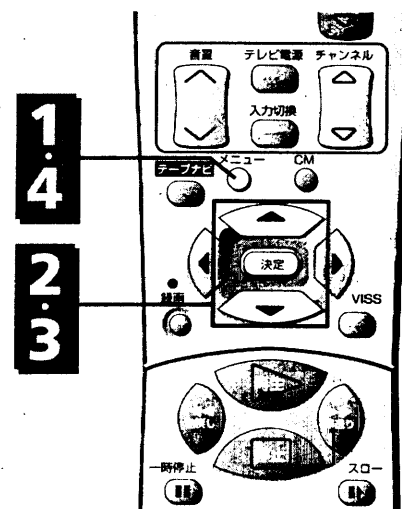
例えば、11月6日(金)の午前11時に翌週月～金の午前9:00～10:00の番組を予約するには、手順 3 で日にちを11月9日(月)に合わせてから、毎日/毎週ボタンを押してください。

ふたを開けたところ



3

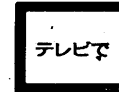
ふたを閉じたところ



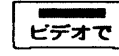
1

2

3



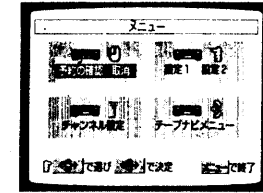
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)



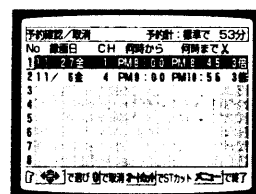
- ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が出ます。



2 「予約の確認/取消」が選ばれていることを確かめ、決定ボタンを押す

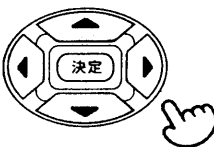


- 予約内容が一覧表示されます。
- 予約の合計時間は、3倍予約のときでも標準に換算して表示されます。

おしらせ

- メニュー画面や予約内容の画面は、約1分たつと自動的に元の画面に戻ります。
- 予約の合計時間は、標準で210分まで表示されます。211分以上は「-」になります。

3 予約を取り消したいときは、▼、▲ボタンで取り消したい内容を選び、0ボタンを押す



- 予約内容が消えます。
- 続けて別の予約も取り消したいときは、E を繰り返してください。

4 確認・取り消しが終わったら、メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

タイマー録画

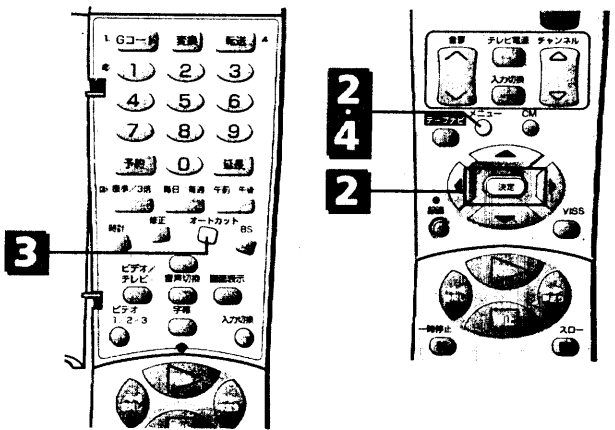
予約した番組のCMをカットする……

重要

予約した番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ何も録画されません。ステレオ放送の番組を予約するときは、オートカット機能を使わないでください。

- テレビで**
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切替を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで**
 - ビデオの電源を入れる

ふたを開けたところ ふたを閉じたところ



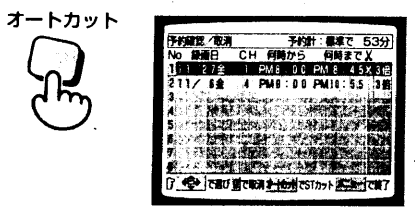
1 タイマー録画予約する
 39～46ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「予約の確認/取消」が選ばれていることを確かめ、決定ボタンを押す

メニュー

予約内容が一覧表示されます。

3 オートカットボタンを押して✂マークを出す



続けて別の番組もCMカットして録画したいときは、▼、▲ボタンを押して別の予約内容を選んでからオートカットボタンを押して✂マークを出してください。

おしらせ
 ・オートカット機能を解除するには、解除したい内容を選んでからオートカットボタンを押して✂マークを消してください。

4 メニューボタンを押す

メニュー

元の画面に戻ります。

おしらせ
 ・リモコンのタイマー録画予約をビデオに転送したとき、テレビ画面に予約の内容が約1分出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。
 録画が始まってから、オートカット機能を解除するには、電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。

タイマー予約・録画のご注意……

Gコード予約とリモコン予約に共通の内容です。

■ 予約を転送したとき、ビデオの表示窓に「--:--」や「Err」、「FULL」が出たら
 「--:--」: ビデオの時計が「--:--」になっています(約5秒点滅)。時計を合わせてから予約してください。

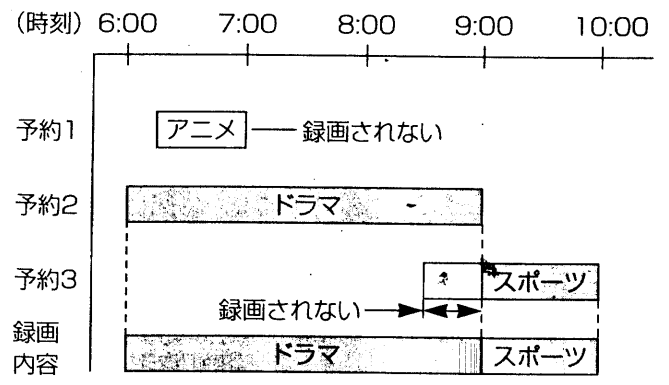
「Err」: リモコンをビデオに向けずに転送しています。ビデオに向けて転送してください。(約5秒点灯)

「FULL」: すでに8つの番組が予約されていますので、予約はできません。不要な予約を取り消してください(47ページ参照)。

■ タイマー録画中のボタン操作
 一時停止や、録画モードの変更などのボタン操作はできません。

■ 60分以上の停電があったとき
 ビデオの表示窓が「--:--」に変わり、時計と予約内容が消えてしまいます。時計合わせと予約をやり直してください(時計合わせは110ページ、予約は39～46ページ参照)。

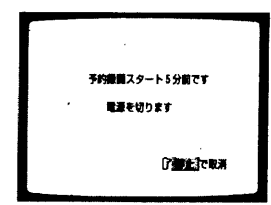
■ 予約内容が重なったとき
 先に始まった番組が最後まで録画されたあと、次の番組が途中から録画されます。



■ タイマー録画中にテープがなくなったとき
 自動的にビデオの電源が切れ、テープがビデオから出てきます。

■ 日立製の他のビデオのリモコンを使うとき
 時計表示窓付きリモコンは、リモコンの予約内容をそのまま本機に転送することができます。

■ タイマー録画予約後、電源を切り忘れたとき



電源が「入」になっていると、タイマー録画開始5分前にテレビ画面に上の警告表示が現れ、ビデオの電源が自動的に切れます。

■ 録画モードを「オート」に合わせたとき
 テープの残り時間に応じて自動的に録画モードが切り換わります。

- ・「標準」で録画を始めて、途中でテープがなくなりそうになると録画モードを自動的に「3倍」に切り換えます。
- ・最初から「3倍」で録画を始めても、録画時間が足りないときは、最後まで録画されません。
- ・録画モードの切り換わった部分を再生すると、画像が乱れます。
- ・2つ以上の番組を「オート」でタイマー録画予約すると、テープの残り時間と番組の録画時間によっては、2つ目以降の番組が録画されないことがあります。たとえば、T-120のテープの巻始めから、1つ目の2時間番組を「オート」でタイマー録画予約すると「標準」で2時間(最後の約5分は「3倍」)録画されます。このため、2つ目以降の番組は録画されません。

■ BS放送をタイマー録画するとき
 BS放送のTV(テレビ)/独立音声の切り換えは、必ずタイマー録画が始まる前に番組に合わせて切り換えておいてください(62ページ参照)。

■ ケーブルテレビのBS放送番組をGコード予約するとき
 リモコンの表示窓に「BS」表示が自動的に出ます。このときは、修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させたあと、BSボタンを押して「BS」表示を消してからケーブルチャンネルに合わせてください。

■ ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき
 「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送の番組をタイマー録画するときは、UHF放送のチャンネルを変更し、その変更したチャンネル番号を予約してください(100ページ参照)。

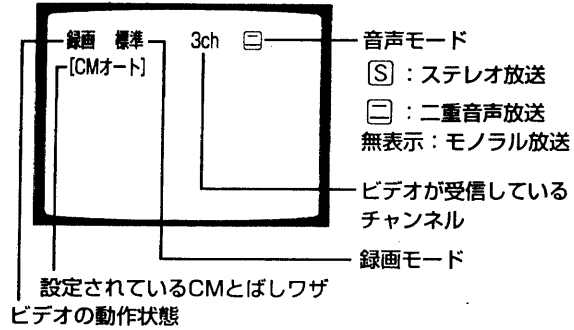
タイマー録画

画面表示を見る.....

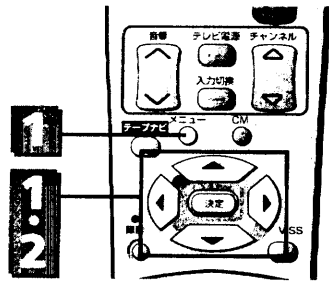
テレビ画面にビデオの動作状態や、チャンネル、時計、テープの走行経過時間などを表示することができます。

テレビ画面表示

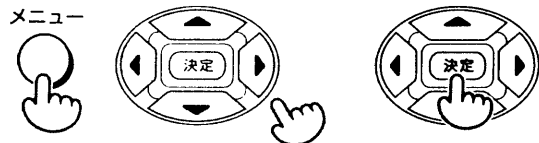
「ビデオモード設定1」で「OSD表示」を「オート」に設定していると、ビデオを操作するたびに、下の表示がテレビの画面に約8秒間出ます。



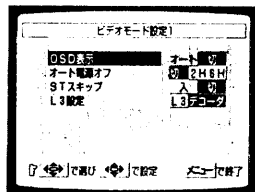
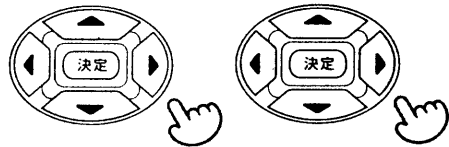
画面表示を入/切する



1 メニュー画面を出し「設定1」を選び、決定ボタンを押す

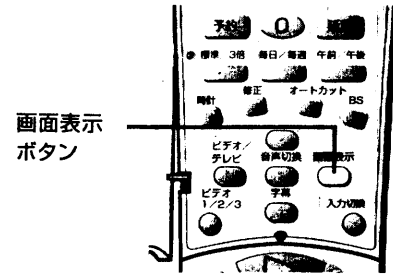


2 ▼、▲ボタンで「OSD表示」を選び、◀、▶ボタンで設定を「オート」または「切」にする



「切」にするとビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したときまたはテープナビ機能やオートカット機能などをお使いのときは、表示が出ます。

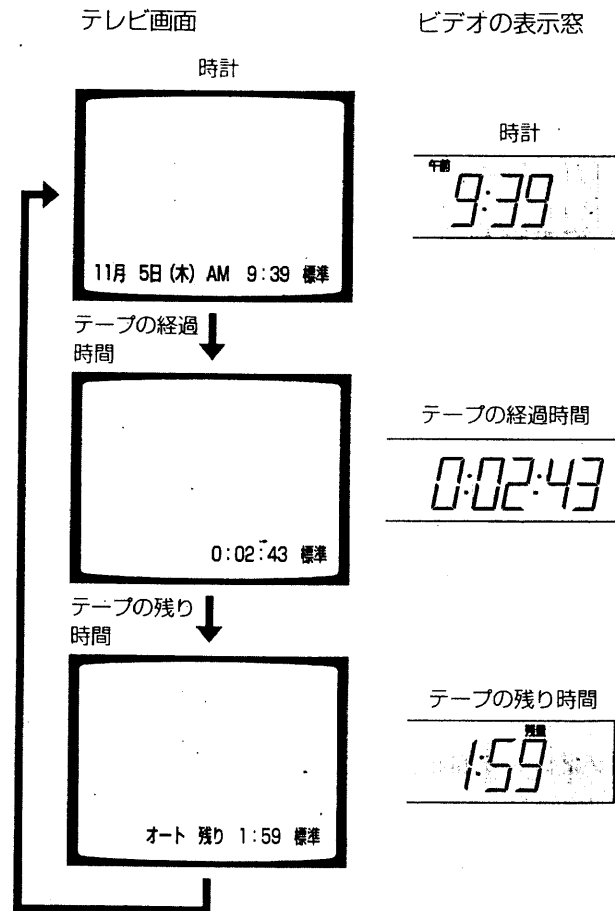
時計、経過時間、テープの残り時間を切り換える



画面表示ボタンを押す



画面表示が出ている間にボタンを押すと、ビデオの表示窓も同時に切り換わります。



おしらせ

- 時計が表示されているときにテープを再生すると、自動的にテープの経過時間に切り換わります。
- 時計またはテープの残り時間に切り換えるときは、画面表示ボタンを押してください。

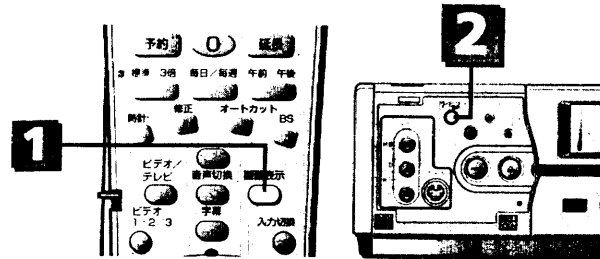
残り時間・経過時間を表示する.....

テープの走行中、テープの残り時間を「時・分」で表示できます。また、走行の経過時間を「時・分・秒」で表示することもできます。

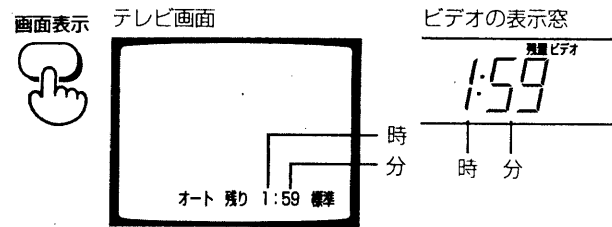
重要

テープの残り時間は、録画や再生を始めて約2分後に表示されます。テープが動き始めてしばらくは、「--:--」の表示が出ます。

テープの残り時間を表示する

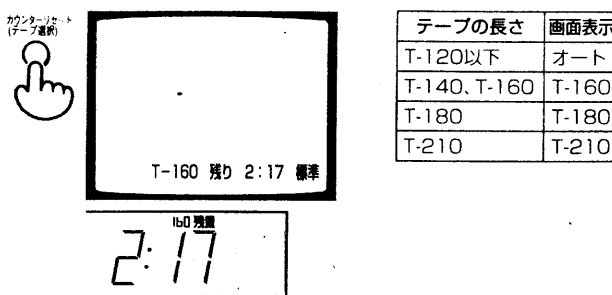


1 画面表示ボタンを押して、残り時間を出す



テープを入れたばかりのときは、「--:--」が表示されます。再生または録画を始めると、約2分後に残り時間が表示されます。

2 カウンターリセット(テープ選択)ボタンを押して、テープの長さを選ぶ

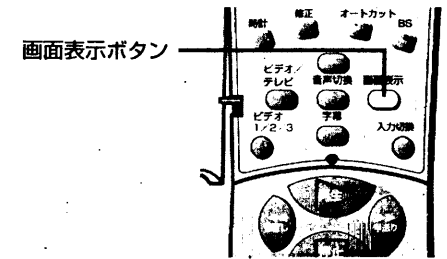


- テープの長さに合わせて表示を選んでください。これで正しい残り時間が表示されます。
- 画面表示が「オート」のときは、ビデオの表示窓にテープの長さが出ません。

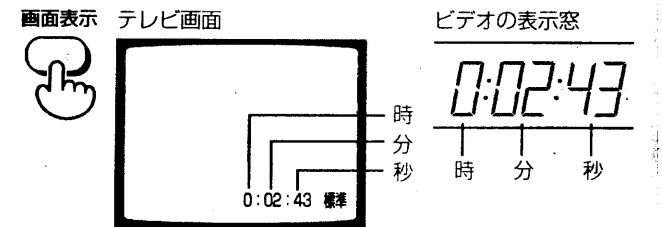
おしらせ

- テープの残り時間の表示について
- 何も録画していないテープやT-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、残り時間が正しく表示されません。
 - 早送りや巻戻しのときは、テレビ画面に正しく表示が出ません。

経過時間を表示する



画面表示ボタンを押して、テープの走行経過時間を表示する



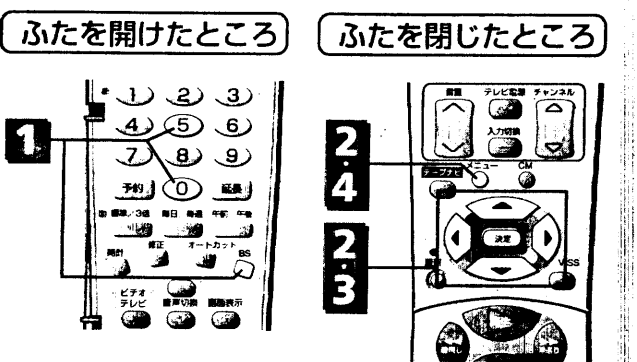
おしらせ

- 経過時間の表示について
- テープを取り出すと、自動的に「0:00:00」に戻ります。
 - テープに何も録画されていない部分では、経過時間の数字は変わりません。
 - 録画または再生中に、ビデオのカウンターリセット(テープ選択)ボタンを押すと、経過時間が「0:00:00」になります。録画や再生が終わってから、見たい場面を探すとき便利です。

7B-BS700 BS放送の独立音声を聞く……

BS放送では、同じチャンネルにテレビ音声と同時に独立音声とよばれる別の音声を放送しているチャンネルがあります。
 平成10年7月現在、独立音声放送が行われているのは、BS5チャンネルのSt.GIGA放送だけです。St.GIGAを聞くには受信契約が必要です。

- テレビで**
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで**
 - ビデオの電源を入れる



1 BS5チャンネルを選ぶ

ビデオの表示窓

BS

0 5

ビデオの表示窓

BS

05

2 メニュー画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ

メニュー

3 ▼、▲ボタンで「TV/独立」を選び、▶ボタンで「独立」を選ぶ

- BS5チャンネルを選ぶと、テレビ画面に「独立」と出て、独立音声に切り換わります。
- ザーツという音しか聞こえないときはスクランブルがかかっています。スクランブルを解除するにはデコーダが必要です(86、93ページ参照)。

4 メニューボタンを押す

メニュー

元の画面に戻ります。

おしらせ

BS放送の音声について

- BS放送の音声にはAモードとBモードがあります。Aモードはテレビ音声と独立音声と一緒に送られてきます。Bモードはテレビ音声のみが送られてきます。AモードとBモードは、自動的に切り換わります。Bモードのときはテレビ画面に「Bモード」と出ます。

テープナビを使う……

このビデオでは、テープを入れて録画すると、そのテープに整理番号を付け、録画データ(録画日、録画時刻、チャンネル、録画モードなど)を登録してテープごとに管理します。録画データを活用してテープの中身を一目で見たり、番組の頭出しをする機能をテープナビといいます。

重要

- テープの種類を間違えて選ぶと、5分以上録画してもデータを正確に登録できません。
- 他機で録画したテープを初めてこのビデオで録画するときも、テープの種類を正しく選んでから録画やタイマー録画をしてください。
- テープを入れると、ビデオのテープナビボタンが点滅したあと点灯します。点灯後に操作してください。点滅中に操作すると、同じテープに複数のテープ番号が登録されてしまい、誤動作の原因となります。

録画データを登録する

1 テープを入れる

このビデオに初めて入れたテープのときは、ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから消えます。そのあと、ビデオの表示窓の残量表示が約10秒間点滅します。点滅している間に**2**の操作をしてください。

2 140分以上のテープのときは、テープの種類を切り換える

ビデオの表示窓

0:00:03

テープの種類	表示
T-140、T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

- テープの種類に合わせて表示を選んでください。これでテープナビが正しく動きます。
- 120分以下のテープでは、切り換える必要ありません。

3 録画、またはタイマー録画する

●録画/フックタイマー

便利な機能

重要

オートカット機能を使って録画した番組の録画時間は、録画予約した時間よりCMをカットした分だけ短く表示されます。また、CMをカットした分だけ録画時間が短くなるため、30分以内の番組は、録画データが登録されないことがあります。

テープナビ画面の見かた

テープバー
現在選択されている番組のテープ上の位置と長さを示します。

テープ番号
(本機がテープにつけた整理番号)

カラーバー
選択されている番組表示に、色がついています。

ジャンルマーク
ジャンルマークを設定したときに表示されます。

見たマーク
番組を続けて半分以上見たとき、表示されます。

録画日*
録画チャンネル
録画したチャンネルの番号です。デジタルCS放送を録画したときは、「CS」と表示されます。

ブランク
録画した番組と番組のあき時間

録画開始時刻*
録画時間(分)
CMカット表示
オートカット機能を使って録画したとき、または録画中に一時停止した番組のとき表示されます。

テープに録画された番組数
録画モード**
残り
(テープの残り時間)

二か国語放送表示
番組の半分以上が二か国語放送のとき表示されます。

* 時計を設定していないと「-」で表示されます。
** 録画中にモードが変わったときは、「-」と表示されます。このときは、標準モードに置き換えた時間が示されます。

録画日	CH	何時から	何分	番組数
1/11	5木	4 PM8:00	42	3倍
3/11	1.2木	CS PM9:00	60	3倍
4/11	1.5日	CS PM8:00	23	3倍
5/11	2.6木	CS PM8:00	27	3倍
6/11	3.0月	CS PM8:00	15	3倍

タイムナビ画面の見かた

現在位置
再生中に、その画面が録画された時刻を示します。

カーソル(現在位置)
カーソル(再生/停止位置)
CMの終わるところを選ぶときには「0」になります。

録画開始時刻

録画終了時刻

再生/停止位置の時刻
タイムナビで探して再生/停止する場面の録画時刻を示します。

テープバー
現在選択されている番組を示します。

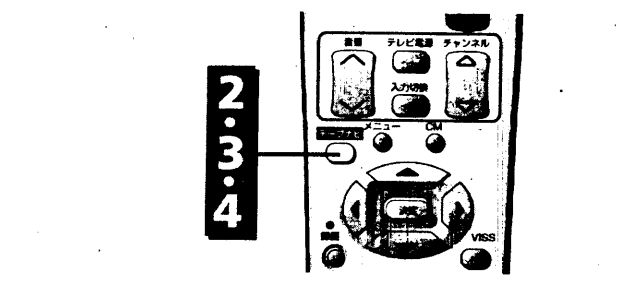
おしらせ

- 番組の録画数について**
- 「ブランク」、「残り」も含めて約256番組を登録できます。
- テープ番号の登録数について**
- 130以上は登録されません。
- 録画時間の精度について**
- 表示される録画時間と実際の録画時間には、約3分の誤差があります。
- 録画データの保持について**
- 登録された録画データは、停電や電源プラグをコンセントから抜いたときも消えません。
 - 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。
- 見たマークについて**
- 見たマークは、番組を続けて半分以上見た(再生した)とき表示されます。番組の半分以上で再生をやめたり、テープナビ画面を出すと、見たマークは表示されません。

重要

テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、本機で録画したテープだけです。

テープの録画データを見る

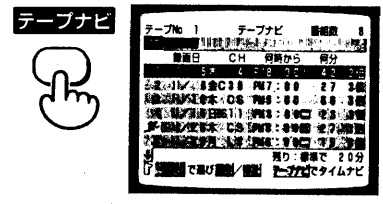


1 本機で録画したテープを入れる



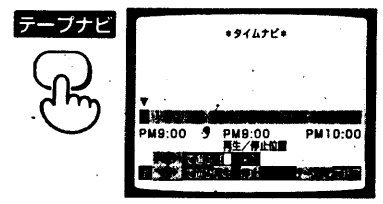
ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



- テープナビ画面が出ます。画面の見かたは(54)ページをご覧ください。
- この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出しして停止したりできます。(57)ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照。

3 テープナビボタンを押す



- タイムナビ画面が出ます。
- この画面で、番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、選んだ時刻を探して停止したりできます。(62)ページ「タイムナビで見たい場面を探す」参照。

4 テープナビボタンを押す



元の画面に戻ります。

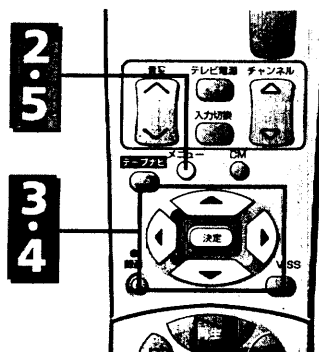
おしらせ

- 本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
- テープを最初から約2分間再生したあとテープナビボタンを押してください。
 - 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。
 - タイムナビ「切」のとき、またはテープナビ画面で「ブランク」、「残り」を選んだときには、(3)の画面が出ません。

重要

テープナビ機能を入/切るときは、テープを取り出してください。
テープが入っていると、切り換えることができません。

テープナビ機能とタイムナビ機能を入/切する

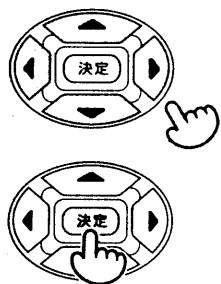


1 テープを取り出す

2 メニューボタンを押す

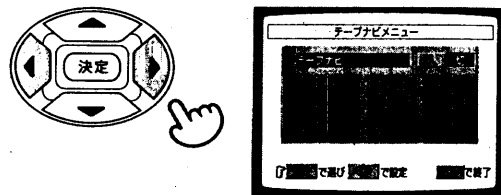


3 カーソルボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



テープナビメニューが出ます。

4 ◀、▶ボタンで「テープナビ」の「入」が「切」を選ぶ



- 工場出荷時は「入」です。
- テープナビ機能を使わないときは「切」にしてください。
- タイムナビ機能を入/切するには、テープナビ「入」のとき、▼、▲ボタンで「タイムナビ」を選び、◀、▶ボタンで「入」、「切」を選んでください。

5 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

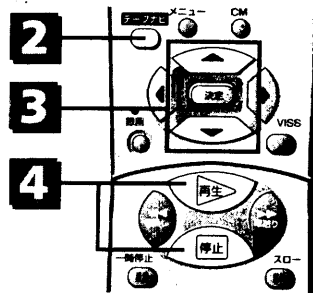
「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データのオート登録」、「ライブラリ登録」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。また、CMオートが動作しません。

重要

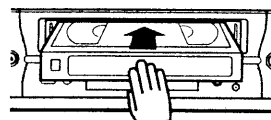
テープを入れてもビデオのテープナビボタンが緑に点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。
⑤⑥ページをご覧ください。⑨に設定してください。

録画データを使って番組の頭出しをする

録画データを使って見たい番組を探したり、テープの録画されていないところ(ブランク)を探することができます。

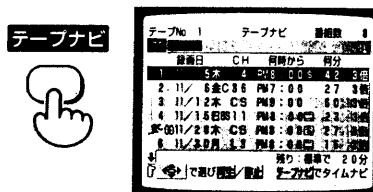


1 本機で録画したテープを入れる



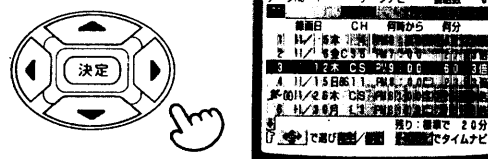
ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。
点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



テープナビ画面が出ます。

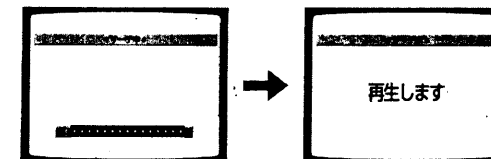
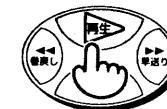
3 ▼、▲ボタンを押して、見たい番組(またはブランク)を選ぶ



- カラーバーが選んだ番組に移動します。
- テープバーが選んだ番組の位置と長さを示します。
- 6番組以降の番組を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押し、表示します。
- 番組の途中を探すときは「タイムナビで見たい場面を探す」(⑨ページ)をご覧ください。

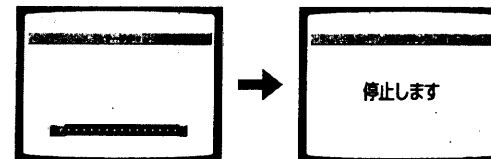
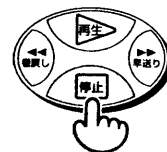
4 番組の頭から再生する、または頭出しして停止する

再生するとき



番組の頭を探して自動的に再生します。

頭出しして停止するとき



番組の頭を探して自動的に停止します。

おしらせ

テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき
• ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。
頭出しのあと自動的に電源を切るには
• **3** で見たい番組(または残り)を選んだあと電源ボタンを押すと、番組を頭出ししてから自動的に停止し、電源が切れます。
本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
• テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
• 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

便利な使いかた

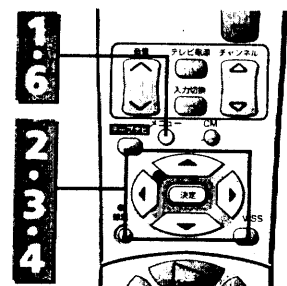
重要

- ビデオの中にテープが入っているときは、入っているテープのデータを取り消すことはできません。テープを取り出してから操作してください。
- データの取り消しをすると、1本のテープに登録されているテープデータ全てが取り消されます。データの一部(番組データ)を取り消すことはできません。

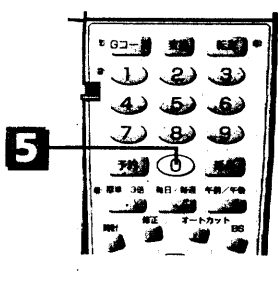
登録内容を取り消す

登録できるデータ数が残り少なくなったときや、いらなくなったテープのデータ、ライブラリ登録したテープのデータを取り消したいときに行います。

ふたを閉じたところ



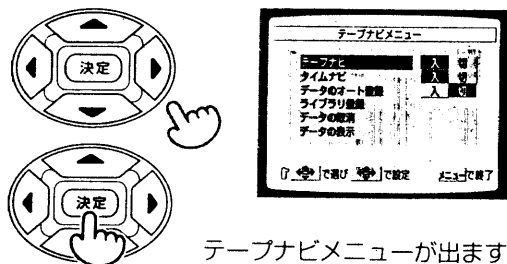
ふたを開けたところ



1 メニューボタンを押す



2 カーソルボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す

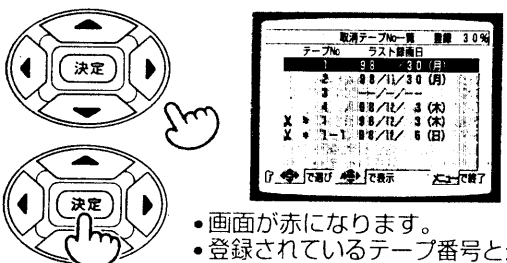


テープナビメニューが出ます。

おしらせ

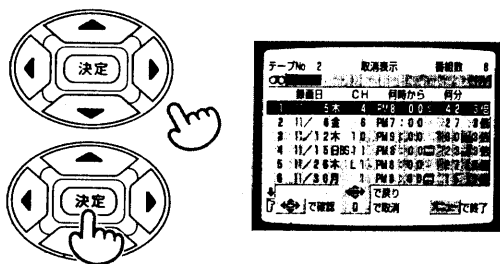
「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データのオート登録」、「ライブラリ登録」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。

3 ▼、▲ボタンで「データの取消」を選び、決定ボタンを押す



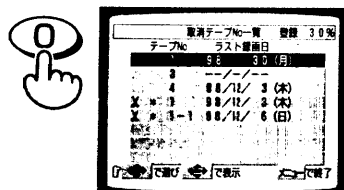
- 画面が赤になります。
- 登録されているテープ番号と最後に録画した年月日、曜日が表示されます。
- Xはライブラリ登録したデータです。

4 ▼、▲ボタンで取り消したいテープ番号を選び、決定ボタンを押す



- 次の画面を見るには、▼ボタンを繰り返し押し表示します。
- 選んだテープの詳しい登録内容が出ます。取り消してよいテープか、内容を確認してください。

5 0ボタンを押して取り消す



- 選んだテープの録画データが取り消され、3の画面に戻ります。
- 他のテープも取り消したいときは4~5を繰り返してください。

6 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

一度このビデオで録画したテープに再度録画するときは、登録内容を取り消す必要はありません(録画すると新しいデータが自動的に登録されます)。

登録パーセント表示について

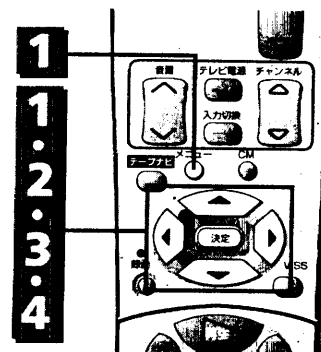
パーセント表示は、テープ番号の数ではなく、登録されている番組数や内容によって変わります。

ラスト録画日の表示について

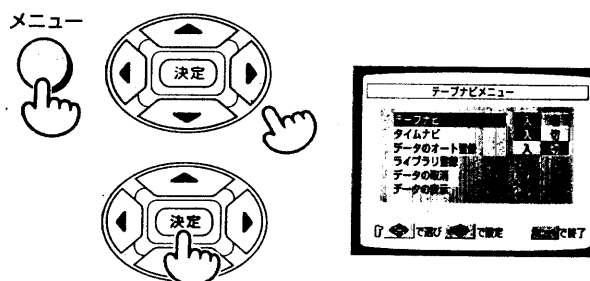
時計を設定していないときにデータが登録されたり、登録時間(録画時間)が短い(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)と、ラスト録画日は「- / - / -」と表示されます。

登録内容を確認する

テープを入れずに、このビデオに登録されている全テープの登録内容を確認することができます。お手持ちのテープのラベルに、登録されたテープ番号を付けておくと、テープを探すのに便利です。



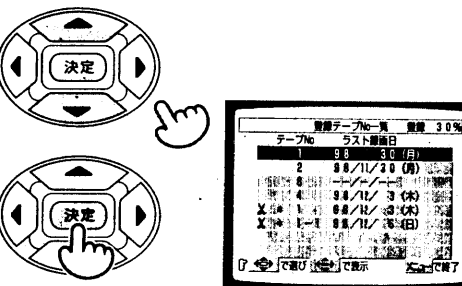
1 メニューボタン、カーソルボタンと決定ボタンで「テープナビメニュー」を出す



おしらせ

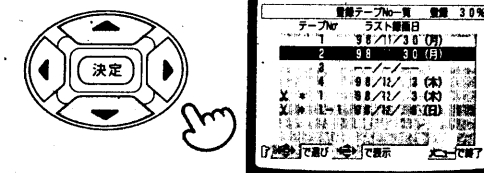
「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データのオート登録」、「ライブラリ登録」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。

2 ▼、▲ボタンで「データの表示」を選び、決定ボタンを押す



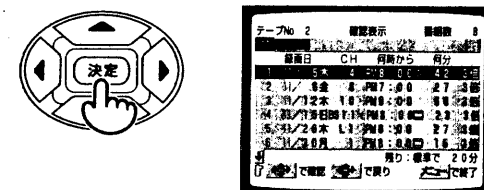
登録されているテープ番号と最後に録画した年月日、曜日が表示されます。

3 ▼、▲ボタンで確認したいテープ番号を選ぶ



次の画面を見るには、▼ボタンを繰り返し押し表示します。

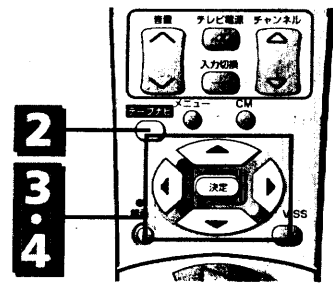
4 決定ボタンを押す



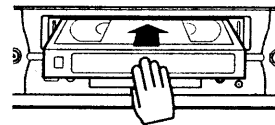
- 選んだテープの詳しい登録内容が出ます。
- 他のテープの内容も確かめたいときはもう1回決定ボタンを押してから3、4を繰り返してください。
- 元の画面に戻すには、メニューボタンを押してください。

番組のジャンルマークを設定する

テープナビ画面と確認表示画面で、番組に該当するジャンルマークを設定できます。

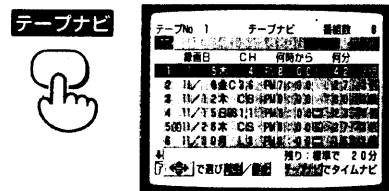


1 本機で録画したテープを入れる



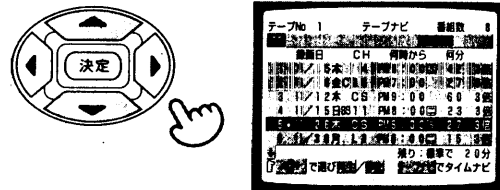
ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す

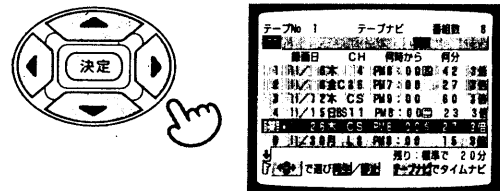


テープナビ画面が出ます。

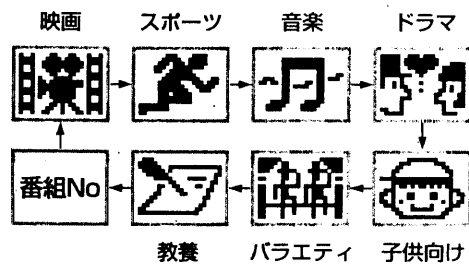
3 ▼、▲ボタンを押して、設定したい番組を選ぶ



4 カーソルボタンを押してジャンルマークを変える



- ◀、▶ボタンを押すとジャンルマークが以下のように切り替わります。
- ▼、▲ボタンを押すと切り換えたジャンルマークが設定されます。

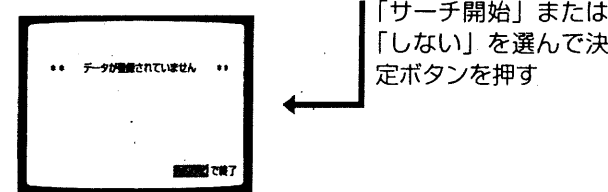
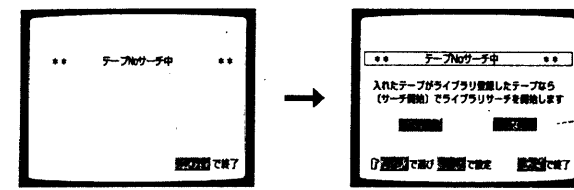


5 テープナビボタンを押し、元の画面に戻す



次の①～⑤のテープが入っているときテープナビボタンを押すと、下の画面が出ます。

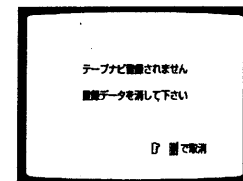
- ①何も録画していないテープ
- ②本機以外のビデオで録画したテープ
- ③テープナビを[切]にして本機で録画したテープ
- ④登録内容を取り消したテープ
- ⑤市販のソフトテープ



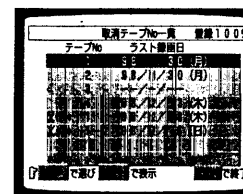
「サーチ開始」または「しない」を選んで決定ボタンを押す

登録の数には限りがあります。

- 録画を始めたときに下の画面が出たときは、いらぬテープの登録内容を消してください。



- 上の画面が出ている間に0ボタンを押すと58ページの「登録内容を取り消す」の3の画面になります。3の画面でテープNoに*が付いていないテープの中からいらぬテープを選んで4～6の操作を行い、登録を取り消してください。
- このビデオでオート登録をしたテープを入れて録画を始めたときに上の画面が出た場合は、上の画面が出ている間に0ボタンを押すと下の画面が出ます。



テープNoに*が付いたテープの中からいらぬテープを選んで58ページの4～6の操作を行い、登録を取り消してください。

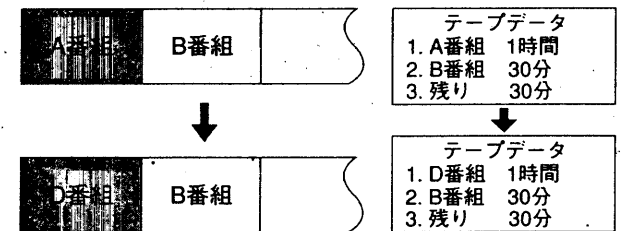
ダビング編集について

- 音声だけを録音したときやCDV(コンパクトディスクビデオ)から録画したときは、テープナビ機能は動きません。

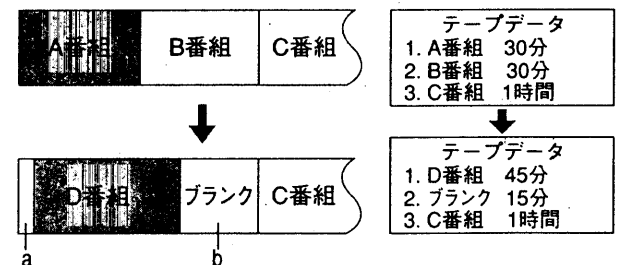
市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切つてからクリーニングテープを入れてください(56ページ参照)。

一度録画したテープに再度録画したときのテープデータについて

例1) テープナビを使ってA番組、B番組を録画したテープに、D番組をA番組と同じ時間録画したとき

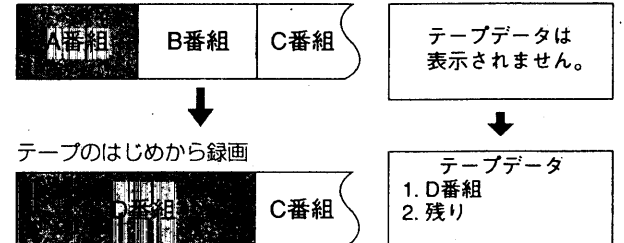


例2) テープナビを使ってA番組、B番組、C番組を録画したテープに、D番組を録画したとき



- aの時間が5分(3倍モードで15分)未満のときは何も表示されません。約5分以上のときは、「A番組」と表示され、録画時間はaの時間に変わります。
- bの時間が約5分(3倍モードで約15分)以上のときは「ブランク」と表示されます。5分未満のときは、何も表示されません。

例3) 他の機器でA番組、B番組、C番組を録画したテープに、テープナビを使ってD番組を録画したとき



- C番組は「残り」と表示されます。

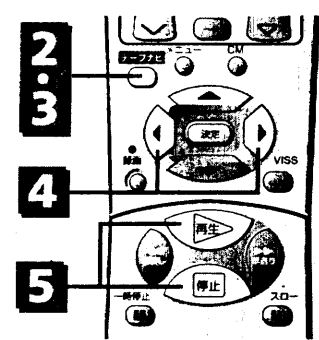
タイムナビで見たい場面を探す

このビデオには、ある番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、その場面で停止したり、CMの終わるところを探せるタイムナビ機能がついています。
テープナビ機能が「入」になっているときにお使いください。

重要

- テープを入れてもビデオのテープナビボタンが緑に点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。
56ページをご覧ください。
- テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、テープナビが「入」で録画したテープだけです。
- データのオート登録で、昔のテープナビの録画データを読み込んだテープでは、タイムナビ画面の現在位置表示が動かないことがあります(69ページ参照)。

指定した時刻の頭出しをする

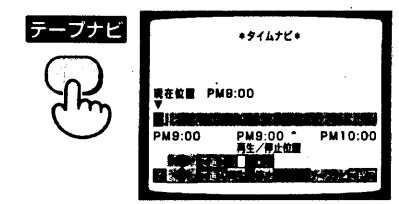


1 テープナビメニューの「タイムナビ」を「入」にする
操作のしかたは56ページをご覧ください。

2 再生中、テープナビボタンを押す
テープナビ画面が出ます。

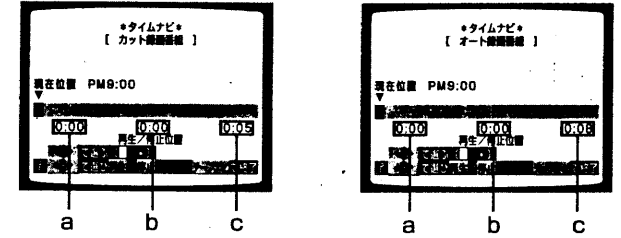
おしらせ
再生中以外の番組でタイムナビを使うとき
• **2** でテープナビ画面を出したとき、▼、▲ボタンを押して番組を選んでからテープナビボタンを押してください。この場合、タイムナビ画面の「現在位置」の時刻は表示されません。
• テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき、ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。
本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
• テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
• 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

3 もう1回テープナビボタンを押す



- 再生中の番組のタイムナビ画面が出ます。
- もう1回テープナビボタンを押すと、元の画面に戻ります。

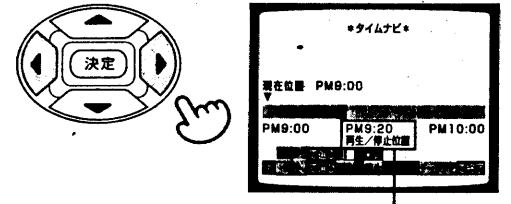
オートカット機能を使って録画した番組、または録画中に一時停止した番組のとき



- a. 録画開始時刻の代わりに「0:00」が表示されます。
- b. 「再生/停止位置」には、録画開始からの経過時間が表示されます。
- c. 録画終了時刻の代わりに録画時間が表示されます。
• [オート録画番組]の場合、3倍モードで録画された部分も、録画時間および経過時間は標準モードに置き換えた時間になります。

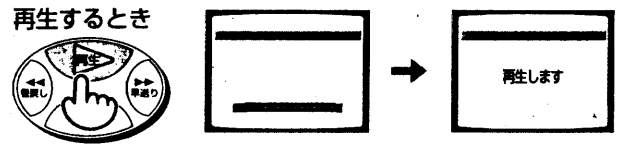
おしらせ
• 現在位置表示の黒い四角が00のときは64ページを参照してください。
タイムナビ機能が使えないとき
• テープの現在位置が「残り」または「ブランク」にあるとき、またはテープナビ画面で▼、▲ボタンを押して「残り」または「ブランク」の部分を選んだときは、タイムナビ機能が動きません。

4 ◀、▶ボタンで見たい場面の時刻を選ぶ

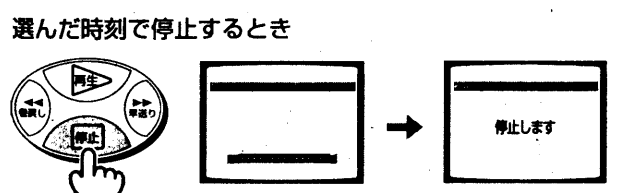


- 「再生/停止位置」の時刻を選びます。
- バーの中の黒い四角が現在のテープ位置を示します。

5 選んだ時刻の場面から再生する、またはその時刻を探して停止する



再生するとき
選んだ時刻を探して、そこから自動的に再生します。



選んだ時刻で停止するとき
選んだ時刻を探して自動的に停止します。

おしらせ
自動的に電源を切るとき
• **4** の操作のあと電源ボタンを押すと、選んだ時刻を探してから自動的に停止し、電源が切れます。

ライブラリデータでテープナビ、タイムナビを使う

テープにライブラリ登録をすると、ライブラリデータでテープナビ、タイムナビを使うことができます。ライブラリ登録は、テープの録画データをテープの頭にまとめて記録する機能です。複数の番組を録画した保存用のテープがふえて、テープナビの登録数が足りないときは、ライブラリ登録をするとテープナビの登録数を減らすことができます。ライブラリ登録をしたら録画データを取り消すことをおすすめします(68ページ参照)。

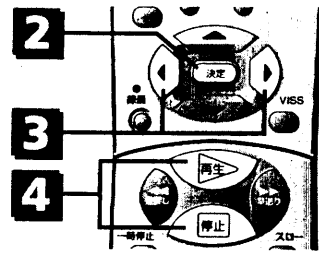
重要

- ライブラリ登録はテープの頭の数秒間にデータを記録します。データ記録部分の画像は、現在受信しているチャンネルの映像が録画されますが、音声は前のままです。
- ライブラリ登録できるのは、このビデオでテープナビを「入」にして録画したテープだけです。
- ライブラリ登録したテープに録画しても、ライブラリデータの内容は変わりません。録画できないようにテープのつめを折って使ってください。
- 放送局からの映像信号を受信していないときは、「NO SYNC」と画面に出て、ライブラリ登録できません。

重要

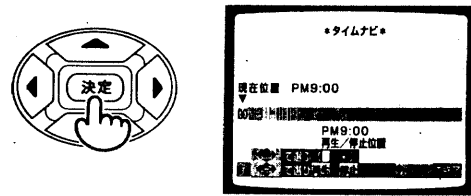
- データのオート登録で、昔のテープナビの録画データを読み込んだテープでは、CMの終わるところは探せません(68ページ参照)。

CMの終わるところを探す



1 タイムナビ画面を出す
操作のしかたは62ページの**1**～**3**をご覧ください。

2 決定ボタンを押してカーソルを変える

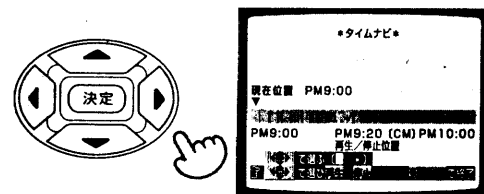


バーの中の黒い四角が◯になります。

おしらせ

- ビデオ前面の[CM]が消えているときは、画面の下の方の[決定]ができません。

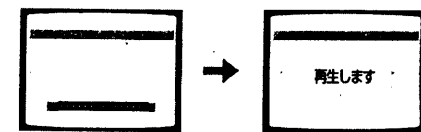
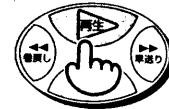
3 ◀、▶ボタンで見たいCMの終わるところを選ぶ



- 「再生/停止位置[CM)」の時刻を選びます。
- バーの中の◯が、CMの終わる位置を示します。
- CMがない場合は◯が動きません。

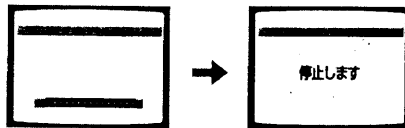
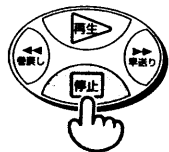
4 選んだCMの終わるところから再生する。または探して停止する

再生するとき



選んだCMの終わるところを探して、そこから自動的に再生します。

選んだ時刻で停止するとき

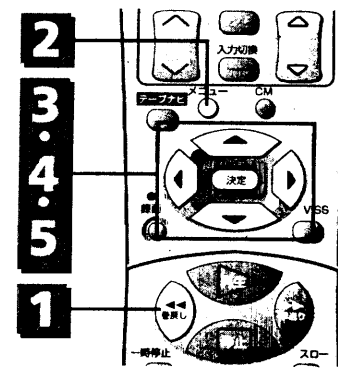


選んだCMの終わるところを探して自動的に停止します。

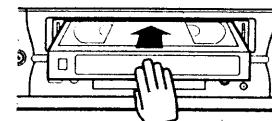
おしらせ

- 4** の操作のあと電源ボタンを押すと、選んだCMの終わるところを探してから自動的に停止し、電源が切れます。

テープにライブラリ登録する



1 テープを入れる

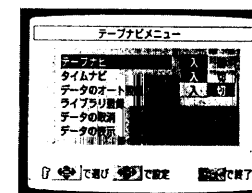
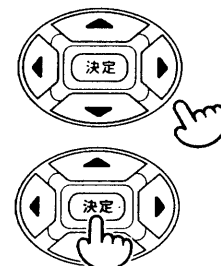


- このビデオでテープナビを「入」にして録画したテープを入れてください。
- ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。点灯後に次の操作をしてください。

2 メニューボタンを押す

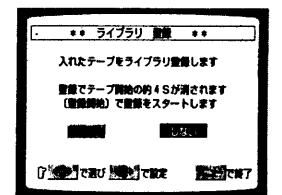
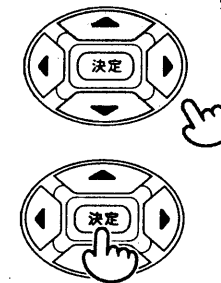


3 カーソルボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



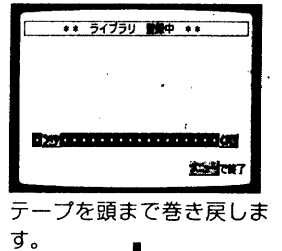
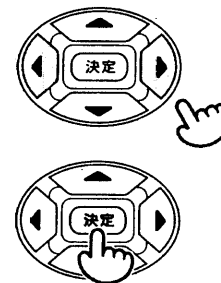
テープナビメニューが出ます。

4 カーソルボタンで「ライブラリ登録」を選び、決定ボタンを押す



ライブラリ登録画面が出ます。

5 「登録開始」を選び、決定ボタンを押す



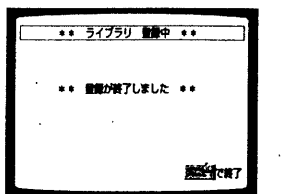
テープを頭まで巻き戻します。

おしらせ

- ライブラリ登録中に、登録データを書き込んでいる黒い線が画面の上に出ますが、故障ではありません。



ライブラリ登録中です。



ライブラリ登録が終わると、元の画面に戻ります。

昔のビデオで録画したテープでテープナビを使う.....

このビデオより前に発売された日立製のテープナビ機能付きビデオで、テープナビを「入」にして録画したテープを、このビデオのテープナビで使うことができます。
テープナビを使う前に、昔のビデオで録画したテープのデータを登録してください。この操作をデータのオート登録といいます。

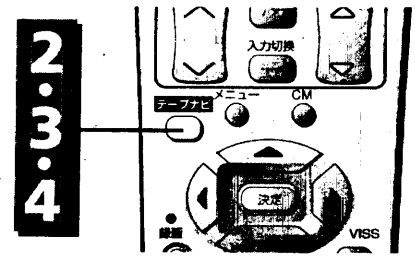
重要

- テープナビ機能がついていないビデオで録画したテープは、録画データを読み込むことができません。
- 以下の日立製ビデオでは録画データが異なるため、データのオート登録ができません。
7B-F61、7B-BF63、7B-S60、7B-BS65、7B-BS3000
- このビデオでテープナビを「入」にして録画したテープの録画データを、昔の日立製のテープナビ機能付きビデオで読み込むことはできません。

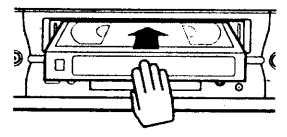
重要

- ライブラリデータでテープナビ、タイムナビ機能を使えるのは、このビデオでライブラリ登録したテープだけです。
- 「テープナビ」、「タイムナビ」を「入」に設定してください(66ページ参照)。

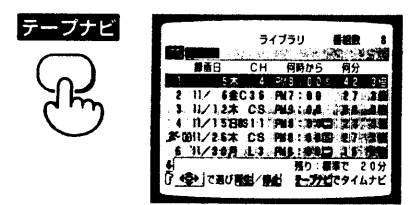
テープのライブラリデータを見る



1 本機でライブラリ登録したテープを入れる



2 テープナビボタンを押す

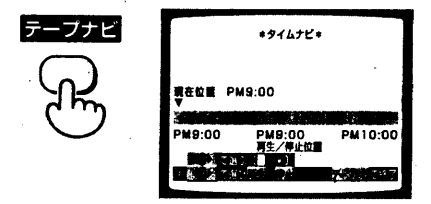


- テープナビ画面が出ます。画面の見かたは64ページをご覧ください。
- 画面が黄色になります。
- この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出して停止したりできます(67ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照)。

おしらせ

- ライブラリデータではテープ番号と見たマークは出ません。また、ジャンルマークも変えられません。

3 テープナビボタンを押す



- タイムナビ画面が出ます。
- この画面で、番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、選んだ時刻を探して停止したりできます(62ページ「タイムナビで見たい場面を探す」参照)。

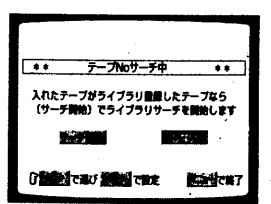
4 テープナビボタンを押す



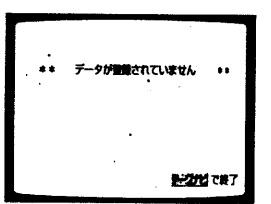
元の画面に戻ります。

テープナビ画面が出ない場合

手順 2 でテープナビボタンを押してもテープナビ画面が出ないときには、以下の画面が出ます。



- ライブラリ登録したテープが入っていれば、「サーチ開始」を選んで決定ボタンを押してください。テープの録画データが記録されていればライブラリサーチが始まり、テープナビ画面が出ます。テープの録画データが記録されていないと下の画面が出ます。

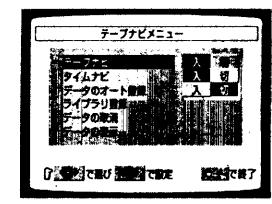
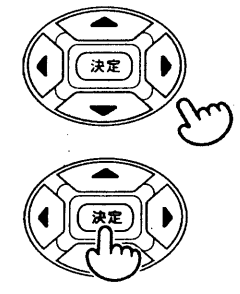


データのオート登録機能を入/切する

1 メニューボタンを押す

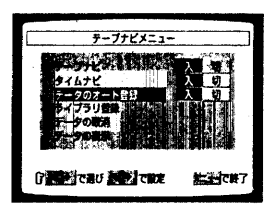
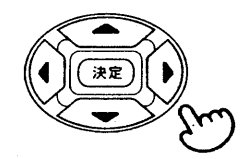


2 カーソルボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



テープナビメニューが出ます。

3 カーソルボタンで「データのオート登録」の「入」を選ぶ

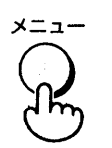


工場出荷時は「切」です。

おしらせ

- 「テープナビ」が「切」のときは、「データのオート登録」は出ません。「テープナビ」を「入」にしてください。
- データのオート登録機能を使わないときは、「切」にしてください。

4 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

便利な使いかた

リモコンで2台のビデオを操作する……

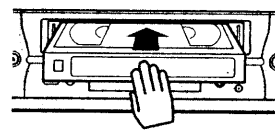
付属のリモコンは、日立製のビデオを3台まで、別々に操作できます。ビデオを並べて使っているときなど、1台ずつ操作できるので便利です。

重要

- データのオート登録で、昔のテープナビの録画データを読み込んだテープでは、タイムナビ画面の現在位置表示が動かないことがあります(62ページ参照)。また、タイムナビでCMの終わるところを探せません(64ページ参照)。
- データのオート登録で、昔のテープナビの録画データを読み込んだテープに録画すると、タイムナビでCMの終わるところを探せません(64ページ参照)。またCMオートでCMをとばせません。

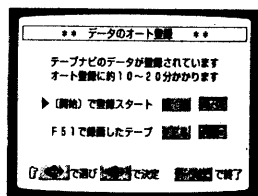
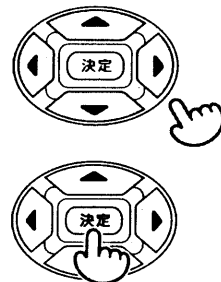
昔のテープナビの録画データを読み込む (データのオート登録)

1 テープを入れる

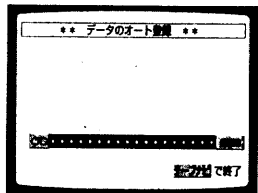


- 昔の日立製のテープナビ機能付きビデオでテープナビを「入」にして録画したテープを入れてください。
- データの判別に約10秒かかります。判別中は、ビデオのテープナビボタンが点滅します。

2 カーソルボタンで「開始」を選んで、決定ボタンを押す

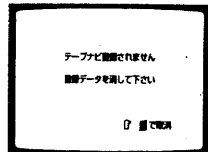


- データのオート登録が始まります。
- 登録中は入れたテープの映像が再生されます。音声は現在受信しているチャンネルの音声が出来ます。
- 7B-F51で録画したテープを入れた場合は、「YES」を選んでから「開始」を選んでください。「NO」のまま開始すると正しく登録されません。
- 登録を中断するとデータは登録されません。

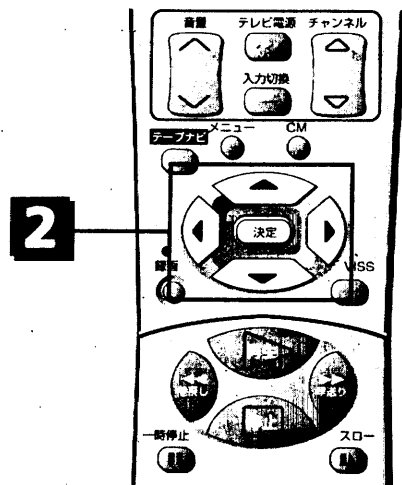


おしらせ

- データのオート登録に約10~20分かかります。
- データのオート登録が終わったテープには、昔のテープナビで付けられたテープ番号の前に*が付きます。
例) No. 1→No*1
ただし、このビデオですでにオート登録されたテープ番号と重複すると、以下ようになります。
例) No. 1→No*1-1
さらに重複する場合
No. 1→No*1-2
- オート登録を始めたときに下の画面が出た場合は、0ボタンを押して、テープNoに*が付いたテープの中からいらぬテープの登録内容を消してください(61ページ参照)。



- オート登録をすると、オート登録データの録画時間表示に約3分以内の誤差が生じます。



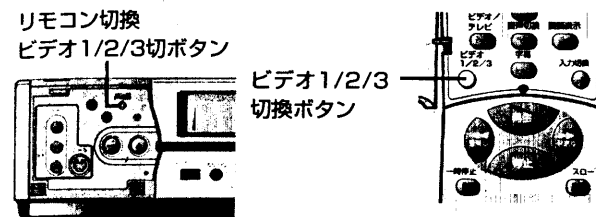
おしらせ

- テープの頭の部分でテープを入れると2の画面が出ないことがあります。このときは、1~2分再生してから、テープを出し入れしてください。
- 録画データの記録状態によっては、正しく登録されないことがあります。

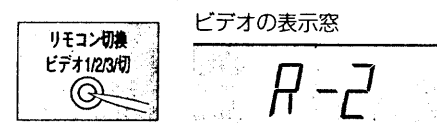
重要

- ビデオのリモコン切換ボタンを「R-OFF」にすると、リモコンをまったく受け付けなくなります。
- ビデオ側のリモコン切換ボタンとリモコン側のビデオ1/2/3切換ボタンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓でビデオのリモコンコードが点滅します。

本機を操作するとき



1 ビデオのリモコン切換ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-2」を出す



リモコン切換ボタンを押すたびに「R-1」→「R-2」→「R-3」→「R-OFF(切)」の順に切り換わります。

おしらせ

3台のビデオを操作するとき

- 本機のリモコン切換ボタンを「R-3」に合わせ、他のビデオを「R-1」または「R-2」にしてください。

2 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ2」を表示させる



3 リモコンを本機に向けて操作する

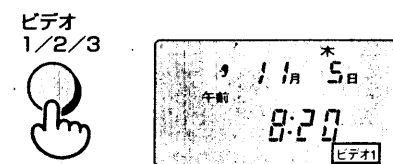
おしらせ

付属のリモコンで操作できるビデオ

- VT-6800/VT-9700/VT-17以外の日立製ワイヤレスリモコン対応のビデオ
- ビデオによっては、リモコンのタイマー予約や時計合わせができないことがあります。

もう1台のビデオを操作するとき

1 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ1」を表示させる



日立製ビデオは工場出荷時、ビデオ側のリモコン切換スイッチを「R-1」に設定してあるため、「ビデオ1」にします。

2 リモコンをもう1台のビデオに向けて操作する

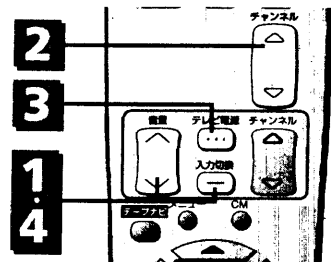
便利に使う

リモコンで他社のテレビを操作する……

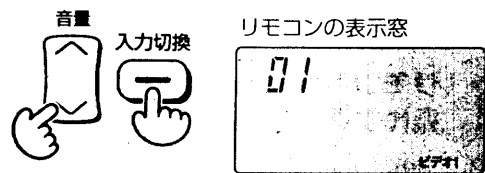
本機のリモコンで、日立製以外にも他社9社のテレビを操作できます。使い始めるとき、次のようにテレビコードを設定してください。
操作するたびに設定し直す必要はありません。

重要

お手持ちのテレビの製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かないことがあります。



1 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタンの▽側を同時に押す



工場出荷時は、リモコンの表示窓にテレビコード「01」が表示されるように設定されています。

2 チャンネルボタンを押して、テレビのメーカーに合ったテレビコードを設定する

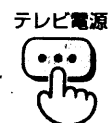


メーカー	テレビコード	メーカー	テレビコード
日立	01	サンヨー (2)	08
松下 (1)	02	シャープ (1)	09
ビクター	03	シャープ (2)	10
ソニー	04	富士通ゼネラル	11
東芝	05	NEC	12
三菱	06	松下 (2)	13
サンヨー (1)	07		

おしらせ

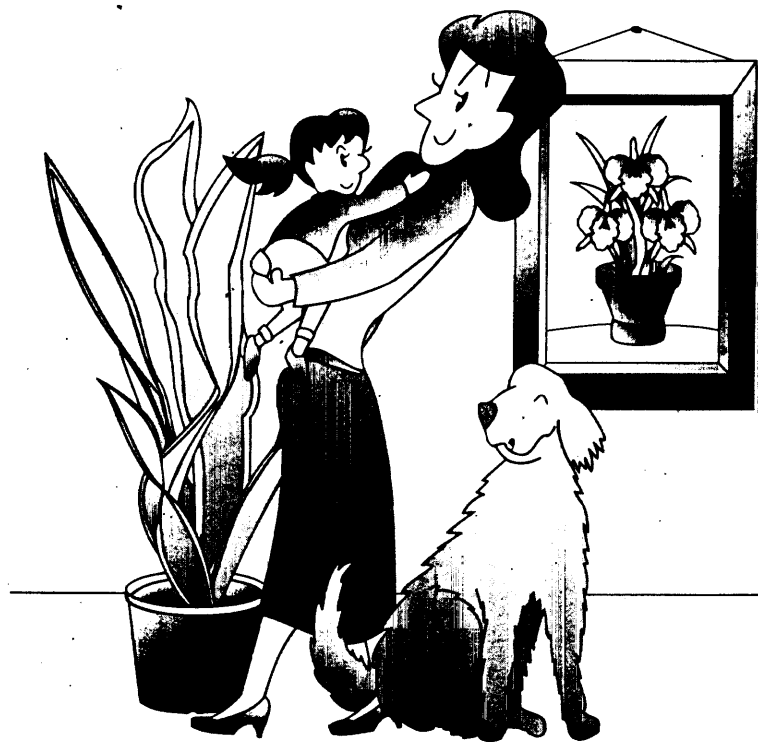
- 松下、サンヨー、シャープはテレビコードが2種類あります。松下、シャープは電源の「入/切」できるコードを選んでください。サンヨーはチャンネルボタンが正しく動くコードを選んでください。
- 数字ボタンでテレビチャンネルを選ぶことはできません。

3 テレビ電源ボタンを押す



テレビ電源ボタンを押してテレビの「入/切」ができれば、このリモコンで操作できます。

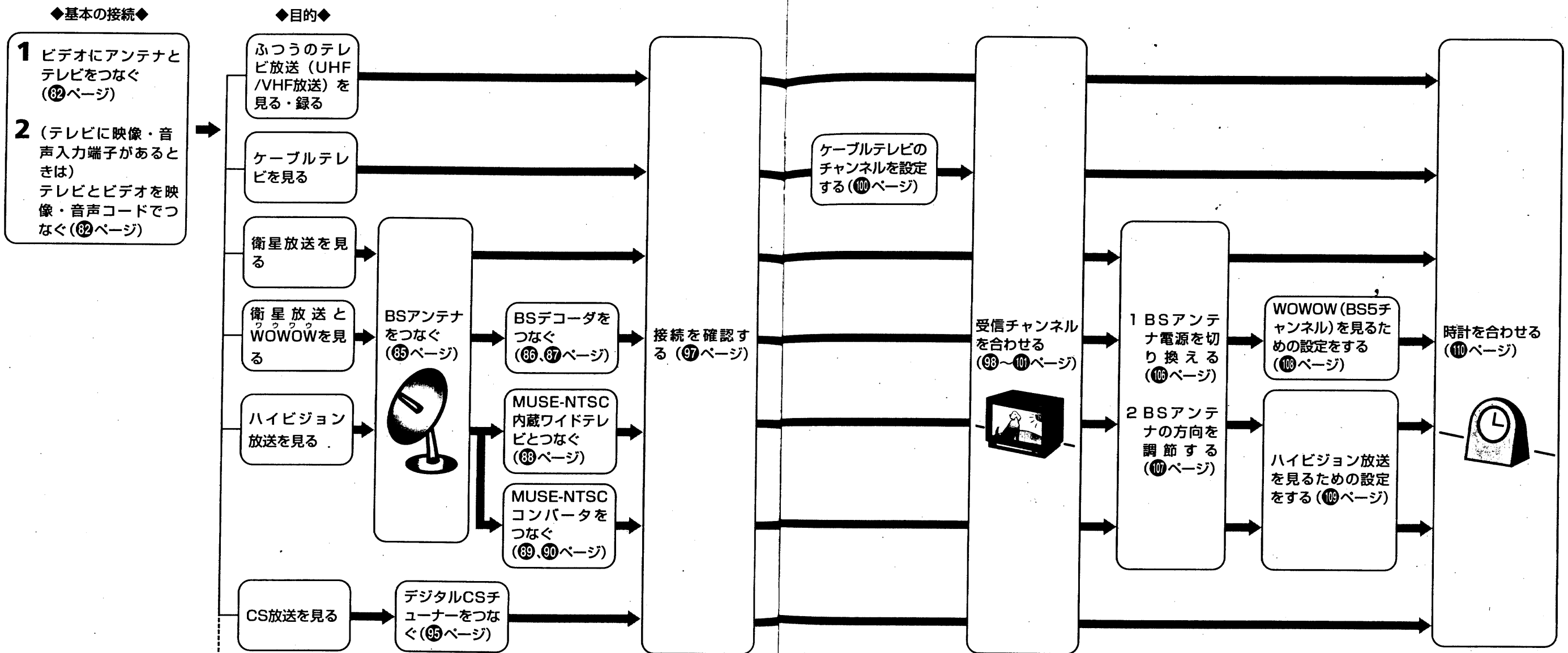
4 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタンの▽側を同時に押す



設置・準備編

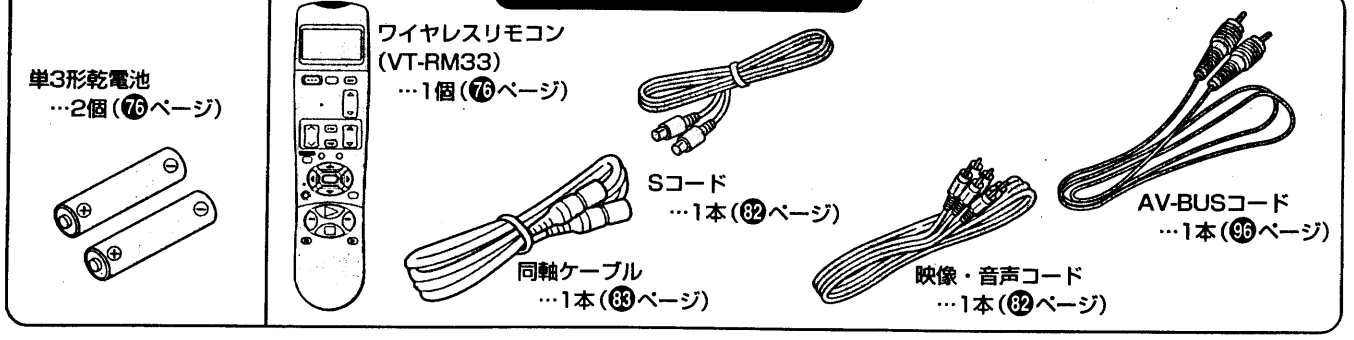
ご自分で設置するには

最初に基本の接続をしてから、目的に合った接続と準備をしてください。

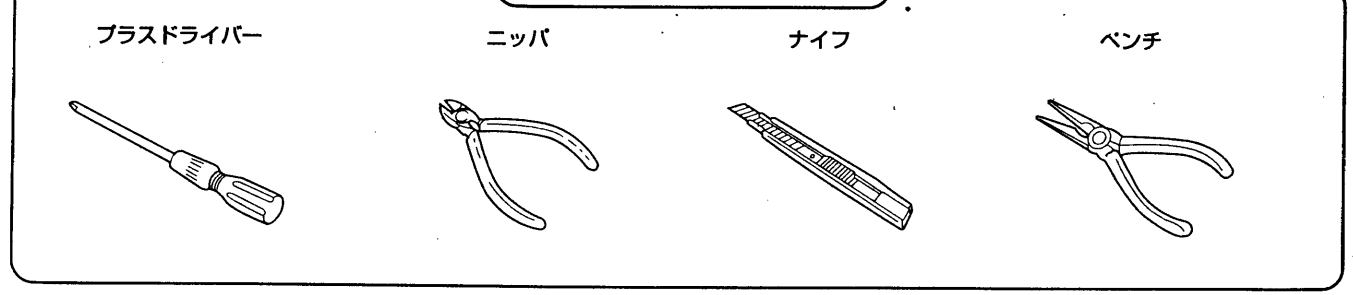


日立製AV-BUSテレビをお持ちのときは
 テレビをコントロールすることができます。詳しくは、「AV-BUSⅢ端子を使う」参照 (96ページ)。
 日立製AV-BUSⅢ端子付CSチューナーをお持ちのときは
 ビデオコントローラーなどを使わずに、デジタルCSチューナーの予約に連動してタイマー録画することができます。詳しくは、「デジタルCSチューナーをつなぐ」参照 (95ページ)。

付属品を確かめましょう



設置するときに必要な工具

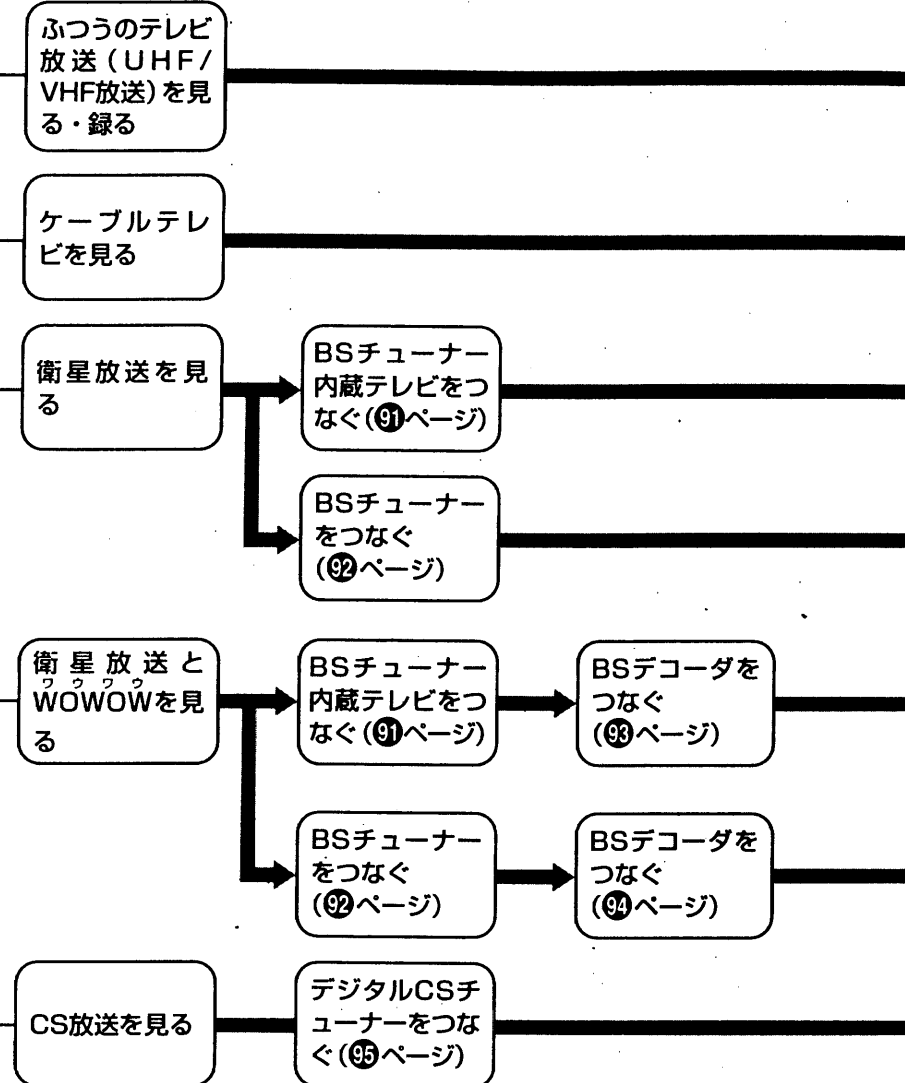


最初に基本の接続をしてから、目的に合った接続と準備をしてください。

◆基本の接続◆

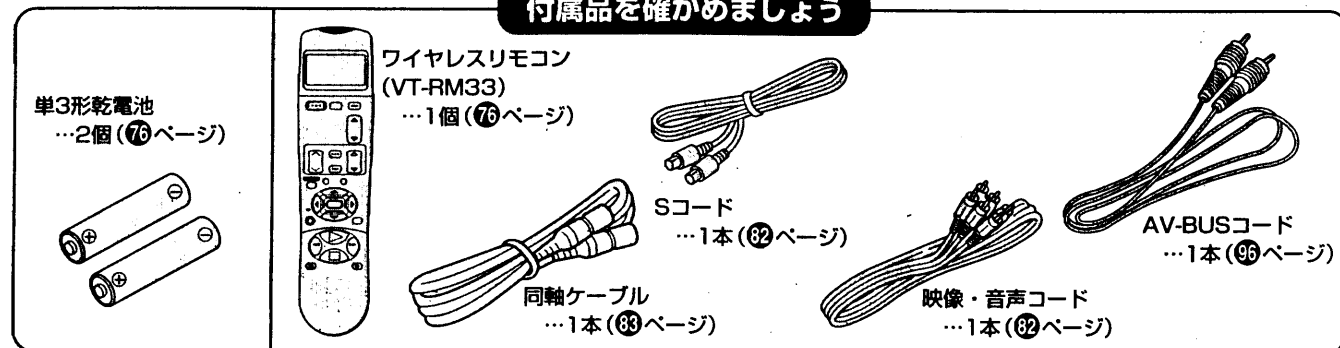
- 1 ビデオにアンテナとテレビをつなぐ (92ページ)
- 2 (テレビに映像・音声入力端子があるときは) テレビとビデオを映像・音声コードでつなぐ (92ページ)

◆目的◆

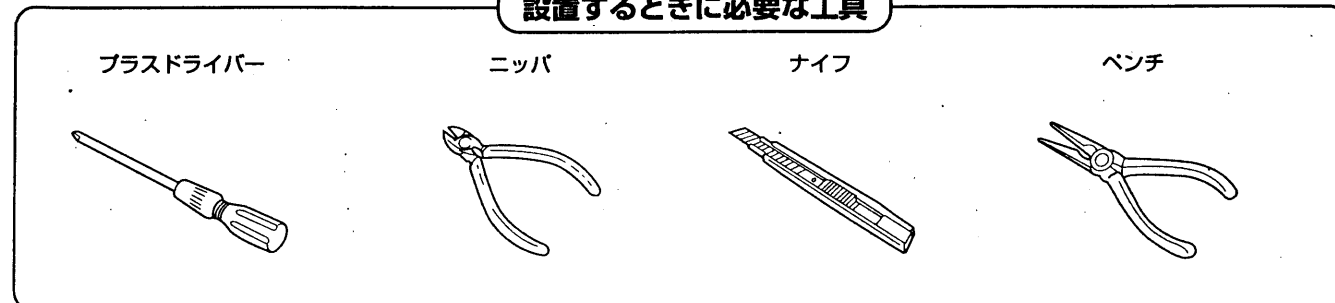


日立製AV-BUSテレビをお持ちのときは
 テレビをコントロールすることができます。詳しくは、「AV-BUSⅢ端子を使う」参照(96ページ)。
 日立製AV-BUSⅢ端子付CSチューナーをお持ちのときは
 ビデオコントローラーなどを使わずに、デジタルCSチューナーの予約に連動してタイマー録画することができます。詳しくは、「デジタルCSチューナーをつなぐ」参照(95ページ)。

付属品を確かめましょう



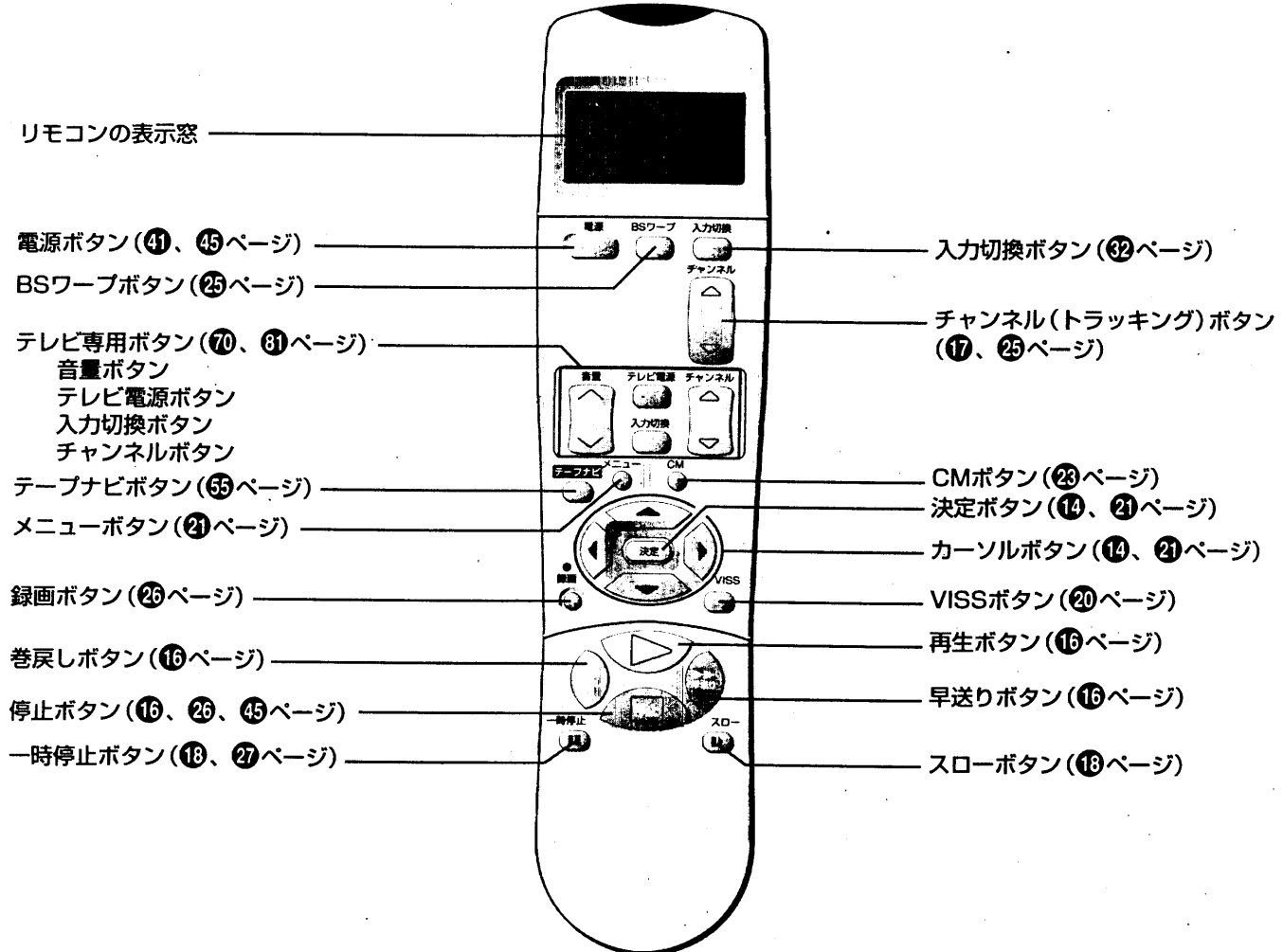
設置するときに必要な工具



各部のなまえ

()の中のページに詳しい使いかたがあります。

リモコン(ふたを開けたところ)



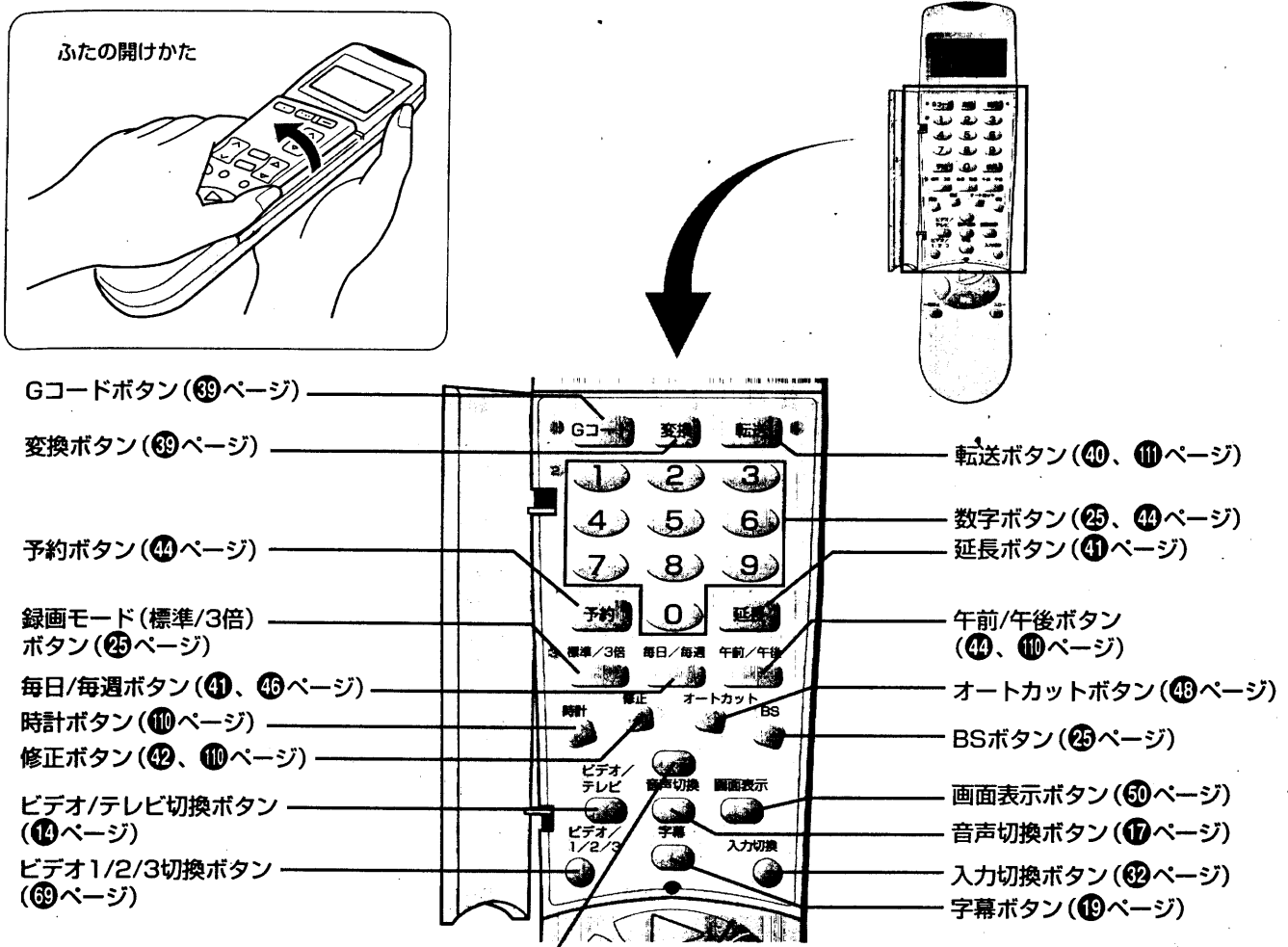
- 注意**
- 指定以外の乾電池は使わないでください。指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
 - 乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - 火の中に入れない
 - 加熱しない
 - 充電・分解しない
 - ショートさせない
 - 鍵などの金属物と接触させない
- これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

リモコンに乾電池を入れる

ビデオは主にリモコンで操作します。ご使用前に付属の乾電池を入れてください。



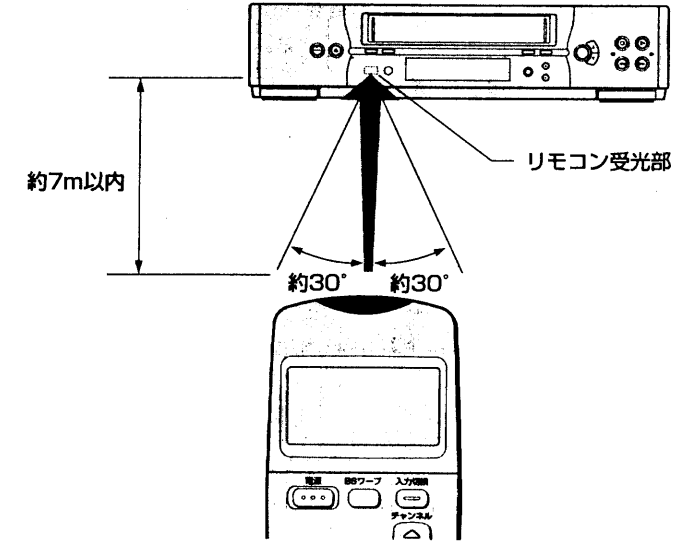
リモコン(ふたを開けたところ)



このボタンは機能しません

リモコンの操作範囲

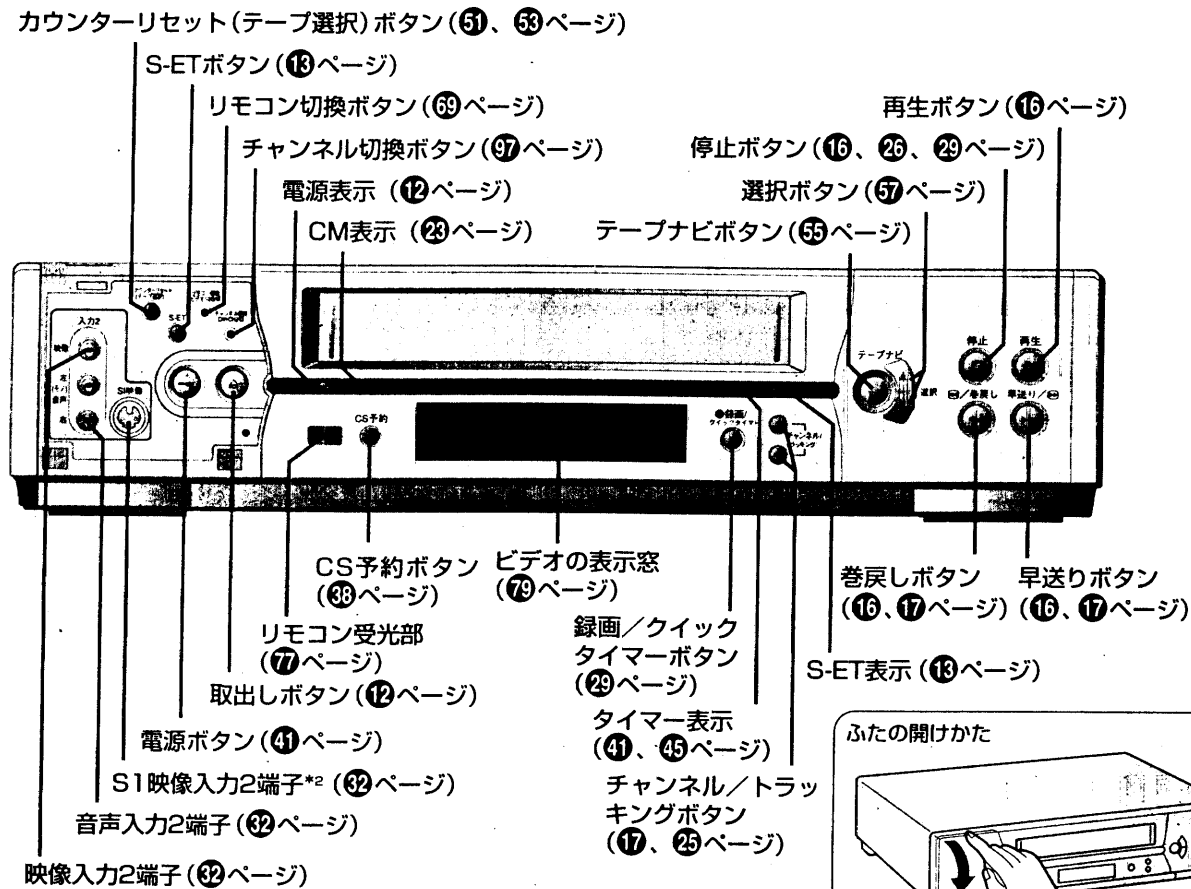
ビデオとリモコンの間に障害物がないときに、次の範囲で操作できます。



- お知らせ**
- 乾電池が消耗したとき
- ①から⑥の症状が出ます。このときは、新しい乾電池に交換してください。
 - ①リモコン操作後、表示窓に マークが出る
 - ②リモコンの到達距離が短くなったり、リモコンでビデオを操作できない
 - ③表示窓の時計表示が " --- : --- " になった
 - ④表示が薄くなったり、異常な表示が出る
 - ⑤時計が動かない
 - ⑥表示がすべて消えた
- マークについて
- 乾電池の特質上、一度点灯してもまた消灯する場合があります。
- 乾電池を交換するとき
- 古い乾電池を取りはずし、電源ボタンを10秒間押ししてから、新しい乾電池を入れてください。その後、リモコンの時計を合わせ直してください(リモコンの時計合わせは110ページ参照)。

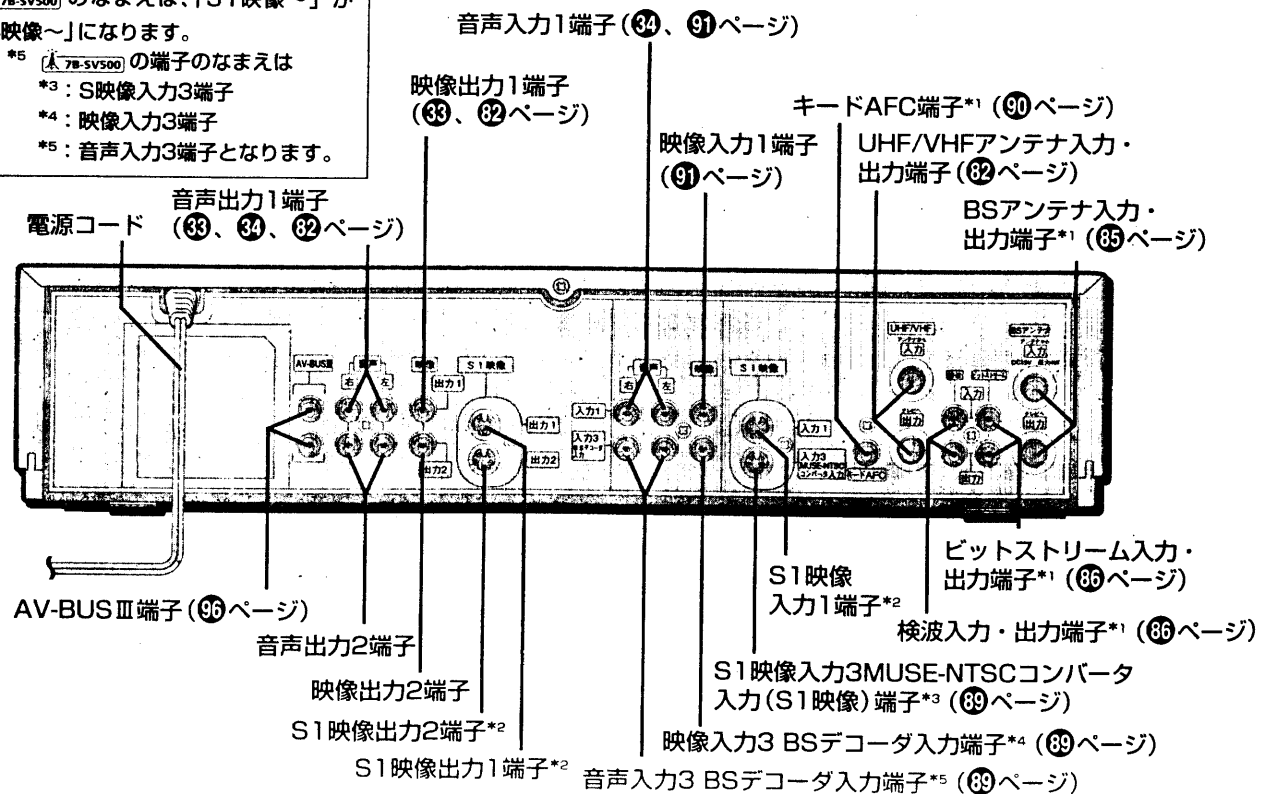
設置・準備

ビデオ(正面)

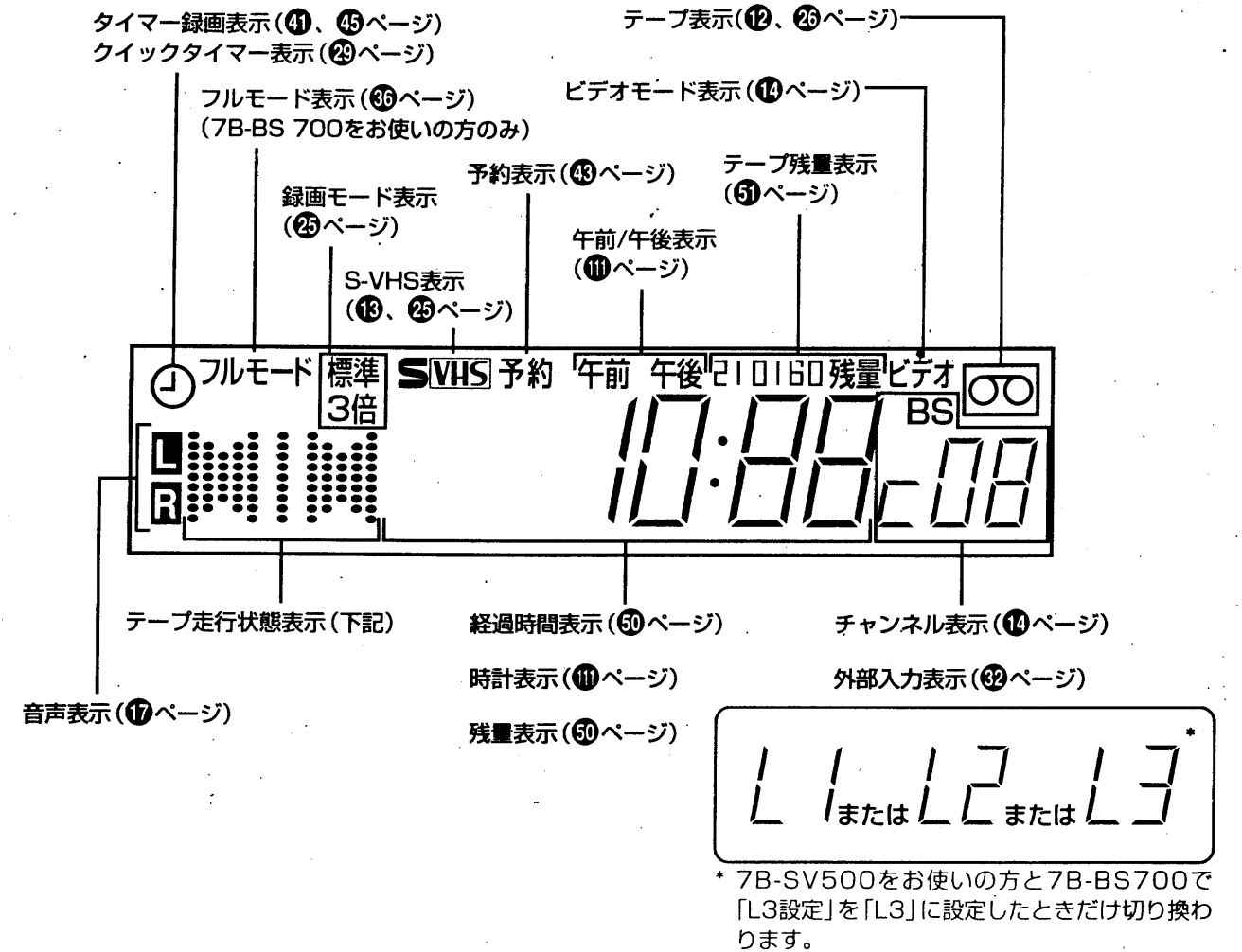


ビデオ(後面)

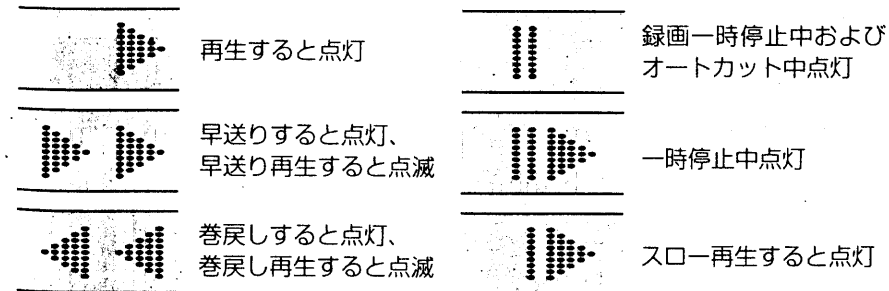
- *1 7B-BS700にのみついている端子です。
- *2 7B-SV500のなまえは、「S1映像～」が「S映像～」になります。
- *3、*4、*5 7B-SV500の端子のなまえは
*3: S映像入力3端子
*4: 映像入力3端子
*5: 音声入力3端子となります。



ビデオの表示窓



テープ走行状態表示

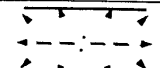
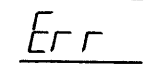




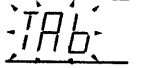
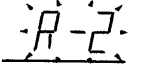
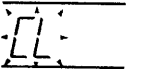


おしらせ

- 電源を切ると、表示窓は暗くなります。
- 表示窓は上記以外にもいろいろなメッセージを表示します(80ページ参照)。

表示窓のガイド表示

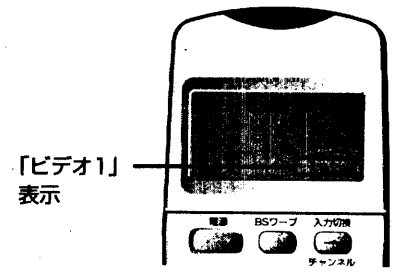
ビデオの表示窓に次のような表示が出て、ビデオの状態をお知らせします。

表示	表示が出る時	意味と処置	参照ページ
 (約5秒点滅)	タイマー予約転送時	• ビデオの時計が「—:—」になっています。時計を合わせ直してから転送してください。	110
 (約5秒点灯)	タイマー予約転送時	• リモコンをビデオに向けずに転送しています。ビデオに向けてください。	—
 (約5秒点灯)	タイマー予約転送時	• すでに8つの番組が予約されています。不要な予約を取り消してから転送してください。	47
 (約5秒点灯)	タイマー予約転送時	• 予約を受け付けました	40 43 45
 (ずっと点滅)	タイマー予約後、電源を切ったとき、または電源切で予約を転送したとき	• テープが入っていない、またはつめの折れたテープが入っています。つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	41
 (約3秒点滅)	再生、録画、早送り、巻戻しボタンを押したとき	• テープが入っていません。テープを入れてください。	—
 (約3秒点滅)	録画、ダビング時に録画ボタンを押したとき	• つめの折れたテープが入っています。つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	26
 (または、R-1、R-3、R-OFF) (約3秒点滅)	リモコンのボタンを押したとき	• ビデオのリモコン切換ボタンの設定が、リモコンの表示窓の設定と違っていません。ビデオのリモコン切換ボタンを押して、リモコンの表示窓の設定(ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3)と合わせてください。	69
 (約3秒点滅)	電源を入れたとき	• ビデオのヘッドが汚れましたので、ヘッドを清掃してください。CL表示を消すには、ヘッド清掃後、電源を切り、ビデオ本体のチャンネル▲ボタンを押してください。なお、CL表示は表示後約5時間録画、再生すると自動的に消えます。	8

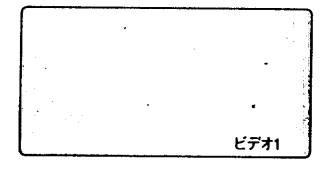
リモコンの使いかた

付属のリモコンは、ビデオ(本機)とテレビを操作できます。
1985年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどを操作できます。
また、日立製以外の9社のテレビも操作できます(詳しくは70ページを参照)。

ビデオを操作する



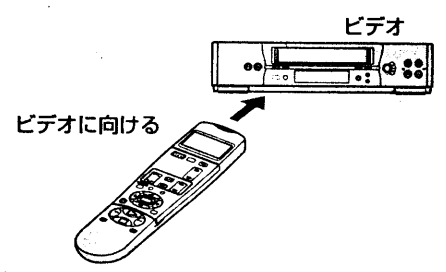
1 リモコンの表示窓に「ビデオ1」が出ていることを確かめる



「ビデオ2」や「ビデオ3」が出ているときは、リモコンのふたをあけてビデオ1/2/3ボタンを押してください。

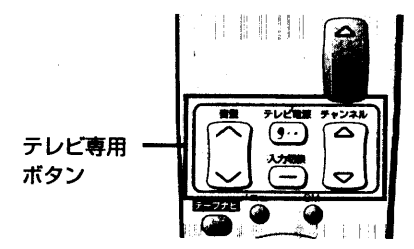
おしらせ
工場出荷時は、リモコンの表示窓に「ビデオ1」が表示されているときビデオの操作ができるよう、設定してあります。設定を変えて使うには、69ページをご覧ください。

2 リモコンをビデオに向けて、ボタンを押す

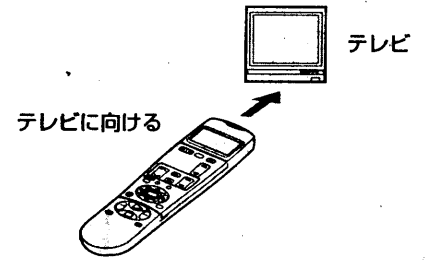


ビデオとリモコンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓にビデオのリモコンコードが数秒間点滅します。
このときは、ビデオのリモコン切換ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-1」を出してください(69ページ参照)。

テレビを操作する



リモコンをテレビに向けて、テレビ専用ボタンを押す



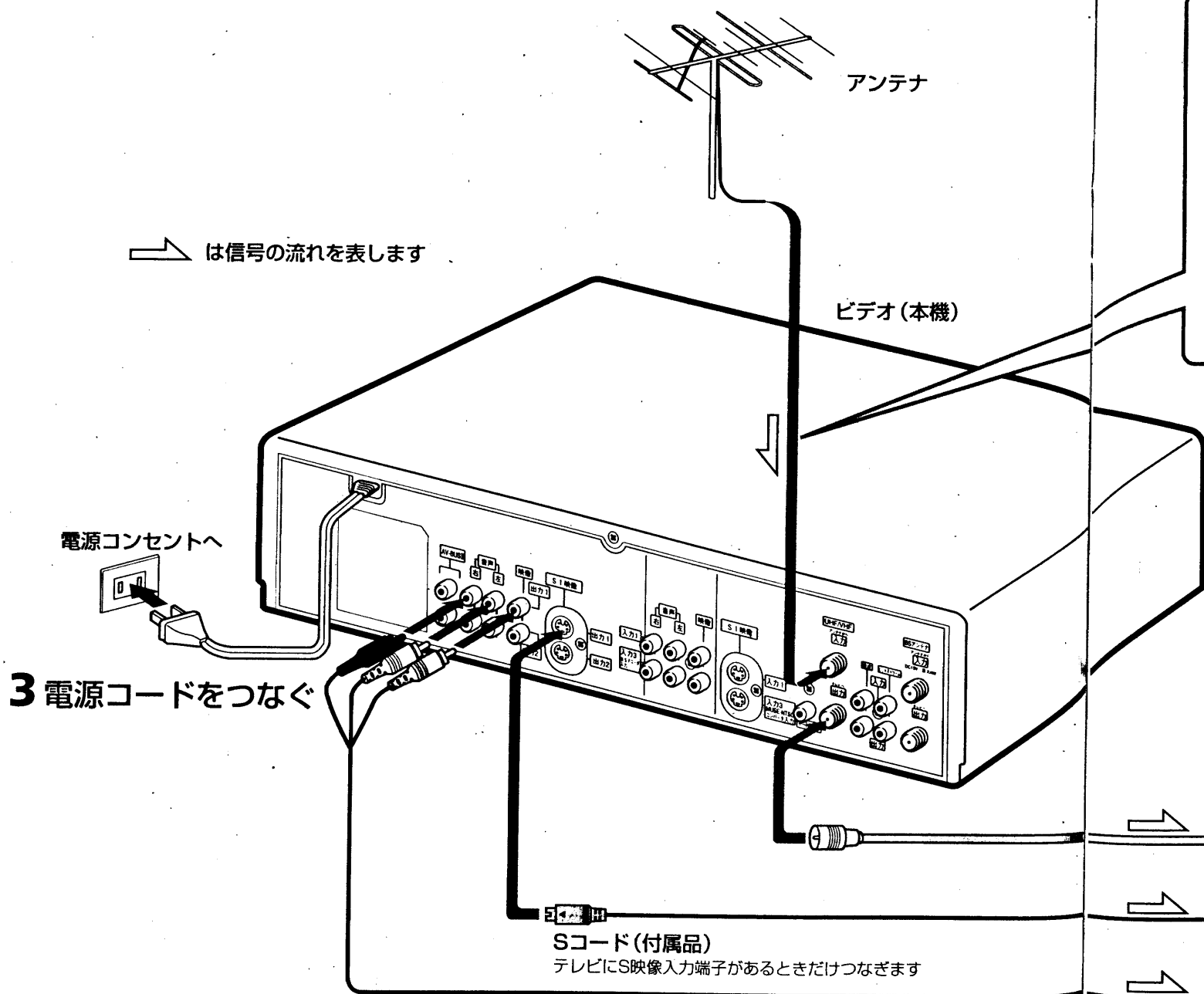
テレビ専用ボタン
・テレビ電源ボタン
・入力切換ボタン
・チャンネルボタン
・音量ボタン

設置・準備

アンテナとテレビをつなぐ

テレビにつながっているアンテナ線ははずし、はずしたアンテナ線とテレビをビデオにつなぎます。
アンテナ線やテレビのアンテナ端子の種類によって、つなぎかたが異なります。

→ は信号の流れを示します



3 電源コードをつなぐ

電源コンセントへ

Sコード(付属品)
テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます

映像・音声コード(付属品)
テレビに映像・音声入力端子があるときだけつなぎます

1 アンテナ線をつなぐ

アンテナ線の種類によってつなぎかたが異なります。

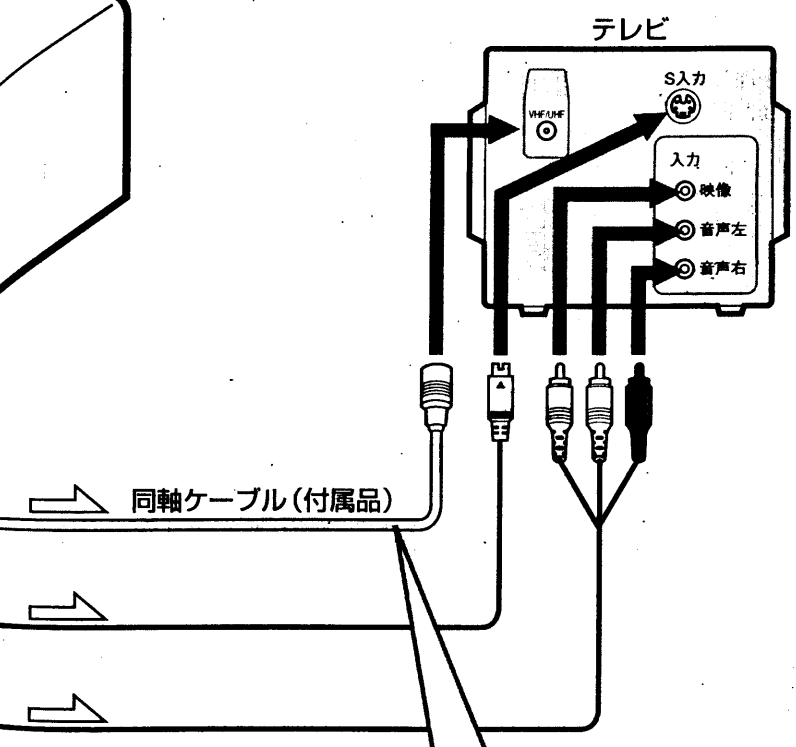
- UHF/VHF混合 またはVHF単独のアンテナ線 (プラグ付き)
- VHFとUHFが別々のとき
- VHF単独のアンテナ線 (先バラ)
- UHF単独のアンテナ線 (フィーダー線)

そのままつなぎます 混合器を取り付けます マッチングアダプターを取り付けます (くわしくは84ページ㉔) マッチングアダプターを取り付けます

接続に使う部品

必要に応じてお使いください。

- 同軸ケーブル (付属品)
- マッチングアダプター VT-BF11 086 (別売品)
- 分波器VT-BF11 096 (別売品)
- 混合器VT-MIX1 (別売品)
- ブースター(別売品) 電波が弱い地域でテレビの映りが悪いときにおすすめします。



ご注意 分波器をお使いの場合は、UHF放送しか受信しない方も必ず、VHF、UHFの両方の端子に接続してください。

2 テレビのアンテナ端子とつなぐ

付属の同軸ケーブルを使ってつなぎます。アンテナ端子の種類によってつなぎかたが異なります。

- UHF/VHF端子のとき
- UHF/VHF端子が別々のとき
- VHFとUHF端子が別々でVHF端子がネジ式のとき

そのままつなぎます 分波器を取り付けます (くわしくは84ページA、B) 分波器を取り付けます (くわしくは84ページA、B) プラグを切る

設置・準備

ケーブル先端の加工の仕方や、分波器やマッチングアダプターに同軸ケーブルを取り付ける方法を説明します。

A 分波器の先端の加工

- 1 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る
黒いビニール線
約12 mm
- 2 網線を折り返す
網線
12 mm
- 3 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る
白いビニール線
約8 mm
- 4 芯線を出す
芯線
10 mm 4 mm 8 mm

B 分波器(別売品、VT-BF11096)に同軸ケーブルを取り付ける

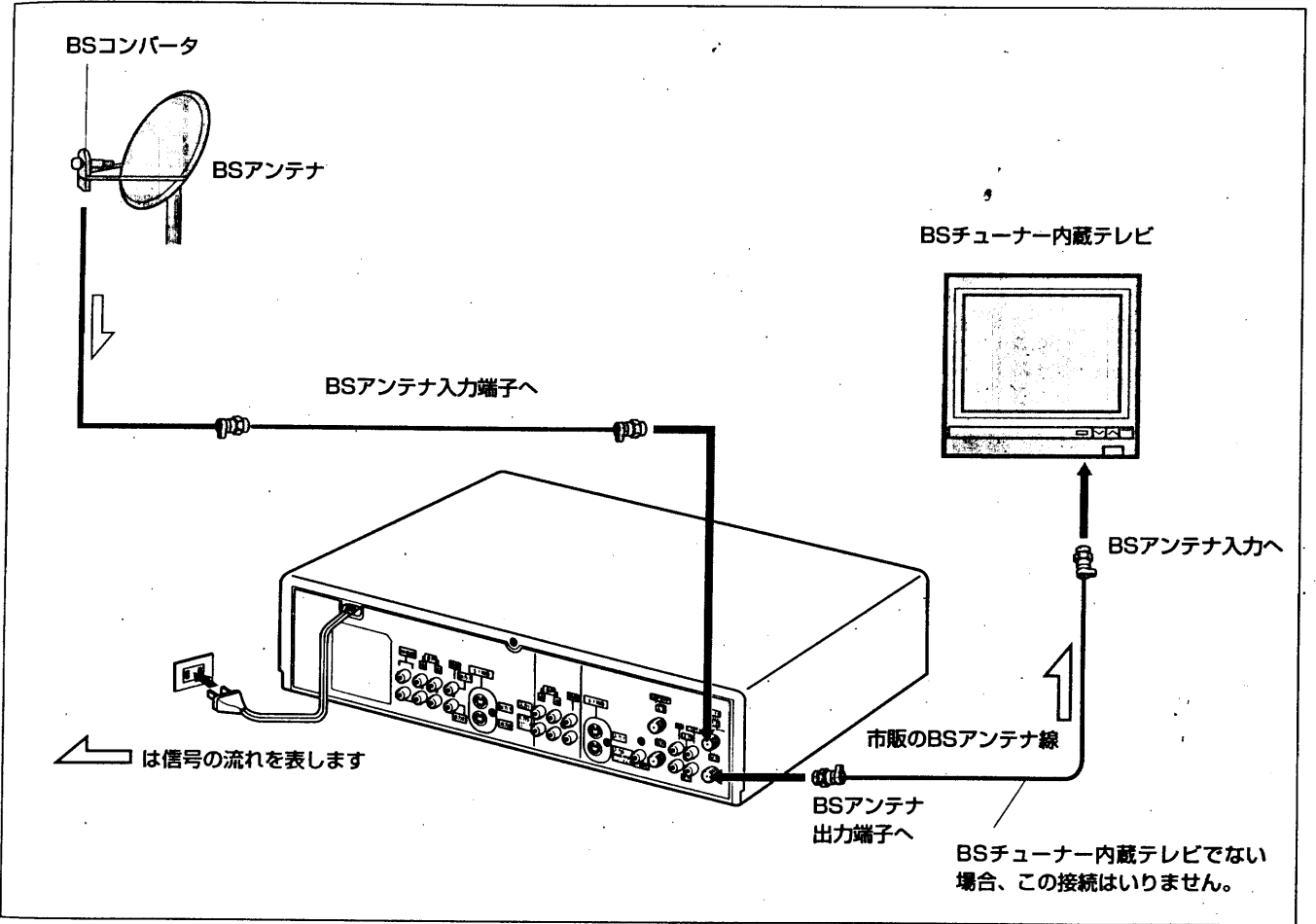
- 1 つめを開きながらふたを外す
つめ
ふた
- 2 同軸ケーブルの芯線を差し込み、しっかりと取り付ける
芯線
ペンチでしめる
- 3 ふたを元通りに付ける

C マッチングアダプター(別売品、VT-BF11086)に同軸ケーブルを取り付ける

- 1 つめを開きながらふたを外す
- 2 接続線を端子から外し、プラスチックにはさむ
端子から外す
接続線
プラスチック
- 3 同軸ケーブルを差し込み、しっかりと取り付ける
芯線をはさみ込んで巻き付ける
端子
ペンチでしめる
- 4 ふたを元通りに付ける

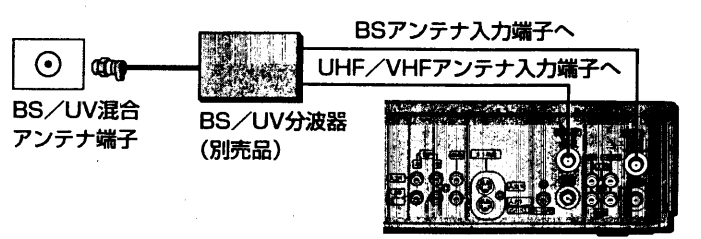
重要

- 衛星放送は電波が微弱なため、アンテナやBSコンバータの正確な調整が必要です。できるだけ、販売店へ据付けを依頼することをおすすめします。
- BSアンテナを接続するときは、安全のため必ずビデオの電源を切ってください。



■ マンションなど共聴アンテナを使うとき

衛星放送とUHF/VHF放送が1本の線にまとめて、各部屋に送られていることがあります。この場合は、BS/UV分波器(別売品)が必要です



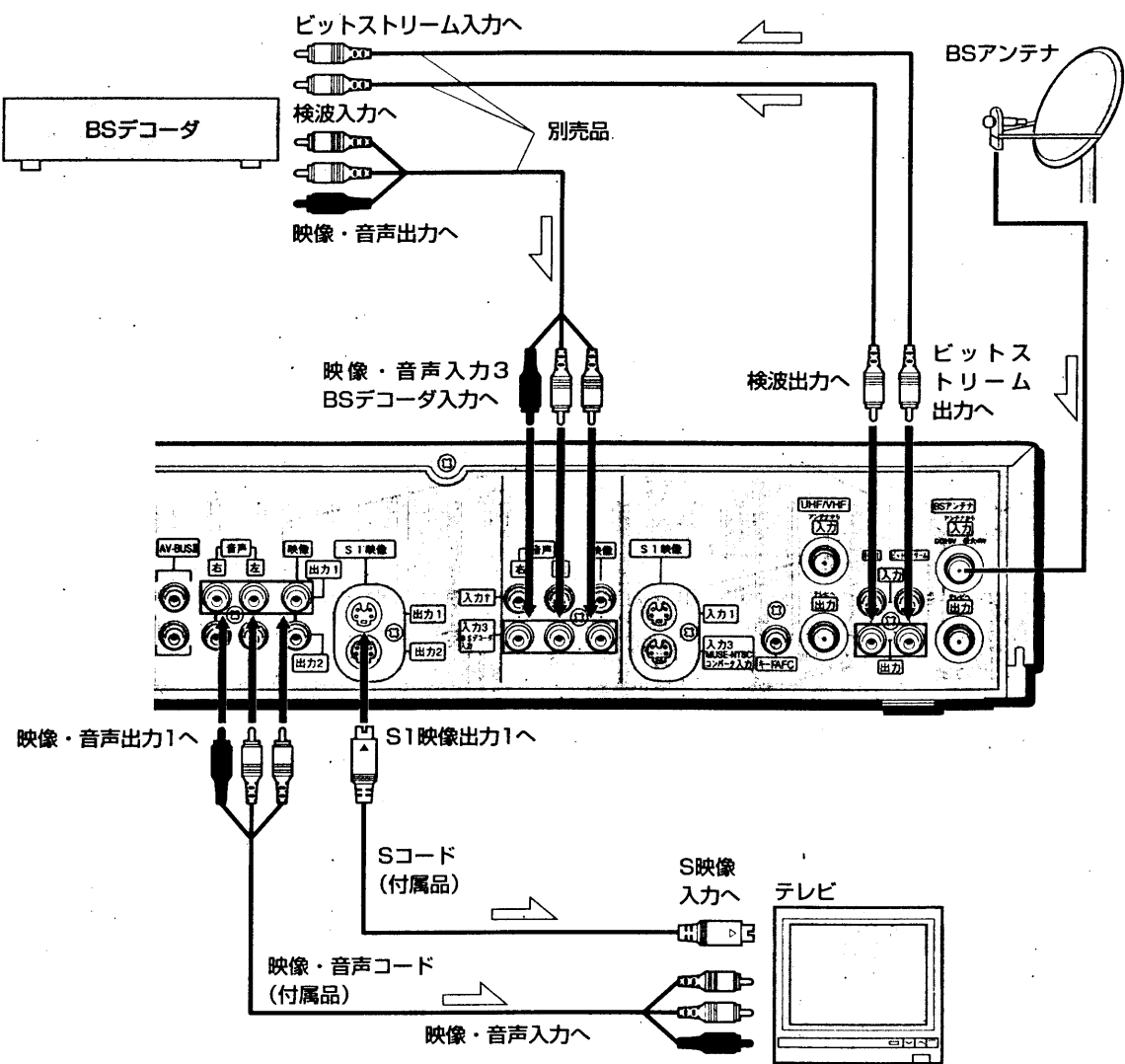
7B-BS700 BSデコーダをつなぐ

有料放送のWOWOW (BS5チャンネル) を見るには、JSB (日本衛星放送株式会社) との受信契約と専用のBSデコーダが必要です。

重要

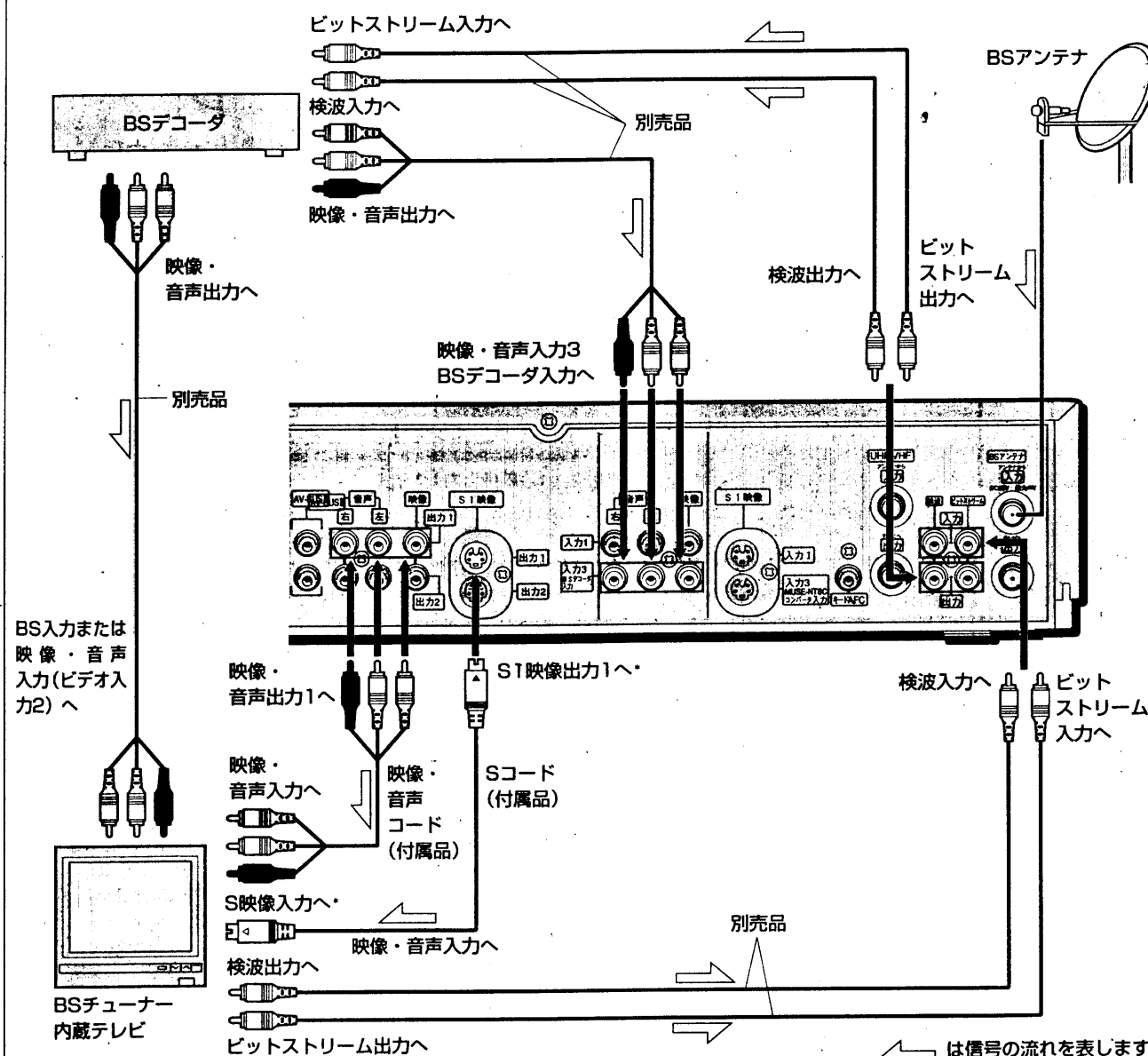
•VHF/UHFアンテナの接続については82~83ページ、BSアンテナの接続については85ページをご覧ください。

ふつうの(テレビBSチューナーを内蔵していないテレビ)との接続



は信号の流れを表します
*テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。

BSチューナー内蔵テレビとの接続



*テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。

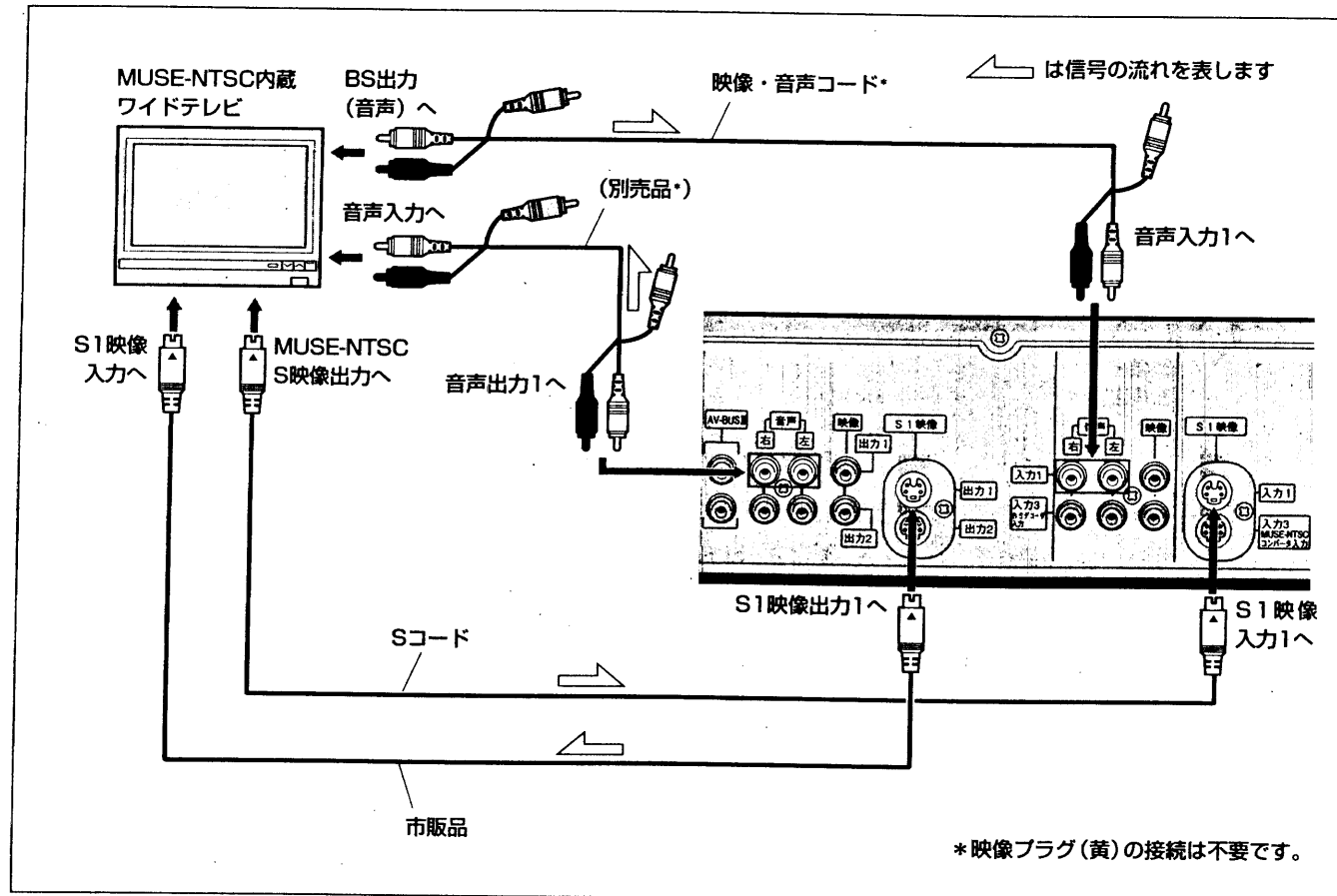
設置・準備

7B-BS700 MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをつなぐ

このビデオをMUSE-NTSC内蔵ワイドテレビとつなぐと、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を録画・再生できます。

重要

•アンテナ線の接続については82～83ページをご覧ください。



お知らせ

ハイビジョン放送について

- このビデオは、ハイビジョン放送(画面比率16:9)を画面比率4:3に変換してテープに記録します。
- 記録したテープを再生したとき、テレビで16:9に変換することができます。
- MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビは、BSチューナーを内蔵しています。テレビの説明書をよくお読みください。

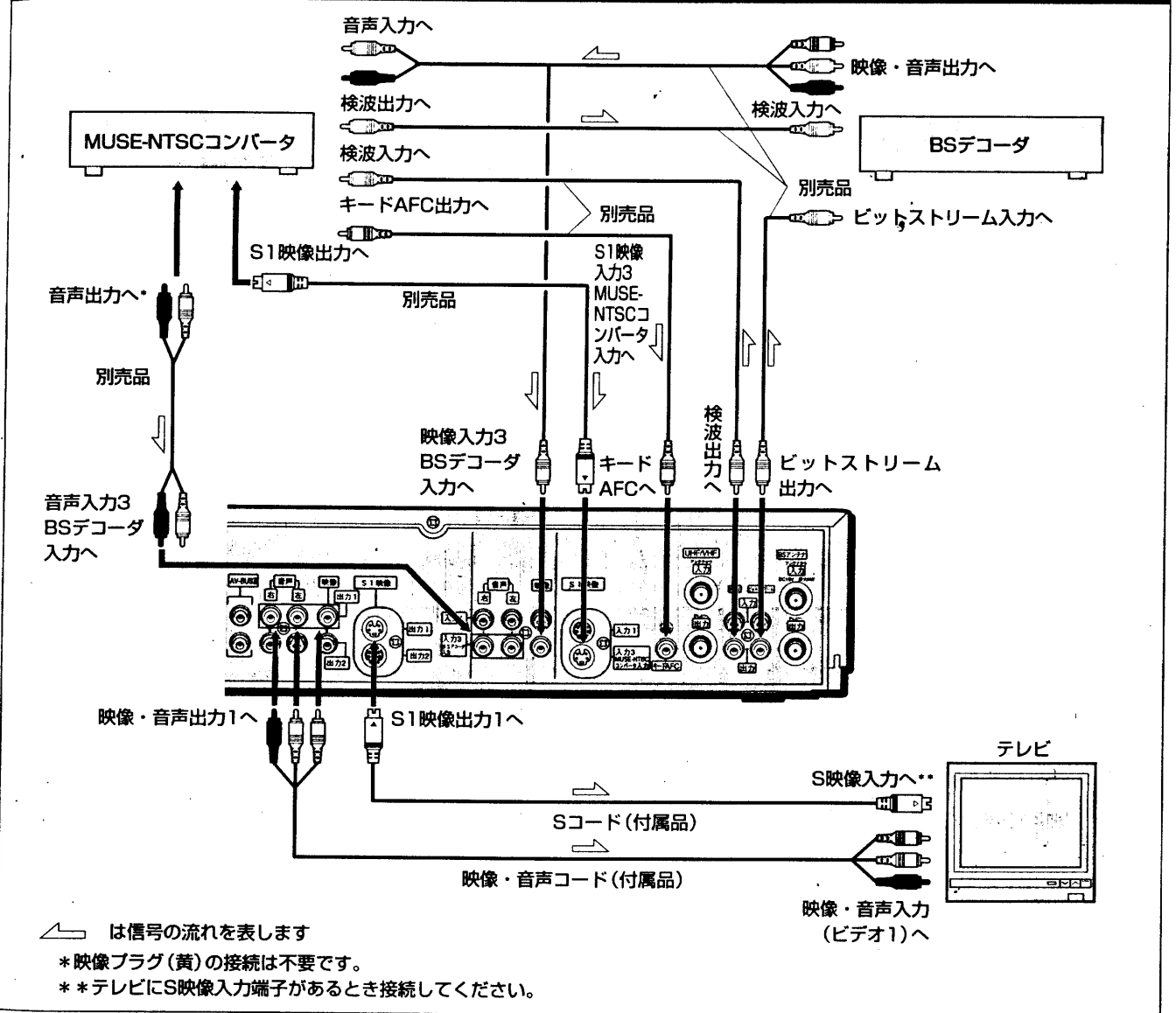
7B-BS700 MUSE-NTSCコンバータをつなぐ……

このビデオにMUSE-NTSCコンバータとBSデコーダの両方をつなぐとハイビジョン放送(BS9チャンネル)とWOWOW(BS5チャンネル)の録画・再生ができます。

重要

- VHF/UHFアンテナの接続については82～83ページ、BSアンテナの接続については85、106～107ページをご覧ください
- 109ページをご覧くださいになり、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見るための設定をしてください。

ふつうのテレビ(BSチューナーを内蔵していないテレビ)との接続

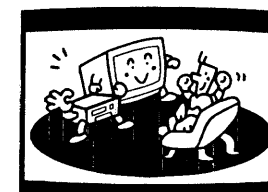
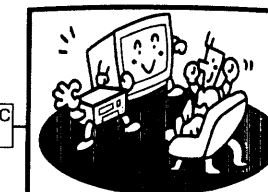


映像の画面比率について

MUSE-NTSCコンバータを使うと、ハイビジョン放送を3つの画面に変換してお持ちのテレビで楽しむことができます。

ハイビジョン放送(MUSE)
[画面比率16:9]

フルモード[画面比率4:3] ワイドモード[画面比率4:3] ズームモード[画面比率4:3]



ハイビジョン画像がすべて映ります。縦方向にのびた絵になります。

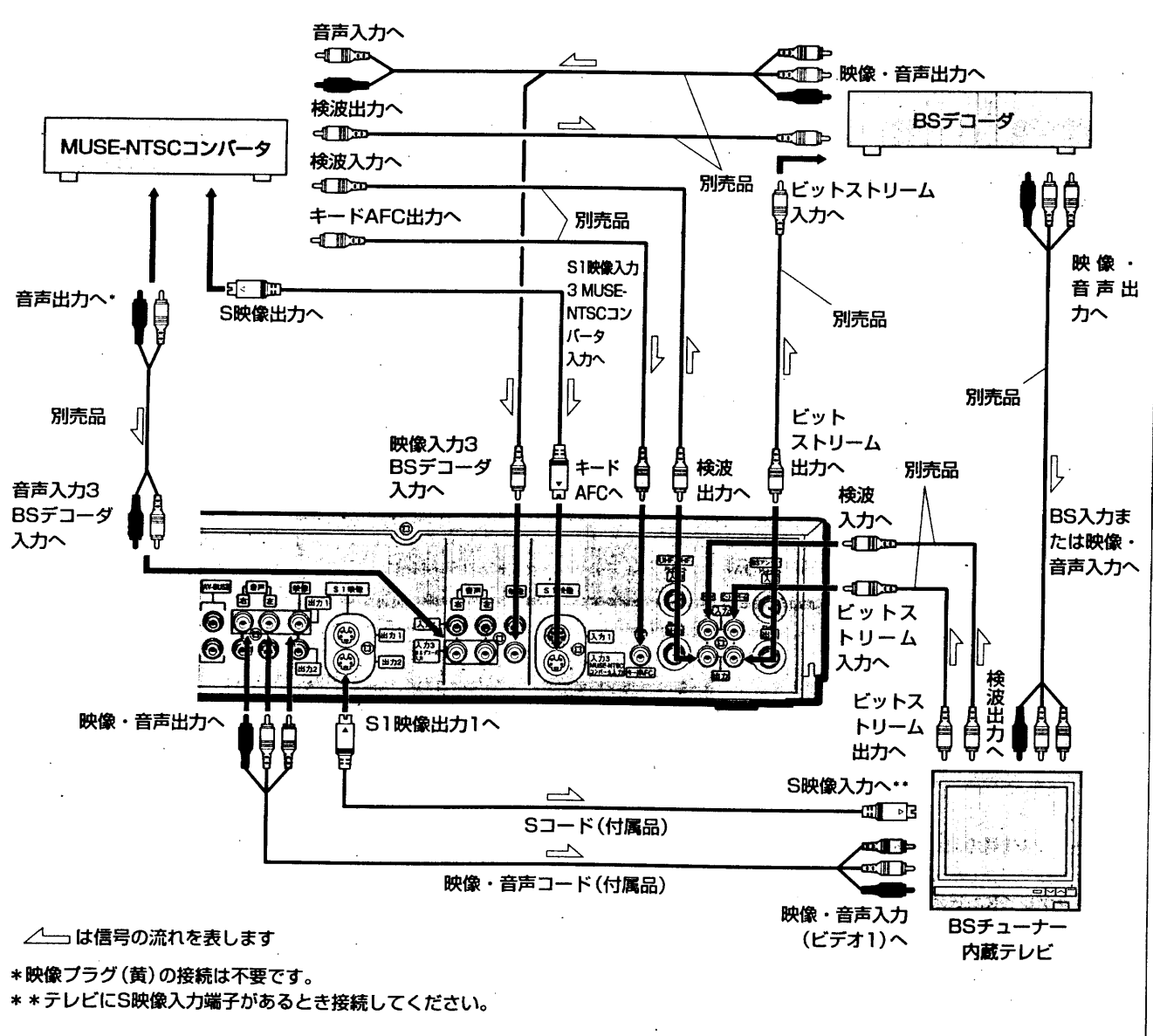
ハイビジョン画像がすべて映ります。上下に黒い帯がでます。

画像の中央部分が映ります。

7B-BS700 MUSE-NTSCコンバータをつなぐ ……

BSチューナー内蔵テレビとつなぐと、BS放送を見ながら他のBS放送を録画することができます。たとえばWOWOW (BS5チャンネル)を見ながらNHKのBS放送を録画することができます。

BSチューナー内蔵テレビとの接続

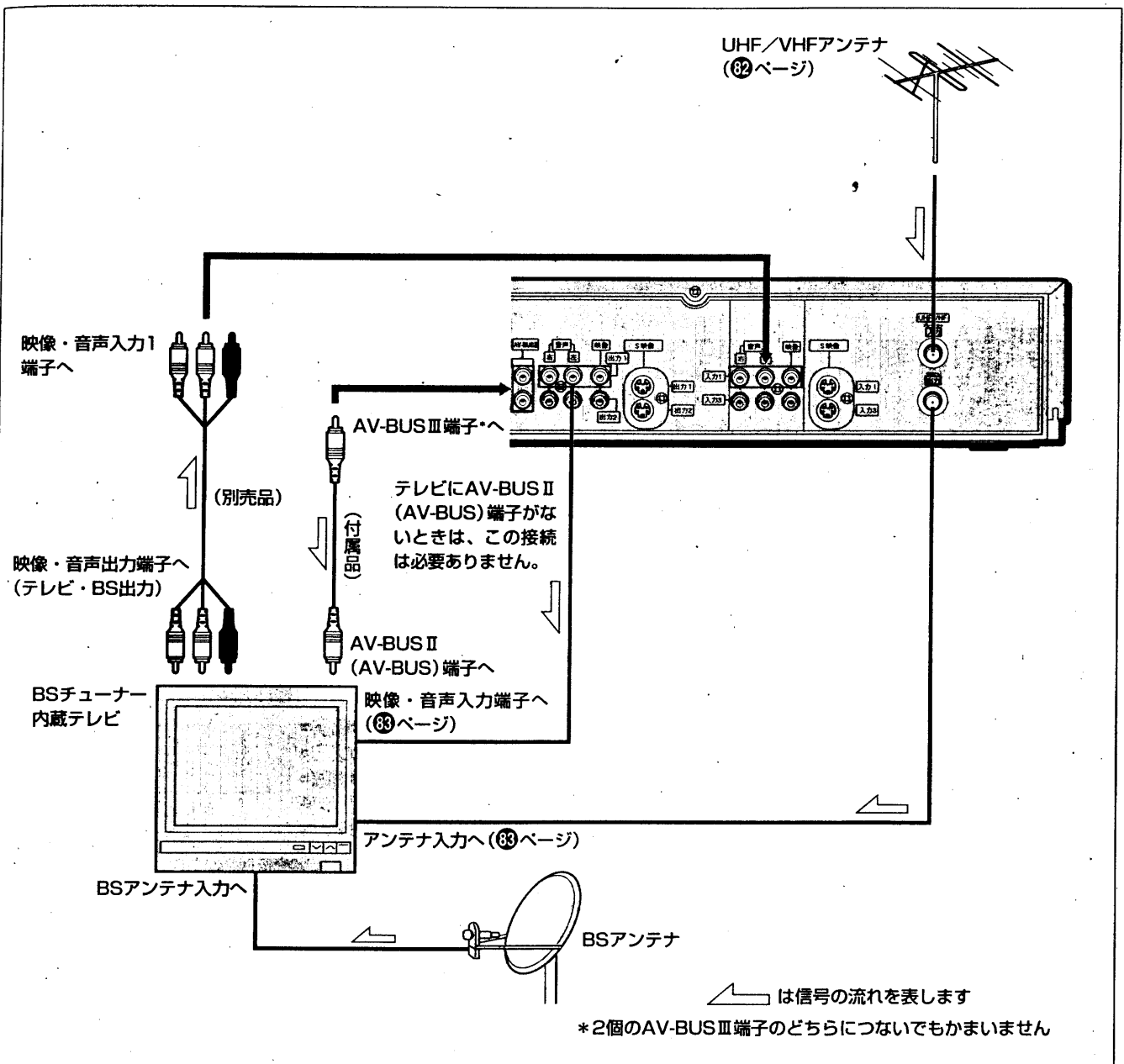


7B-SV500 BSチューナー内蔵テレビをつなぐ ……

衛星放送を録画するときは、BSチューナー内蔵テレビをつないでください。テレビが日立製で、AV-BUS II (またはAV-BUS)端子がついているときは、ビデオの操作でテレビをコントロールすることができます。

重要

- AV-BUS III端子を使うときは、ビデオ前面のチャンネル切換ボタンを押して必ず「RF-OFF」を選んでください。(97ページ参照)。
- AV-BUS III端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。
- 衛星放送の録画のしかたは、97ページをご覧ください。



設置・準備

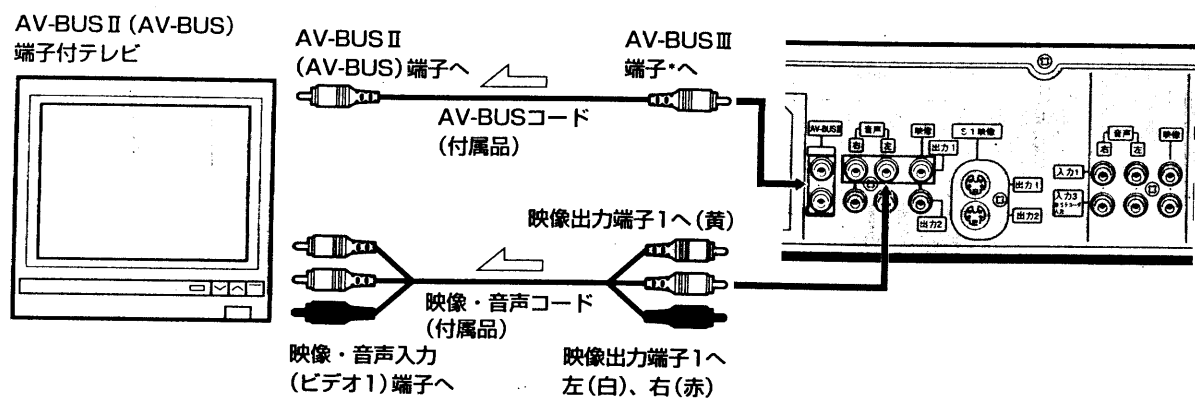
AV-BUSⅢ端子を使う……………

日立製のテレビやデジタルCSチューナーには、AV-BUSⅢ、AV-BUSⅡ (AV-BUS) 端子がついているものがあります。これらの端子とビデオのAV-BUSⅢ端子をつなぐと、ビデオの操作に応じてテレビの電源や入力を自動的に切り換えることができます。

重要

- AV-BUSⅢ端子を使うときは、ビデオのチャンネル切換ボタンを必ず「RF-OFF」にしてください(97ページ参照)。
- AV-BUSⅢ端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。

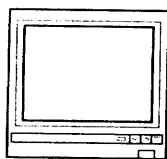
AV-BUSⅡ端子付テレビをつなぐ



*2個のAV-BUSⅢ端子のどちらにつないでもかまいません。

テレビをコントロールする

- 1 テレビの電源を「入」または「スタンバイ」にする



- 2 ビデオを操作する

ビデオの操作	テレビの操作
再生を始める	
ビデオ テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ	テレビの電源が自動的に入り、入力切換が「ビデオ」になる
ビデオ テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶ	入力切換が自動的に「テレビ」になる
ビデオの電源を切る	(テレビの電源は切れません)

テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

おしらせ

このビデオには「見テ・録」機能はありませんので、AV-BUS端子付きテレビの見テ・録ボタンを押しても、ビデオは動作しません。

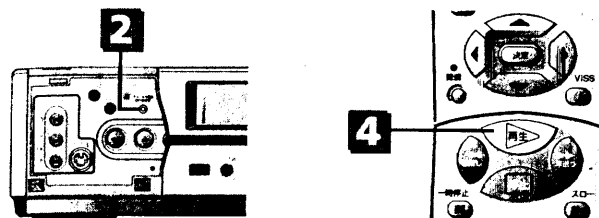
ビデオとテレビの接続を確認する……

接続が終わったら、正しく接続できたか確認してください。

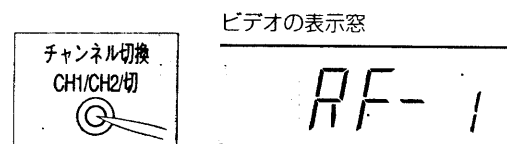
重要

テープが入っていると正しく接続できたか確かめることができません。テープを取り出してから操作を始めてください。

アンテナ線だけでテレビとビデオをつないでいるとき

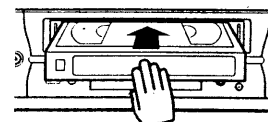


- 1 テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル(1または2)を選ぶ
- 2 チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、テレビで選んだチャンネルを出す



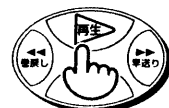
- ボタンを押すたびに「RF-1」(1チャンネル) → 「RF-2」(2チャンネル) → 「RF-OFF」(切)の順に出ます。
- ここで選んだチャンネルがビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)です。

- 3 録画済みのテープを入れる



自動的に電源が入ります。

- 4 再生ボタンを押す



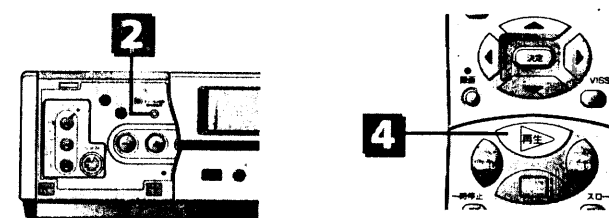
再生が始まります。映像と音声が出れば、正しく接続されています。

おしらせ

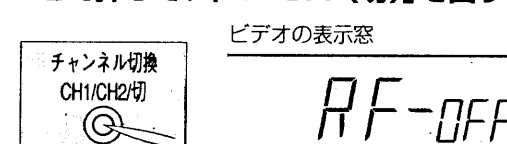
ビデオの再生画が映らないとき

- アンテナ線の接続を確かめてください(92ページ)。
- テレビのビデオチャンネルを合わせ直してください。

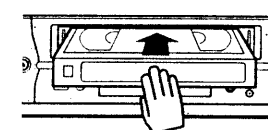
映像・音声コードを使ってテレビとビデオをつないでいるとき



- 1 ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする
ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。
- 2 チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、「RF-OFF(切)」を出す

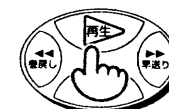


- 3 録画済みのテープを入れる



自動的に電源が入ります。

- 4 再生ボタンを押す



再生が始まります。映像と音声が出れば正しく接続されています。

おしらせ

ビデオの再生画が映らないとき

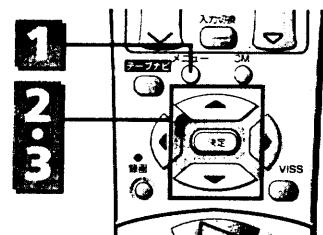
映像・音声コードの接続を確かめてください(92ページ参照)。

受信チャンネルを合わせる

お住いの地域により(たとえば東京と大阪、あるいは北海道と九州では)、受信できるチャンネルが違います。このため、お住いの地域に合わせてビデオの受信チャンネルを合わせる必要があります。オートチャンネル設定を行うと、お住いの地域で受信できるチャンネルがすべて、自動的に設定できます。

- テレビで**
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで**
 - ビデオの電源を入れる

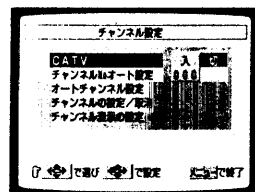
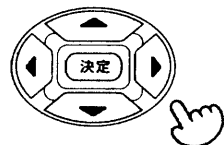
チャンネルを設定する



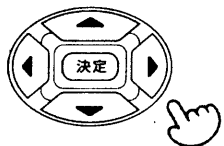
1 メニューボタンを押す



2 ▼ボタンを押して「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



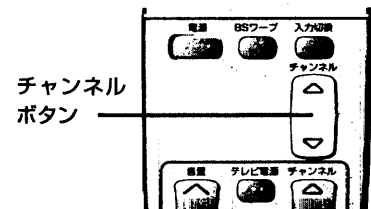
- 受信できたチャンネルを自動的に記憶していきます(約2分かかります)。
- 記憶が終わると、「チャンネル設定」画面に戻ります。
- メニューボタンを押すとテレビの受信画面になります。

おしらせ

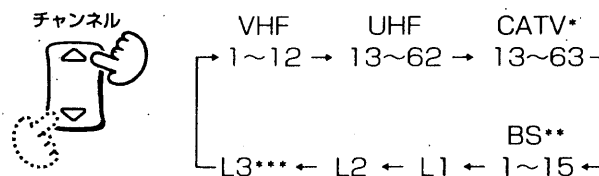
工場出荷時は、下記のチャンネルが受信できるように調整されています。

- 7B-BS700: VHF放送の1~12チャンネルと衛星放送の1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル
- 7B-SV500: VHF放送の1~12チャンネル

チャンネルが映るかどうか確認する



チャンネルボタンを押して、チャンネルを確認する



- * CATVチャンネルを設定したとき表示される(100ページ)
- ** 7B-BS700をお使いの方のみ
- *** 7B-SV500をお使いの方と7B-BS700で「L3設定」を「L3」に設定したときだけ切り換わります。

チャンネルボタンの△側を押すと上記の矢印の順にチャンネルが出ます。▽側を押すと、逆の順にチャンネルが出ます。

- 放送のないチャンネルが設定されているとき
電波状態によっては、放送のないチャンネルが設定されることがあります。不要なチャンネルは飛ばすことができます(101ページ参照)。
- チャンネルの表示がテレビ番組表の数字と合わないとき
チャンネルの表示を、テレビ番組表と同じ数字に変えることができます(99ページ参照)。

おしらせ

チャンネルが1つも設定されなかったり、画がきれいに映らないときはアンテナ線の接続を確かめてください(62ページ参照)。

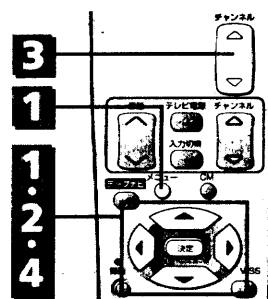
重要

- BS放送やケーブルテレビのチャンネル表示を変えることはできません。
- 録画、再生中に外部入力(L1、L2またはL3)が選んであるときは、2の操作をしても「チャンネル表示の設定」画面を出すことはできません。

チャンネルの表示を変える

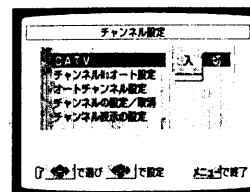
お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。このとき、次のようにして、数字を合わせることができます。

ふたを閉じたところ



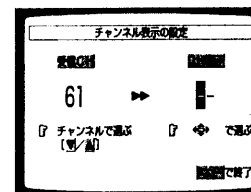
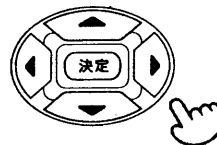
例えば...チャンネル表示「60CH」を「4CH」に変えたいとき

1 99ページの1、2の操作で「チャンネル設定」画面を出す

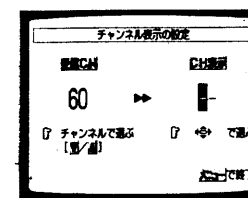


- BS放送受信中は「チャンネル表示の設定」の代わりに「BSレベル デコーダ設定」が表示されます。BS放送以外のチャンネルに切り換えてください。

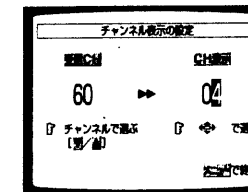
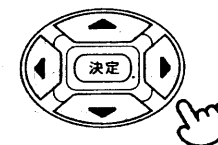
2 ▼、▲ボタンで「チャンネル表示の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 変えたいチャンネルを表示させる



4 カーソルボタンで表示したい数字を選ぶ



- ▲を押すと大きい数字になり、▼を押すと小さい数字になります。CH表示の左側の数字を選んだら▶ボタンを押してください。カーソルが右側に移動します。右側の数字も選んでください。
- 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、3、4を繰り返してください。
- 修正するときは、◀または▶ボタンで修正したい数字を選び、▲または▼ボタンで正しい数字を選んでください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

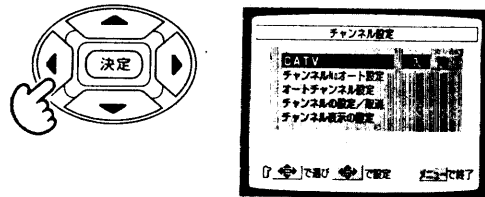
ケーブルテレビをお使いになるとき

ケーブルテレビの受信契約について
ケーブルテレビを受信するには、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との加入手続きが必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、アダプターが必要になります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。ケーブルテレビの受信はサービスの行われている地域のみ受信可能です。

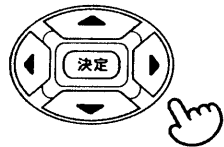
ケーブルテレビのチャンネルを設定する

1 99ページの**1**、**2**の操作で「チャンネル設定」画面を出す

2 ◀ボタンを押して「CATV」を「入」にする



3 ▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



VHFチャンネル(1~12)
→UHFチャンネル(13~62)
→CATVチャンネル(C13~C63)の順で、CATVも設定されます。

ケーブルテレビチャンネルを設定したときにリモコンの0~9ボタンでUHF放送の13~62チャンネルを選ぶには

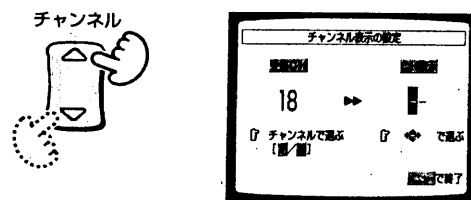
ケーブルテレビチャンネルを設定したとき、チャンネルボタンを使うと全部のチャンネルが選局できますが、リモコンの0~9ボタンで13~63チャンネルを選ぶとケーブルテレビが選局され、UHF放送の13~62チャンネルは選局できなくなります。

リモコンの0~9ボタンで全部のチャンネルを選局するには、前ページの**1**~**4**の操作で、UHF放送のチャンネル表示を、1~12チャンネルの空いているチャンネルの数字に変えてください。

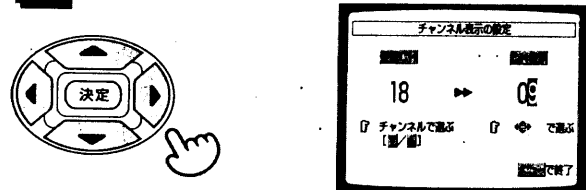
例えば…UHF放送の18チャンネルの表示を、空きチャンネル9に変える

1 99ページの**1**、**2**の操作で「チャンネル表示の設定」画面を出す

2 チャンネルボタンでUHF18チャンネルを選ぶ



3 カーソルボタンで9チャンネルを選ぶ



- ▲を押すと大きい数字になり、▼を押すと小さい数字になります。CH表示の左側の数字を選んだら▶ボタンを押してください。カーソルが右側に移動します。右側の数字も選んでください。
- 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、**2**、**3**を繰り返してください。
- 修正するときは、◀または▶ボタンで修正したい数字を選び、▲または▼ボタンで正しい数字を選んでください。

4 メニューボタンを押す

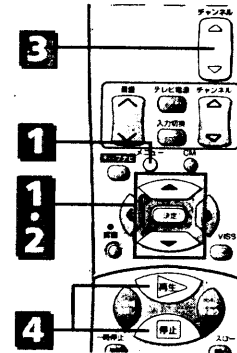
これで、0ボタン、9ボタンと押すと、UHF18チャンネルが選局できます。

おしらせ

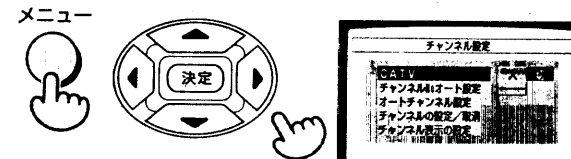
- お住いの地域によっては、0~9ボタンで全部のチャンネルを選局できないことがあります。
- ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき
- 「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送のタイマー録画はできません。
- UHF放送の番組をタイマー録画するときは、「ケーブルテレビのチャンネルを設定したときにリモコンの0~9ボタンでUHF放送の13~62チャンネルを選ぶには」で変更したチャンネル番号で予約してください。

チャンネルを飛ばす/元に戻す

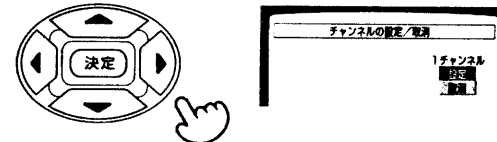
オートチャンネル設定をすると、放送のないチャンネルや、電波が弱いチャンネル、妨害が入るチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛ばしたり、元に戻したりすることができます。チャンネルを飛ばすときは、あらかじめ不要なチャンネルをメモしておく、便利です。



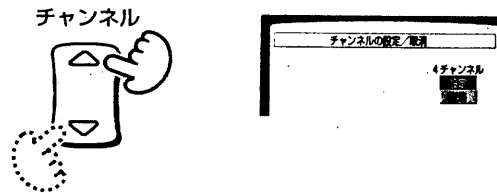
1 メニュー画面を出し、メニューから「チャンネル設定」を選び決定ボタンを押す



2 ▼、▲ボタンでチャンネル設定/取消を選び決定ボタンを押す

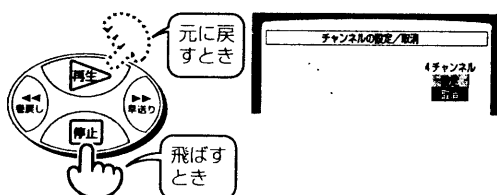


3 飛ばしたいチャンネル、または元に戻したいチャンネルを選ぶ



L1、L2、L3チャンネルを飛ばすときまたは元に戻すときは、入力切換ボタンを押して、L1、L2、L3を選んでください。

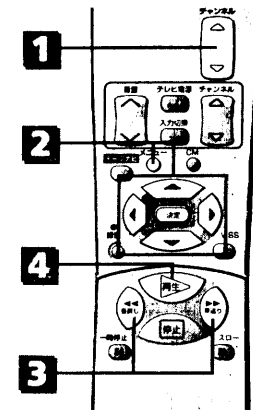
4 停止ボタン、または再生ボタンを押す



- 続けて他のチャンネルも飛ばすときは、**3**、**4**を繰り返します。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

チャンネルを微調整する

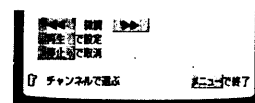
オートチャンネル設定のあとで受信状態を微調整することができます。



1 映りが悪いチャンネルを選ぶ

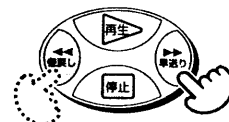


2 「チャンネル設定/取消」画面を出す



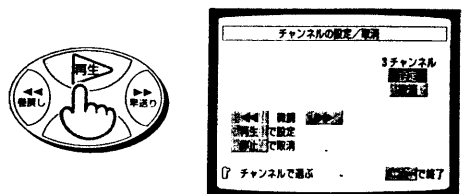
左段の**1**、**2**の操作をしてください。

3 画像を見ながら、早送りまたは巻き戻しボタンで調節する



一度、早送りまたは巻き戻しボタンを押すと画像が出ます。画像が最もよく映るように調節してください。

4 再生ボタンを押す



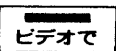
- 続けて他のチャンネルも微調整したいときは、**1**~**4**を繰り返してください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

重要

- BSアンテナ、テレビ、ビデオが正しく接続されているか確かめてください。
- BSアンテナをつないでから、BSアンテナ電源を「入」にしてください(95ページ参照)。
- BSアンテナの据付けについては、BSアンテナの取扱説明書をご覧ください。



- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)



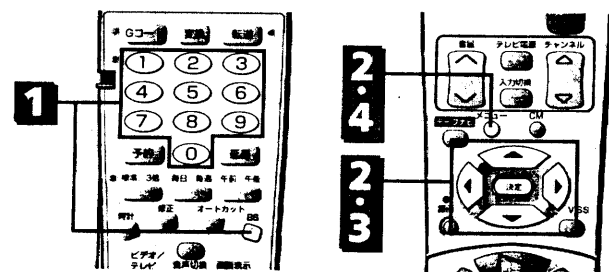
- ビデオの電源を入れる

BSアンテナ電源を切り換える

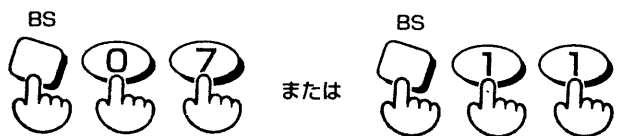
BSアンテナ電源の切替は、BSコンバータへの電源供給(+15V)をコントロールするための設定です。接続に合わせてBSアンテナ電源を切り換えてください。

ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ

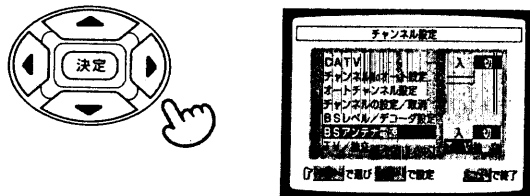


1 BS7かBS11チャンネルを選ぶ



2 98ページの1、2の操作で「チャンネル設定」画面を出す

3 ▼、▲ボタンで「BSアンテナ電源」を選び、◀、▶ボタンで「入」または「切」にする



工場出荷時は、「BSアンテナ電源」は「切」に設定されています。

BSアンテナ電源	BSアンテナの接続	電源供給
入	このビデオ専用のBSアンテナを接続しているとき	ビデオの電源が切れても、常にBSコンバータに電源が供給される
切	テレビ共同受信設備(マンションなど)のアンテナ引き込み線を接続しているとき	このビデオからはBSコンバータに電源を供給しない

おしらせ

1台のBSアンテナを他の機器と共有しているときは、本機のBSアンテナ電源の切り換えを「入」にしたら、他のBS受信機は、「切」に設定してください

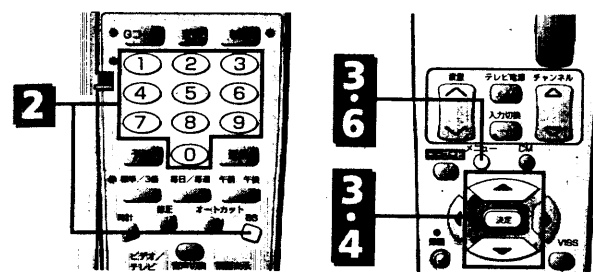
4 メニューボタンを押す

BSアンテナの方向を調整する

BSアンテナの向きは、正確な調整が必要です。できるだけ据付けは販売店に依頼することをおすすめします。ご自分で据付けたときは次のように調整してください。

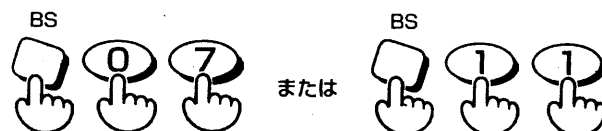
ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ

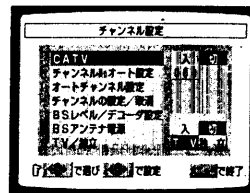


1 BSアンテナ電源を正しく切り換える(106ページ参照)

2 BS7かBS11チャンネルを選ぶ



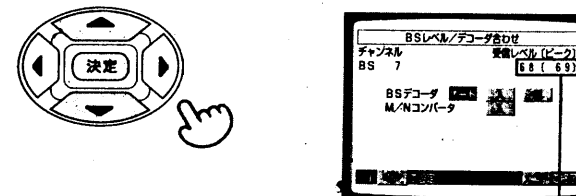
3 98ページの1、2の操作で「チャンネル設定」画面を出す



おしらせ

BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「BSレベル/デコーダ設定」の項目の代わりに「チャンネル表示の設定」が出ます。BSチャンネルを選んでください。

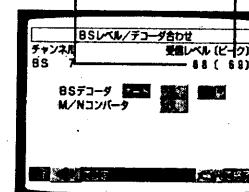
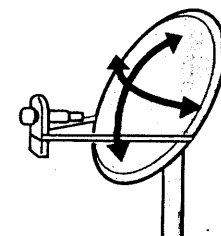
4 ▼、▲ボタンで「BSレベル/デコーダ設定」を選び、決定ボタンを押す



BSアンテナの受信レベルが表示されます。

5 アンテナの向きを調整する

この数字がピーク値と同じかそれ以上になるように向きを調節する



- テレビの映りを見ながら、数値が最大になるように調整してください。BS信号を受信すると画像が映ります。一度上下、左右いっぱいアンテナを動かして受信レベルのピーク値を見つけ、その位置に合わせるのがコツです。
- 上のイラストの受信レベルは、説明のための数字です。

おしらせ

アンテナ受信レベルについて

- 受信レベルはアンテナの大きさや種類、また雨や雪などの気象条件に影響を受け、数値は時間によって増えたり、減ったりすることがあります。画面がきれいに映るように調整すれば大丈夫です。
- アンテナによっては、オートチャンネル設定したあと微調節をしないと、映像がきれいに映らないことがあります。99ページを参照のうえ、微調節をしてください。

6 メニューボタンを押す

重要

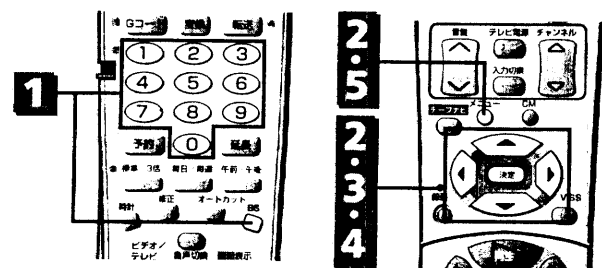
「BSデコーダ」[入]を選んだときは、必ずBSデコーダの電源を入れてください。BSデコーダの電源が切れていると、BSデコーダを「入」に設定したチャンネルを見ることが出来ません。

WOWOW(BS5チャンネル)を見るための設定

本機にBSデコーダを接続してBSチャンネルを選ぶと、スクランブルが解除された映像を見ることができます。もし、画像が乱れたり、きれいに映らないときは、次の設定をしてください。

ふたを開けたところ

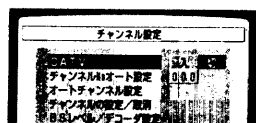
ふたを閉じたところ



1 BSチャンネルを選ぶ



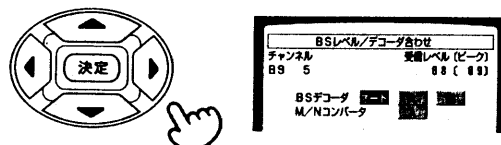
2 98ページの1、2の操作で「チャンネル設定」画面を出す



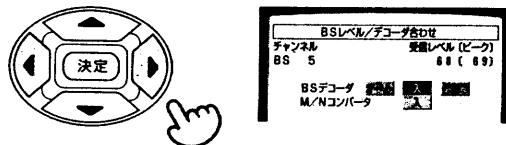
おしらせ

BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「BSレベル/デコーダ設定」の項目の代わりに「チャンネル表示の設定」が出ます。BSチャンネルを選んでください。

3 ▼、▲ボタンで「BSレベル/デコーダ設定」を選び、決定ボタンを押す



4 ◀、▶ボタンを押して「BSデコーダ」を「入」にする



5 メニューボタンを押す

おしらせ

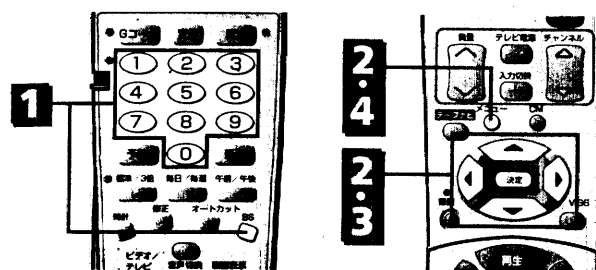
録画するときは95ページを参照してください。

ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)を見るための設定

MUSE-NTSCコンバータからの映像・音声は、ビデオのMUSE-NTSCコンバータ入力端子に入ります。BS 9チャンネルを選んだとき、MUSE-NTSCコンバータ入力端子からの映像・音声に切り換えるため、次のように設定してください。

ふたを開けたところ

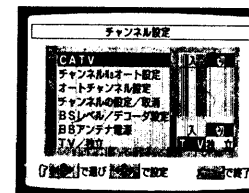
ふたを閉じたところ



1 BS9チャンネルを選ぶ



2 98ページの1、2の操作で「チャンネル設定」画面を出す



おしらせ

BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「BSレベル/デコーダ設定」、「BSアンテナ電源」、「TV/独立」は出ません。

3 ▼、▲ボタンで「BSレベル/デコーダ設定」を選び、決定ボタンを押す



- M-Nコンバータ「入」を確かめてください。
- 「入」になっていないときは◀、▶ボタンを押して「入」を選んでください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

4 メニューボタンを押す

おしらせ

録画するときは96ページを参照してください。

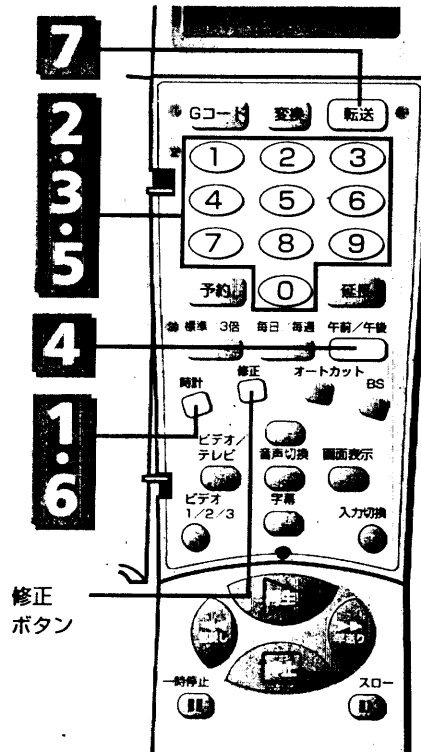
時計を合わせる

はじめにリモコンの時計を合わせたあと、ビデオの時計を合わせてください。

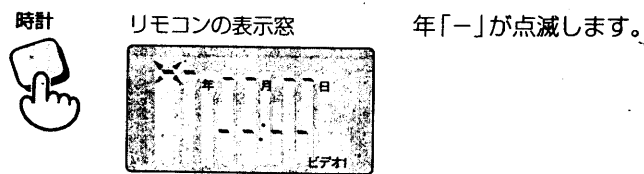
重要

操作を約1分以上中断すると、リモコンの時計設定表示は消えます。このときは、もう一度時計ボタンを押してやり直してください。

たとえば…西暦1998年11月5日午前8時20分に合わせるとき



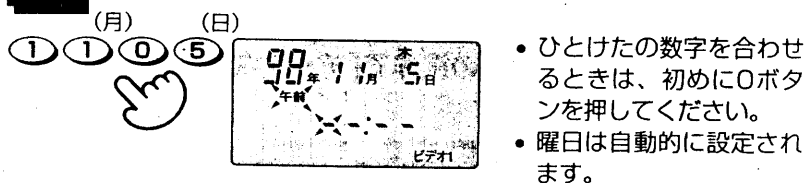
1 時計ボタンを押す



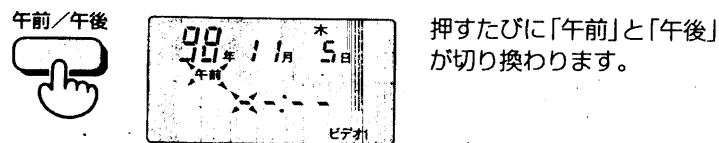
2 年を西暦で合わせる



3 月・日を合わせる



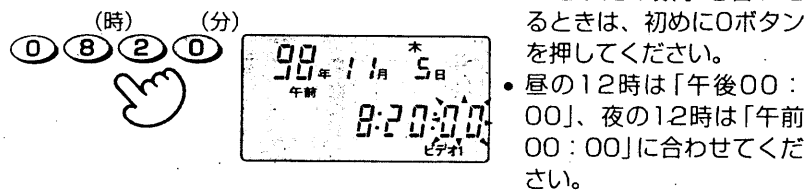
4 午前・午後を合わせる



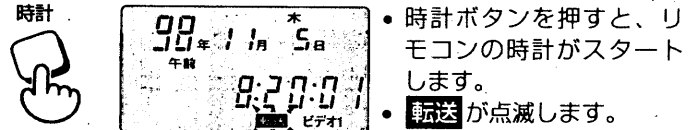
おしらせ

時計を合わせている途中で修正するとき
 ・修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻してから修正してください。

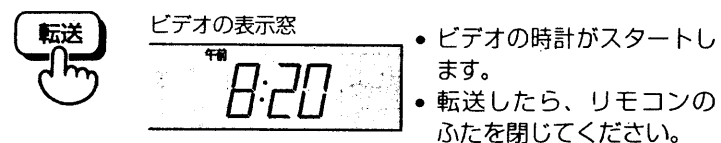
5 時刻を合わせる



6 時報などに合わせて時計ボタンを押す



7 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



時計を修正する

■ リモコンの時計の修正

電池を換えたときや、一度合わせた時計を修正したいとき、次のようにリモコンの時計を合わせ直してください。

- 1 時計ボタンを押して時計を表示させる。
- 2 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところを点滅させる。
- 3 手順 2 ~ 5 を参考にして、日付または時刻を修正する。
- 4 時計ボタンを2回押す。

■ ビデオの時計の修正

60分以上の停電があると、ビデオの時計が「--:--」になります。このときは、次のようにリモコンの時計をビデオに転送してください。

- 1 時計ボタンを押して、リモコンの表示窓に「転送」を点滅させる。
- 2 転送ボタンを押す。

おしらせ

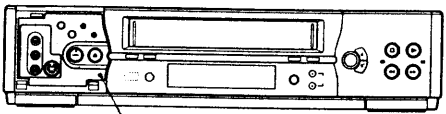
時計を正確に合わせるには(ジャストクロック)
 このビデオには、時計を正確に合わせるジャストクロック機能が付いています。
 ジャストクロックは、1日に1回(午後0時(正午))、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビの時報を受信して、自動的にビデオの時計を修正します。

次のような場合、ジャストクロックは働きません。

- ・ビデオの時計が現在時刻と3分以上ずれているとき
- ・時報の時刻にビデオの電源が入っているとき
- ・ビデオの受信チャンネルにNHK教育テレビおよびNHK総合テレビが設定されていないとき
- ・初めてジャストクロック機能が働いたとき、NHK教育テレビまたは、NHK総合テレビを選ぶまで時間がかかり、数回、時計を修正できないことがあります。

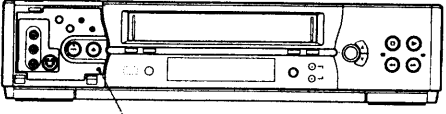
故障かな…と思ったら

まず下の表でお調べください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理せず、お買い上げの販売店にご相談ください。アフターサービスについては、裏表紙をご覧ください。

症状		処置	参照ページ	
電源	ビデオの電源ボタンを押しても電源が入らない(ビデオの操作ができない)。	●電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントを入れたあと、電源ボタンを押してください。	—	
	リモコンでビデオの操作ができない(リモコンが使えない、リモコンの反応が遅い)。	●乾電池を交換してください。乾電池を交換するときは、古い乾電池を取り外して電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください(乾電池の寿命は、通常の使用で約半年です)。 ●リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、リモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示させてからリモコンを使用してください。 ●ビデオのリモコン切換ボタンを押して設定を確認してください。リモコンの表示窓に「ビデオ1」と表示されているときは、ビデオの表示窓に「R-1」を、「ビデオ2」のときは「R-2」を、「ビデオ3」のときは「R-3」を表示させてください。	76 81 69	
リモコン	リモコンでテレビの操作ができない。	●お手持ちのテレビのメーカーに合わせて、テレビコードを設定してください。	70	
	巻戻し、早送りができない。	テープが最初または最後まで巻取られていないか、確認してください。	16	
テープ	テープが取り出せない。	●リセットスイッチをつまようじなどで押してください。それでも取り出せないときは、電源コードをコンセントから抜き、再度コンセントに入れて取出しボタンを押してください。  リセットスイッチ	—	
	テレビ番組が録画できない(何も録画されていない)。	●アンテナ線を正しく接続してください。 ●受信チャンネルを合わせ直してください。	82 98	
録画	録画ボタンを押すと、テープが出てくる。	●「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	12	
	タイマー録画ができない	録画予約したが録画が始まらない	●停電があったため、予約が消えました。再度、時計を合わせたあと予約をやり直してください。	110
		電源を切るとテープが出てくる	●「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	12
	録画予約したが何も映ってない	●タイマー録画予約したあとビデオの電源を切りましたか? ビデオの電源を切っておかないと、予約した時間になっても録画されません。	12	
	タイマー録画予約ができない(予約の内容を転送できない) <Gコード予約時、リモコン予約時>	●ビデオの時計を合わせてから、予約を転送してください。	110	
	ケーブルテレビを使用しながら、UHF放送をタイマー録画予約できない。	●「CATV」の設定が「入」になっているときは、UHF放送の番組をタイマー録画予約できません。ケーブルテレビチャンネルを設定したときに変更したチャンネル番号で予約してください。	100	
	ケーブルテレビのBS番組をGコード予約できない。	●予約のとき、下記の方法でチャンネルを修正してください。 1) Gコードを入力します。リモコンの表示窓に「BS」表示が出ます。 2) 修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させます。 3) BSボタンを押して「BS」表示を消します。 4) ケーブルテレビのチャンネルを入力します。	49	

症状		処置	参照ページ
録画	リモコンを使ってタイマー予約をしていたら、途中で時計表示に戻ってしまった。	●操作を約1分中断したためです。もう一度Gコードボタンか予約ボタンを押して予約をやり直してください。	39 44
	タイマー録画したが、録画内容が違っている。 <Gコード予約時>	●Gコードを間違っって入力していませんか? Gコードを正しく入力してください。 ●予約を転送する前に、必ず内容を確認してください。特にチャンネルは、ビデオ本体で設定したチャンネル番号と同じになっていることを確認し、違っていたら修正してください。	39 40
	タイマー録画の途中でビデオの電源が切れ、テープが出てきた。	●タイマー録画の途中でテープがなくなりました。	49
	タイマー録画を途中でやめることができない。	●電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。	41 43 45
	クイックタイマー録画を途中でやめることができない。	●停止ボタンを押してください。	29
	クイックタイマー録画ができない。	●ビデオの時計を合わせてください。	110
	ビデオと接続している機器から録画できない。	●後面端子に接続した機器から録画するときは、入力切換ボタンを押して「L1」(外部入力1)か「L3*」(外部入力3)を選んでください。 *7B-SV500をお使いの方と7B-BS700で「ビデオモード設定1」の「L3設定」を「L3」に設定しているときのみ ●前面端子に接続した機器から録画するときは、入力切換ボタンを押して「L2」(外部入力2)を選んでください。	34 32
	再生画像に帯状のノイズが出たり、画像がモヤモヤする。	●古いテープや、他のビデオで録画したテープを再生するとき起こることがあります。チャンネル(トラッキング)ボタンを押して最良に映るように調整してください。	17
	再生画像がきれいに映らない、または音は出るが画像が出ない。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	8
	音が途切れる。	●日本とヨーロッパなどでは信号方式が異なるためこのビデオでは再生できません。	121
再生	日本語と英語が同時に聞こえる。	●音声切換ボタンを押してビデオの表示窓に L または R を出し、聞きたい音を選んでください。	17
	Hi-Fiサウンドの音が出ない。	●音声切換ボタンを押してビデオの表示窓に L R を出し、聞きたい音を選んでください。	17
テープナビ	録画時のデータが登録されない。	●テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらぬテープの登録内容を消してください。 ●テープナビメニューの「テープナビ」を「入」にしてください。	58 56
		●録画時間が短いとき(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)のときは、登録されません。	53
		●オートカット機能を使って30分以内の番組を録画したときは、録画時のデータが登録されません。	54
	録画時に「登録データを消してください」という表示がテレビ画面に出る。	●テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらぬテープの登録内容を消してください。	58

症状	処置	参照ページ	
テープナビ	タイムナビ画面でⓂが出ない。	•ビデオ前面の(CM)表示が消灯しているとⓂができません。	64
	見たい番組が探せない。	•本機または日立製テープナビ機能つきビデオ以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。	—
	録画予約したときの録画時間と実際の録画時間がちがう。	•本機または日立製テープナビ機能つきビデオで録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、テープナビボタンを押してください。	57
CMとばしワザ	CMとばしワザでCMをとばさない。	•他のビデオで録画したテープを再生しています。本機、日立製CMオート機能付きビデオまたは日立製ステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオ以外で録画したテープでは動作しません。	23
		•テープナビ「切」で録画したテープを再生しています。テープナビ「入」で録画したテープを再生してください。	23
		•1本で60秒以上のCMや1本が15秒以内のCM、また2本以上続いて60秒未満のCM部分は正しくとばされません。故障ではありません。	22
		•録画開始部分や終了部分では正しくとばせないことがあります。	24
		•再生中にリモコンのCMボタンを押し、テレビ画面に[CMオート]を出してください。	23
オートカット機能	録画(予約も含む)したのにテープには何も録画されていない。	•ステレオ放送の番組を録画していませんか? オートカット機能はステレオ放送をカットするので、ステレオ放送の番組を録画することはできません。オートカット機能を使って録画するときは、ステレオ放送以外の番組を選んでください。	30
	見ている番組をオートカット機能を使って録画しているが、オートカットを解除できない。	•停止ボタンを押して録画を終了するとオートカットが解除されます。	31
	録画中に番組を切り換えられない(一時停止ボタンを押しても録画一時停止にならない)。	•停止ボタンを押して録画を終了させてから、チャンネルを切り換えてください。	31
	オートカット機能を使って録画を始めたら、すぐに一時停止になった。	•ステレオ放送のCMまたは番組をカットしています。ステレオ放送以外の番組になると自動的に録画を開始します。	31
	受信チャンネルの表示を変えたら、テレビ番組の内容とチャンネル表示が合わなくなった。	•チャンネルの表示と番組の内容を確認し、もう一度設定をやり直してください。	98
チャンネル設定	チャンネルが出ない。	•チャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたチャンネルを元に戻してください。	101
		•チャンネル設定をしたあとでアンテナなどの接続を変えたときや、引っ越しなどで放送局が変わったときは、チャンネル設定をやり直してください。	98
	[L1][L2][L3*]が出ない。	•[L1][L2][L3*]を飛ばして設定しています。飛ばした[L1][L2][L3*]を元に戻してください。 *7B-SV500をお使いの方と7B-BS700で「ビデオモード設定1」の[L3設定]を[L3]に設定しているときのみ	101

症状	処置	参照ページ	
BS放送	BSチャンネルを選局できない。	•[7B-SV500]本機でBSチャンネルが選局できるのは、日立製BSチューナー内蔵テレビやBSチューナーのAV-BUSII(AV-BUS)端子を本機と接続したときだけです。	25
	映像も音声も出ない。	•BSアンテナを正しく接続しているか確認してください。	85
		•[7B-BS700]正しく接続されているのに映らないときは、アンテナ線を本機のBSアンテナ入力端子から抜き、もう一度正しく接続してから、ビデオの電源を入/切してください。それでも映らないときは、BSアンテナ側の接続を確認してください。	85
		•[7B-BS700]BSアンテナ電源の切り換えを正しく設定してください。	106
	テレビ画面に「独立」が表示され、BSチャンネルの音声が出ない。	•[7B-BS700]チャンネル設定画面の「TV/独立」を「TV」にしてください。	52
	BSチャンネルが映らない。	•[7B-BS700]BSチャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたBSチャンネルを元に戻してください。	101
		•[7B-BS700]BS以外のチャンネルを設定したあとで、BSアンテナを接続したときは、もう一度チャンネル設定をやり直してください。	98
	BSチャンネルの映りが悪い。または変な音が出る。	•BSアンテナの向きを調節してください。	107
		•BSアンテナに雪が付着しているときは、雪を取り除いてください。 •豪雪や豪雨で電波が地球に届きにくくなっています。気象条件によるもので、故障ではありません。	9
	BS5チャンネルの映りが悪い(画面にザーツというノイズが入る)。	•JSBと契約し、BSデコーダを接続してください。	86 93
	•[7B-BS700]BS5チャンネルの設定をします。デコーダ設定画面で「BSデコーダ」を「入」にしてください。	108	
BSチャンネルをタイマー録画したら、音が全く録音されていない。	•[7B-BS700]タイマー録画の前に、チャンネル設定画面で「TV/独立」のBS音声を正しく合わせてください。	52	
ダビング編集ができない。	•本機を録画側のビデオとして使うのか、再生側として使うのかを確認し、正しく接続してください。	32 33	
	•録画側ビデオで「外部入力」を選んでください。	33	
その他	ビデオの表示窓が誤表示したり、ボタンを押しても操作できない。	•リセットスイッチをつまようじなどで押してください。表示部がリセットされます。そのあと、時計合わせやタイマー予約など必要な設定をやり直してください。	—
		 <p>リセットスイッチ</p>	—
	テープが動いているのに、経過時間表示が動かない。	•経過時間表示は、テープに何も録画されていないと動きません。	51
ビデオを操作しても画面表示(動作表示)が出ない。	•ビデオモード設定1の「OSD表示」を「オート」にしてください。	50	
ビデオの時刻を自動的に修正(ジャストクロック)できない。	•ビデオの時刻と現在時刻が3分以上ずれているときは、時刻を修正することはできません。	111	

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ。

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記の(相談)窓口または(修理)窓口にご相談ください。

- お買物相談やお取り扱いについてのご相談は………(相談)窓口を担当するお客様相談センターへ
- 修理などアフターサービスに関するご相談は………(修理)窓口を担当するエコーセンター又はサービスセンターへ

お客様相談センター・サービスセンター

北海道地区					関東・甲信越地区 (東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、新潟、静岡県富士川以東)						
窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地	窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地		
(相談)	北海道地区	北海道	(011)231-5088	札幌市中央区北1条西2丁目 (オク札幌ビル) 日立製作所OAフロア内	(相談)	関東・甲信越地区	東京	(03)3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)		
			(011)833-1725	札幌市白石区東札幌2条4丁目1-10				(修理)	(047)382-1111	浦安市港77-3	
(相談)(修理)	北海道	札幌	(011)833-1725	札幌市白石区東札幌2条4丁目1-10	(修理)	東京都	東京エコーセンター	(03)3422-2511	世田谷区野沢3-6-18		
(相談)(修理)		旭川	(0166)35-5222	旭川市東光10条3丁目4-14	(相談)		北東京	(03)3879-2939	足立区千住閑屋町11-1		
(相談)(修理)		北見	(0157)23-2266	北見市常盤町3-2-21	(相談)		西東京	(03)3973-2295	豊島区西池袋4-23-11		
(相談)(修理)		釧路	(0154)25-3357	釧路市新橋大通1-1-5	(相談)		南東京	(03)3424-8511	世田谷区野沢3-6-18		
(相談)(修理)		帯広	(0155)22-5504	帯広市緑ヶ丘2条通り1-2-7	(相談)		三鷹	(0422)31-1158	三鷹市深大寺2-38-16		
(相談)(修理)		小樽	(0134)22-3500	小樽市長橋2-10-1	(修理)		神奈川県	神奈川エコーセンター	(045)825-3331	横浜市戸塚区品濃町531-1	
(相談)(修理)		苫小牧	(0144)36-5165	苫小牧市住吉町2-5-2	(相談)			横浜	(045)824-7712	横浜市戸塚区品濃町531-1	
(相談)(修理)		室蘭	(0143)45-3122	室蘭市中島町3-14-13	(相談)		厚木	(0462)50-0020	厚木市長谷260-27		
(相談)(修理)		函館	(0138)41-9106	函館市亀田町7-12	(修理)		埼玉県	埼玉エコーセンター	(048)663-8355	大宮市東大成町2-246	
					(相談)			大宮	(048)667-4584	大宮市東大成町2-246	
				(相談)	春日部	(048)734-3193	春日部市緑町5-3-38				
				(修理)	千葉県	千葉東エコーセンター	(043)212-8241	千葉市花見川区幕張町1-7681			
				(相談)		千葉	(043)271-2142	千葉市花見川区幕張町1-7681			
				(相談)		柏	(0471)63-2450	柏市中央2-9-16			
				(相談)		船橋	(0474)31-5444	船橋市高瀬町62-10			
				(相談)		銚子	(0479)23-1222	銚子市唐子町21-3			
				(相談)		東金	(0475)52-1270	東金市福俵3-397			
				(相談)		木更津	(0438)37-1611	木更津市潮浜1-17-29			
				(相談)		館山	(0470)22-4151	館山市八幡66-1			
				(修理)		千葉東エコーセンター	(043)212-8241	千葉市花見川区幕張町1-7681			
				(相談)		茨城県	水戸	(029)226-2223	水戸市水府町1548		
				(相談)	日立		(0294)22-4162	日立市幸町2-2-10			
				(相談)	鹿嶋		(0299)82-4411	鹿嶋市神向寺大芝311-1			
				(相談)	土浦		(0298)43-2716	土浦市荒川沖字一里塚5-102			
(相談)(修理)	栃木県	宇都宮	(028)660-2307	宇都宮市御幸が原町40-5	(相談)(修理)	群馬県	高崎	(0273)62-5088	高崎市飯塚町1379		
(相談)(修理)			足利	(0284)44-3531	足利市久松町130			(相談)(修理)	新田郡	(0284)44-3531	栃木県足利市久松町130
(相談)(修理)	山形県	山形	(023)688-8511	山形市蔵王松ヶ丘1-1-33	(相談)(修理)	山梨県	山梨	(0552)74-5833	中巨摩郡田富町流通団地1-8-2		
(相談)(修理)			庄内	(0234)22-3740	酒田市東町1-7-1			(相談)(修理)	長野県	長野	(026)259-0051
(相談)(修理)	福島県	いわき	(0246)23-0691	いわき市平塩字古川95	(相談)(修理)	新潟県	新潟	(025)247-3177			新潟市紫竹山427
(相談)(修理)			福島	(024)535-3391	福島市春日町14-33			(相談)(修理)	佐渡	(0259)63-4175	佐渡郡金井町泉1031-6
(相談)(修理)			原町	(0244)22-5332	原町市栄町3-41			(相談)(修理)	長岡	(0258)24-4579	長岡市東蔵王2-7-37
(相談)(修理)			郡山	(0243)33-5211	安達郡本宮町大字荒井字長山79			(相談)(修理)	上越	(0255)24-7171	上越市栄町6-4
(相談)(修理)	会津若松	(0242)24-1771	会津若松市西七日町6-15	(相談)(修理)	静岡県 (富士川以東)	沼津	(0559)32-3711	沼津市上香貫横島町1354-2			
				(相談)(修理)			静岡県 (富士川以西)	浜松	(054)289-2030	静岡市豊田3-6-27	
				(相談)(修理)		(053)422-7151			浜松市緑ヶ瀬町1255		

症状	対応	参照ページ
英語の字幕が出ない。	●字幕ボタンを何回か押してください。	19
	●早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が出ません。また、傷がついたテープや録画状態の悪いテープは字幕を正しく表示できないことがあります。	19
録画した番組を再生していたら、自動的に早送り再生になった。	●再生中にCMボタンを押してテレビ画面の[CMオート]を消してください。	23
MUSE-NTSCコンバータを接続しても、ハイビジョン放送が見られない。	●接続を確認し、正しく接続してください。	89
	●BS9チャンネルの設定をします。デコード設定画面で「M-Nコンバータ」を「入」にしてください。	90
テープを停止後、しばらくして音がした。	●停止状態で約1分たつと内部のテープ保護メカが動作し、多少音がします。故障ではありません。	109

お客様相談センター・サービスセンター

中部地区 (愛知、岐阜、三重、静岡県富士川以西、富山、石川、福井)				中国地区 (鳥取、島根、岡山、広島、山口)						
窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地	窓口区分	担当地域	電話番号	所在地		
(相談)	中部地区	中部	(052)795-5088	名古屋市守山区川宮町55	(相談)	中国地区	中国	(082)221-5088	広島市中区八丁堀16-14 (第2広電ビル)	
(修理)			(052)354-0546	名古屋市中川区篠原橋通1-1	(修理)			(082)281-2462	安芸郡府中町茂陰1-9-20	
(修理)		中部エコーセンター	(052)354-0546	名古屋市中川区篠原橋通1-1	(相談/修理)	鳥取県	鳥取	(0857)28-5721	鳥取市千代水3-106	
(相談)	愛知県	名古屋東	(052)795-1831	名古屋市守山区川宮町55	(相談/修理)	島根県	山陰	(0852)23-2131	松江市西津田2-2-5	
(相談)		名古屋西	(052)354-3011	名古屋市中川区篠原橋通1-1	(相談/修理)	浜田	浜田	(0855)28-2137	浜田市下府町388-40	
(相談)		一宮	(0566)71-1431	一宮市音羽2-1-15	(相談/修理)	岡山県	岡山	(086)293-4711	岡山市延友189-3	
(相談)		三河	(0564)28-0855	岡崎市大樹寺2-12-6	(相談/修理)	津山	津山	(0868)22-9337	津山市小原109	
(相談)		豊橋	(0532)64-6710	豊橋市東町151-1	(相談/修理)	広島県	広島	(082)233-1221	広島市西区観音新町1-7-17	
(修理)		中部エコーセンター	(052)354-0546	名古屋市中川区篠原橋通1-1	(相談/修理)	備後	呉	(0849)34-1160	福山市高西町川尻110-1	
(相談)	岐阜県	岐阜	(058)273-5111	岐阜市宇佐南2-3-8	(相談/修理)	山口県	山口	(0839)72-1111	吉敷郡小郡町仁保津下	
(修理)		高山	(0577)32-4351	高山市岡本町3-176	(修理)	東山口	東山口	(0827)22-2730	岩国市今津町4-11-4	
(修理)		東濃	(0572)68-1010	瑞浪市明世町山内字沼305-1	(相談/修理)			(0833)41-1300	下松市大字末武下789-3	
(修理)		中部エコーセンター	(052)354-0546	名古屋市中川区篠原橋通1-1	四国地区 (徳島、香川、愛媛、高知)					
(相談)	三重県	北三重	(0593)34-1111	四日市市羽津中2-1-6	(相談)	四国地区	四国	(0877)47-1088	坂出市林田町4285-143	
(相談)		南三重	(0596)58-9053	度会郡玉城町佐田字鏡子口1820-1	(修理)			(0877)47-3133	坂出市林田町4285-143	
(相談/修理)	静岡県 (富士川以西)	沼津	(0559)32-3711	沼津市上香貫橋島町1354-2	(相談/修理)	徳島県	徳島	(0886)65-6411	徳島市応神町古川字の上15-2	
(相談/修理)		静岡	(054)289-2030	静岡市豊田3-6-27	(相談/修理)	香川県	香川	(0877)47-3135	坂出市林田町4285-143	
(相談/修理)	静岡県 (富士川以东)	浜松	(053)422-7151	浜松市篠ヶ瀬町1255	(相談/修理)	愛媛県	宇和島	(089)979-1170	松山市内宮町2007	
(相談/修理)	富山県	富山	(0764)52-1615	富山市向新庄857-1	(相談/修理)	愛媛県	東予	(0895)22-2619	宇和島市米町港3-3-13	
(相談/修理)	石川県	石川	(076)246-7373	石川郡野々町堀内5-20	(相談/修理)	高知県	高知	(0897)40-4181	新居浜市荻生字岸ノ下1150-4	
(相談/修理)	福井県	福井	(0776)54-7730	福井市高木中央1-1402	(相談/修理)			(0888)44-4156	高知市朝倉丁899-5	
関西地区 (大阪、奈良、兵庫、京都、滋賀、和歌山)				九州・沖縄地区 (福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)						
窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地	窓口区分	担当地域	電話番号	所在地		
(相談)	関西地区	関西	(078)431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8	(相談)	九州・沖縄地区	九州	(092)281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)	
(修理)				(06)686-5611	大阪市住之江区柴谷1-1-71 (日立家電大阪南ビル)	(修理)			(092)606-2831	福岡市東区和白丘2-1-1
(修理)	大阪府	大阪エコーセンター	(06)686-5611	大阪市住之江区柴谷1-1-71 (日立家電大阪南ビル)	(相談)	福岡県	福岡エコーセンター	(092)501-1545	福岡市博多区諸岡3-21-28	
(相談)		京阪	(0720)85-3640	門真市大字岸和田1551	(相談)		福岡	福岡	(093)592-7507	北九州市小倉北区篠崎1-4-8
(相談)		北大阪	(06)453-1900	大阪市福島区海老江1-5-79	(相談)		筑豊	筑豊	(0948)82-1302	嘉穂郡庄内町大字仁保草場178
(相談)		北摂	(0726)36-7301	茨木市沢良宜西1-4-12 (パオス沢良宜マンション1F)	(相談)		久留米	久留米	(0942)34-4505	久留米市野中町1440-1
(相談)		阪南	(0722)73-5088	堺市鳳東町7-771	(相談)		大牟田	大牟田	(0944)52-3311	大牟田市天領町1-201
(修理)	奈良県	奈良エコーセンター	(06)686-5611	大阪市住之江区柴谷1-1-71 (日立家電大阪南ビル)	(相談/修理)	佐賀県	佐賀	(0952)25-3115	佐賀市鍋島町大字八戸3181	
(相談)				(0743)64-2712	天理市二階堂上ノ庄町342-1	(相談/修理)	唐津	唐津	(0955)72-7174	唐津市町田1863-3
(修理)	兵庫県	兵庫エコーセンター	(078)961-2088	神戸市西区平野町下村251	(相談/修理)	長崎県	長崎	(095)887-3379	西彼杵郡長与町高田郷1275-1	
(相談)		神戸	(078)431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8	(相談/修理)	佐世保	佐世保	(0956)32-4211	佐世保市山崎町329-4	
(相談)		西神戸	(078)961-2088	神戸市西区平野町下村251	(相談/修理)	五島	五島	(0959)72-2883	福江市下大津町724-7	
(相談)		姫路	(0792)33-1688	姫路市飾磨区橋4-81	(相談/修理)	熊本県	熊本	(096)362-2143	熊本市春竹町春竹500	
(相談)		阪神	(0727)81-5088	伊丹市昆陽3-254	(相談/修理)	八代	八代	(0965)33-2095	八代市田中西町10-10	
(修理)	(尼崎、伊丹、川西、宝塚、川辺郡)	豊岡	(0796)22-7141	豊岡市桜町15-15	(相談/修理)	天草	天草	(0969)22-3196	本渡市今釜新町3444	
(修理)		大阪エコーセンター	(06)686-5611	大阪市住之江区柴谷1-1-71 (日立家電大阪南ビル)	(相談)	大分県	大分	(0975)51-1710	大分市猪野1381-1	
(修理)	京都府	北近江エコーセンター	(075)313-5088	京都市右京区西京極豆田町17	(相談)	中津	中津	(0979)24-5711	中津市大字下池永字北原564-1	
(相談)		京都	(075)313-5088	京都市右京区西京極豆田町17	(相談)	佐伯	佐伯	(0972)23-2521	佐伯市中村南町9-5	
(相談/修理)	福知山	福知山	(0773)23-2802	福知山市宇堀1965-2	(相談/修理)	宮崎県	宮崎	(0985)39-4811	宮崎市大字芳士589-1	
(修理)				(075)313-5088	京都市右京区西京極豆田町17	(相談/修理)	延岡	延岡	(0982)37-7350	延岡市旭ヶ丘6-1-24
(修理)	滋賀県	北近江エコーセンター	(075)313-5088	京都市右京区西京極豆田町17	(相談/修理)	都城	都城	(0986)26-3131	都城市葛浦原町24-2-5	
(相談)		滋賀	(077)545-5088	大津市玉野浦2-1	(相談/修理)	鹿児島県	鹿児島	(099)250-8350	鹿児島市宇宿2-8-2	
(相談)	和歌山県	彦根	(0749)25-4188	彦根市川瀬馬場町1010-1	(相談/修理)	川内	川内	(0996)22-6121	川内市御陵下町3294	
(修理)		和歌山	(0734)77-4188	和歌山市井ノ口543-1	(相談/修理)	鹿屋	鹿屋	(0994)43-2168	鹿屋市新生町10-4	
(修理)		田辺	(0739)22-6014	田辺市稲成町字沖代80-2	(相談/修理)	那覇	那覇	(098)862-9670	那覇市字安謝620-187	
(修理)		新宮	(0735)22-6355	新宮市下田2-3-12						

形名	7B-BS700	7B-SV500
電源	AC 100V、50/60Hz共用	
消費電力	7B-BS700:電源「入」時26W、電源「切」時4.0W	7B-SV500:電源「入」時24W、電源「切」時3.0W
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン SVHS 方式 (NTSC準拠)	
使用カセット	SVHS または VHS タイプビデオカセット	
テープ幅	12.7mm	
テープ速度	標準モード 33.4mm/秒、3倍モード 11.1mm/秒	
録画再生時間	標準モード 3時間30分 (T-210使用時) 3倍モード 10時間30分 (T-210使用時)	
巻戻し時間	高速巻戻しモード約83秒、通常巻戻しモード約130秒 (T-120使用時)	
ヘッド数	6 (4:映像用、2:Hi-Fi音声用)	
VHF出力	1、2チャンネル切り換え可能	
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル UHF 13~62チャンネル BS 1~15チャンネル (7B-BS700のみ) CATV 13~63チャンネル	
映像入力	S1/S映像端子:輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 7B-BS700:S1映像、7B-SV500:S映像 映像端子:1.0Vp-p、75Ω不平衡	
映像出力	S1/S映像端子:輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 7B-BS700:S1映像、7B-SV500:S映像 映像端子:1.0Vp-p、75Ω不平衡	
音声入力	-7.8dBs (316mVrms)、ハイインピーダンス	
音声出力	-7.8dBs (316mVrms)、ローインピーダンス	
音声トラック	3トラック Hi-Fi VHS音声2トラック:ステレオ録音/ステレオ再生 ノーマル音声 1トラック:モノラル録音/モノラル再生	
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ:90 dB以上 周波数特性:20 Hz~20 kHz ワウ・フラッター:0.005%	
許容動作温度	5℃~40℃	
許容相対湿度	35~80%以下	
外形寸法	(幅)43.5 × (高さ)9.9 × (奥行)30.2 cm	
質量	本体 4.5kg	
付属品	ワイヤレスリモコン (VT-RM33) 1個	SCコード 1本
	同軸ケーブル 1本	AV-BUSコード 1本
	映像・音声コード 1本	単3形乾電池 2個

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
 ●このビデオカセットレコーダーは、日本国内専用です。電源・電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
 <This video cassette recorder cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

別売品のご紹介

液晶Hi8ビデオカメラ	ブースター	ビデオカセットテープ	その他
VM-H200L	●HD-WB2A (VHF・UHF・FM兼用)	VHS テープ ●T-160SX ●T-120SX ●T-160HG ●T-120HG	●マッチングアダプター VT-BF11 086
Hi8ビデオカメラ	●HVTR-W26A (VHF・UHF兼用)	●T-180HG	●U/V分波器 VT-BF11 096
VM-H720	●HVTR-U26A (UHF専用)	SVHS テープ ●ST-180SR ●ST-120SR ●ST-160SR ●ST-60SR	●BS/UV分波器
ミニビデオカメラ	●BS-B30 (BS用)		●BS-S30 (電流通過端子付)
VK-C32			●HBS-S30A (電流通過端子付)
カラービデオプリンタ	ヘッドクリーニングテープ	接続コード	●BS/UV混合器
VY-VP20	●乾式ビデオヘッドクリーナー T-CLO1	●HPU-131AV (映像用)	●BS-UV1A (電流通過端子付)
カセットアダプタ	●湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210	●HPU-121 (音声用)	●BS-UV2 (電流通過端子付)
TA-3C		●HPU-200AV (映像・音声用)	●BS分配器
		●HPU-100 (AV-BUSII用)	●BS772A (電流通過端子付)
			●BS773A (電流通過端子付)
			●BS774A (電流通過端子付)

ご参考

BS(衛星)放送

赤道上空約36,000キロの静止衛星軌道に打ち上げられた放送衛星を中継として、テレビ電波を受信するシステムです。衛星放送にはBS、CSの2種類あります。BSがもともと放送を目的とした人口衛星である「放送衛星」(Broadcasting Satellite)を使用しており、CSは通信を目的とした人口衛星である「通信衛星」(Communications Satellite)を使っています。BS、CSというのはそれぞれの衛星の頭文字をとったものです。

- ・BS7、BS11は、NHK衛星第1と第2です。
- ・BS5は、WOWOW(JSB:日本衛星放送(株))です。また、セント・ギガ(SDAB:衛星デジタル音楽放送(株))が独立音声を放送しています。これらは、受信契約と専用のデコーダの接続が必要です。受信契約と専用のデコーダについては、代理店(主に電器店)にご相談ください。
- ・BS9は、ハイビジョン実用化試験放送です。専用のMUSE-NTSCコンバータが必要です。

スクランブル(106ページ)

BS5チャンネルを見るには、受信契約と専用のデコーダが必要です。このデコーダとビデオを接続し、BS5チャンネルを見るための設定を行わないと、BS5チャンネルにしたとき、ザーツという画面(音)が現れます。このザーツという状態をスクランブルといいます。

デジタルCS放送(98、95ページ)

通信衛星(CS)を利用したデジタル衛星放送の一種で、いくつかの放送サービスがあります。映像や音声をデジタル化して、多チャンネルの放送を高画質、高音質で放送します。

トラッキング調節(17ページ)

再生時、画面に出たノイズを少なくし、きれいな再生画になるように調節することをトラッキング調節といいます。

入力切替(94ページ)

他の機器から録画・録音するときに必要な切替です。入力切替ボタンで「L1」、「L2」、「L3*」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。
*7B-SV500をお使いの方と7B-BS700で「ビデオモード設定1」の「L3設定」を「L3」に設定しているときだけ、切り換わります。

ビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)(97ページ)

1または2いずれかのチャンネルです。映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオの専用チャンネルです。

BSデコーダ(86、87、93ページ)

JSB(日本衛星放送株式会社)の有料放送、WOWOW(BS5チャンネル)を見るためにスクランブル画像を正常な画像に戻す装置です。

ブースター(電波増幅器)(82、119ページ)

名前のとおり、電波を増幅します。電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることが出来ます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

録画モード(標準/3倍)(12、25ページ)

ビデオには、「標準」と「3倍」の録画モードがあり、録画時に切り換えられます。

標準: テープスピードが標準の速さです。画質を重視するときには「標準」で録画することをおすすめします。

3倍: テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「標準」に比べて3倍長く録画できます。

再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り換わります。

クローズド キャプション Closed Caption(19ページ)

クローズド・キャプションシステムは、アメリカで聴覚障害者用に開発されたテレビの字幕放送です。

アメリカではテレビ番組のみではなく、ソフトテープ、ビデオディスクなどにもクローズド・キャプション信号が入っています。日本国内でも、クローズド・キャプション対応のソフトテープが増えており、英語学習に利用することができます。

Gコード(89ページ)

ジェムスターコードの略で、番組予約を簡単にするために、各番組に付けた最大8桁の数字です。

Gコード・インフォ(89ページ)

従来の「Gコードシステム」を応用・展開した予約録画システムのことで、次のような利点があります。

- ① 1つの番組には全国どこでも同じコードが与えられるので、効率がよい。
- ② 録画時間の長さの精度が高いので、短時間番組の予約録画に適している。

「Gコード・インフォ」に使用するIコードは、Info plus codeの略です。IコードはGコードの番号が「0」で始まります。

Hi-Fiサウンド(17ページ)

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定ヘッドで録音/再生します。

一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-fiサウンドです。

オーディオ OSD表示(50ページ)

OSDとは、On-Screen Displayの略です。OSD表示とは、画面表示やビデオを操作したときにテレビに現れる動作表示です。

NTSC方式(119ページ)

日本やアメリカなどで使われているテレビの信号方式です。ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式とは互換性がないので、PAL方式やSECAM方式で録画されたテープはNTSC方式のビデオでは再生できません。

VHFとUHF放送(83ページ)

テレビ放送にはVHFとUHF放送、BS(衛星)放送があります。VHF放送は1~12チャンネル、UHF放送は13~62チャンネルでご覧になれます。

※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

VISS(20ページ)

VHS Index Search Systemの略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。本機は録画を始めると、自動的にVISS信号を記録します。

ハイビジョン放送(88、109ページ)

走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本(現行525本)、縦横比9:16(現行3:4)の放送です。

MUSE-NTSCコンバータ(89ページ)

ハイビジョン放送を現行テレビ(NTSC方式)で見られるように変換する装置です。ただし、走査線の数は525本です。

S映像信号

従来の映像信号を輝度(Y)信号とカラー(C)信号に分離した信号です。2つの信号がお互いに影響を受けないため、鮮明な映像が楽しめます。

*S映像信号の「S」はセパレート(SEPARATE) YCの「S」です。

S1映像信号

S映像信号と、MUSE-NTSCコンバータなどのフルモード(縦長)の映像を自動判別するための識別信号を一緒にした信号です。

あいうえお

頭出し 20,53,57
アンテナ線 82,83
一時停止
テープを止めて見る 18
録画を一時停止する 27
衛星放送 9,120
~を録画する 35,36,37
映像・音声コード 14
~を使った接続 82,83
延長 41
オーディオ録音 34
オート
録画モード「オート」を選ぶ 40,42,45
録画モードを「オート」に合わせると 49
オートカット 30,31
オート電源オフ 14
オートトラッキング 17
オートリワインド 16
オートリワインドシャットオフ 16
音声切替
オーディオ録音の音声切替 34
二重音声・ステレオ音声の音声切替 17
録画中の音声切替 26
音量ボタン 70,81

かきくけこ

画面表示 50
カラーバー 54,57
キートAFC端子 89,90
共聴(共同)アンテナ 85,106
クイックタイマー 29
クローズド・キャプション 19
経過時間 50,51
結露 9
ケーブルテレビ 99,100
検波入・出力端子 86
誤消去防止 12
混合器 82
~を使ってアンテナ線をつなぐ 83
BS/UV混合器 119
午前・午後ボタン 44,110

さしすせそ

再生
ある場面を止めて見る 18
映像をクッキーさせる 21
画像を見ながら探す 18
テープを見る 16
ゆっくりした速さで見る 18
CMをとばして見る 22
サーチ 18
3倍
3倍モードでの録画時間 12
録画モード「3倍」を選ぶ 25
残り時間 50,51
ジャストクロック 111
ジャンルマーク 60
主音声 17
19ミクロンヘッド 2
受信チャンネル
地域番号で合わせる 102
~の表示を変える 99
~を合わせる 98
スクランブル 108,120
ステレオ
~音声を選ぶ 17
~から音声を録音する 34
~放送の録音 26
~をつなぐ 34
スロー再生 18
静止画再生 18
操作音 12
た
タイムナビ 54,62
タイマー録画・予約
タイマー録画を途中でやめる 41,43,45
デジタルCS放送をタイマー録画する 38
予約内容を確認する 47
予約のしかた 39~46
予約を取り消す 47
ダビング
本機を再生側にしてダビングする 33
本機を録画側にしてダビングする 32
チャンネル設定 98
「オートチャンネル設定」 98

「チャンネルの設定/取消」 101
「チャンネルの表示の設定」 99
CATVのチャンネル設定 100
チャンネル
映りの悪いチャンネルをとばす 101
映るチャンネルを確認する 98
~の選ばれる順序 98
~の表示を変える 99
~を微調節する 101
録画したいチャンネルを選ぶ 25
つめ
~を折る 12
~を折ったテープに録画する 12
~を折ったテープに録画すると 26
~を折ったテープを再生すると 16
~を折ったテープでタイマー予約すると 12,41,43,45
停止
再生を停止する 16
タイマー録画を停止する 29,41,43,45
録画を停止する 26
デコーダ設定 108
デジタルCSチューナー 95
データのオート登録 67
テープナビ画面 54
テープナビメニュー 56,58,59,65,67
テープナビ 53
テレビ
映像・音声入力端子つき~ 83
AV-BUS II 端子つき~ 96
~でチャンネルを選ぶ 28
~をつなぐ 82
MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビ 88
リモコンで~を操作する 70
テレビ専用ボタン 70,81
音量ボタン 70
入力切替ボタン 70
チャンネルボタン 70
テレビ電源ボタン 70
テレビコード 70
電源
~が自動的に入る 16
~を切る 41,43,45
転送 40,43,45,111
独立音声 52

トラッキング 120
~を調節する 17,18
時計
~の合わせかた 110
~を修正する 111
~を表示する 50
同軸ケーブル 72,74,83
~を使ってテレビをつなぐ 83
分波器に同軸ケーブルを取り付ける 84

なにぬねの

二重音声
~放送を録画する 26
~を選ぶ 17
入力切替 120
~ボタン 32,34
テレビの入力切替を「ビデオ」にする 97
ノーマルサウンド 17
ノイズ
スロー再生中にノイズが出るとき 18
静止画が上下に揺れるとき 18
字幕が上下に揺れるとき 19

はひふへほ

ハイビジョン放送
~の画面比率 89
~を見る 36
~を録画する 36
MUSE-NTSCコンバータ 89,90
MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビ 36,88
早送り
テープを高速(260倍速)で早送りする 17
テープを早送りする 16
早送りしながら見たい場面を探す 18
ビットストリーム入・出力端子 86,87
ビデオチャンネル 97
ビデオ1/2/3切替 69
ビデオ/テレビ切替 14
「ビデオ」表示
~を消す 28
~を出す 14
ビデオヘッド
~の清掃 8
~の磨耗 8
標準
標準モードでの録画時間 12
録画モード「標準」を選ぶ 25

索引の見かた
見出し語と同じ形のものは「~」で代用してあります。
ただし、活用形や複合語、文の途中に出てくる場合は、文字で示してあります。

A B C

AV-BUS II 端子 95,96
BSアンテナ
~の方向を調整する 107
~をつなぐ 85
~電源の切り換え 106
BSコンバータ 106
BSデコーダ 86,87,93,94
BSチューナー内蔵テレビ 87,90,93
BSワープボタン 25
CATVをご使用のとき 99,100
CL 8,80
Closed Caption 19
CMカット 30,31
CMとばしワザ 22
Err 49,80
Error 39
FULL 49,80
Gコード 39,120
Gコード・インフォ 39,120
~予約 39
~を入力する 39
Hi-Fiサウンド 121
~を選ぶ 17
JSB 86,93
OSD表示 33,121
PROG 40,43,80
R-2 80
RF-1/2/OFF 97
S映像信号 121
Sコード 14,82
SDAB 35
S1映像信号 121
SQPB 13
S-VHS 13,25
S-VHS ETモード 13
Tab 26,80
TAPE 80
VISS 121
~を使う 20
UHF/VHF放送 83,121
WOWOW 35,86
副音声 17
プースター 82,119
フルモード 89
分波器
~に同軸ケーブルを取り付ける 84
~を使ってテレビをつなぐ 83
ヘッドクリーニングテープ 119
~でヘッドを清掃する 8
ま
毎日/毎週
~録画 41,46
巻戻し
テープを高速(260倍速)で巻戻しする 17
テープを巻戻す 16
巻戻しながら見たい場面を探す 18
メニュー
メニュー画面 47,48
モノラル 17
~ビデオをつなぐ 32,33
や
予約
Gコード予約 39
リモコン予約 44
->「タイマー録画・予約」も参照
ら
ライブラリ登録 65
リモコン
~受光部 77
~の電池の入れかた 76
~でビデオ、テレビを操作する 81
リモコン切替ボタン 69
録画
クイックタイマー 29
見ている番組を録画する 25
タイマー録画 39
デジタルCS放送を録画する 38
~しながら別の番組を見る 28
録画時間 12
録画モード 120
~によるテープの録画時間 12
~を選ぶ 25,40,45

123